

シラバス

リハビリテーション学科

理学療法専攻

◎ リハビリテーション学科 理学療法専攻

◆ 総合教育科目 ◆

科目区分	科目名	開講時期	授業担当教員名	ページ	
教養教育科目	人間と科学	生物学	1年次前学期	辻 圭一	28
		情報リテラシー	1年次後学期	福岡大輔	30
		物理学	1年次前学期	中村 琢	32
		化学	1年次前学期	武藤吉徳	34
		人間工学	1年次前学期	山田宏尚	36
		環境と人間	1年次後学期	大藪千徳	38
	人間と社会	社会学	1年次前学期	伊原亮司	40
		人間関係論	1年次前学期	益川優子	42
		ボランティア論	1年次前学期	後藤誠一	44
		哲学	1年次後学期	竹内章郎	46
		教育学	1年次後学期	益川浩一	48
		心理学	1年次後学期	益川優子	50
		生命倫理学	3年次前学期	谷口泰弘	52
基礎教育科目	コミュニケーション	基礎演習	1年次前学期	辻 圭一、石田裕保、藤橋雄一郎、植木 努	54
		文章表現法	1年次前学期	田口正芳	56
		コミュニケーション学	1年次後学期	早川佳徳、藤崎和彦	58
	外国語	英語Ⅰ(教養英語)	1年次前学期	ミルボド・セイエド・モハマド	60
		英語Ⅱ(日常英会話)A	1年次後学期	ジャマリ・マルジャン	62
		英語Ⅱ(日常英会話)B	1年次後学期	ミルボド・セイエド・モハマド	64
		英語Ⅲ(専門英語)	1年次後学期	ミルボド・セイエド・モハマド	66
		ドイツ語	1年次後学期	安藤彰浩	68
		中国語	1年次後学期	東 華岳	70

◎ リハビリテーション学科 理学療法専攻

◆ 専門教育科目 ◆

科目区分	科目名	開講時期	授業担当教員名	ページ
専門基礎科目	人体の構造	解剖学Ⅰ(骨・筋肉系)	1年次前学期 東 華岳	72
		解剖学Ⅱ(内臓系)	1年次前学期 東 華岳	74
		解剖学Ⅲ(神経系)	1年次後学期 堀 信宏、東 華岳、大場かおり、藤橋雄一郎	76
		解剖学演習(体表解剖 上肢)	1年次前学期 田島嘉人、植木 努、亀山咲子	78
		解剖学演習(体表解剖 下肢)	1年次後学期 田島嘉人、植木 努、亀山咲子	82
	人体の機能	生理学Ⅰ(動物的機能)	1年次前学期 石田裕保	86
		生理学Ⅱ(植物的機能)	1年次後学期 佐竹裕孝	88
		生理学演習	1年次後学期 河合克尚、藤橋雄一郎、植木 努	90
		運動学総論	1年次前学期 堀 信宏	92
		運動学各論	1年次後学期 曾田直樹	94
		運動学演習	2年次前学期 曾田直樹、大場かおり、田島嘉人、石田裕保	96
	心身の発達	人間発達学	1年次前学期 大森周太郎	98
	疾病の成り立ち	病理学概論	1年次後学期 武内康雄、林 将大	100
		内科学	2年次前学期 武内康雄、平野智久、山本眞由美、高田信幸、多田晃司、古田弥生	102
		整形外科学	2年次前学期 西本 裕	104
		神経内科学	2年次前学期 木村暁夫、下畑享良、山田 恵、吉倉延亮、竹腰 顕、下郷雅也、大野陽哉、森 泰子、山原直紀	106
		精神医学	2年次前学期 宮地幸雄	108
		小児科学	2年次前学期 松井永子、堀田 亮	110
	障害の成り立ち	リハビリテーション医学	1年次後学期 西本 裕	112
		老年医学	1年次後学期 武内康雄	114
		スポーツ医学	1年次後学期 河野公昭、堀 優太	116
	回復過程の促進	公衆衛生学	1年次後学期 岸田敏彦	118
		画像診断学	3年次後学期 辻圭一、河合克尚、大場かおり、石田裕保、藤橋雄一郎	120
		リハビリテーション栄養学	1年次前学期 久保和弘	122
		薬理学	2年次前学期 大塚智裕	124
		医療安全管理論	1年次後学期 三品弘司、出口睦雄、林 宗典、三輪陽子	126
	保健・医療・福祉の連携	保健医療論	1年次前学期 加藤清人	128
		社会福祉学	1年次後学期 竹内章郎	130
数理・データサイエンス		2年次前学期 古桧山建吾、福岡大輔	132	
多職種連携演習(IPE)		2年次後学期 田島嘉人、亀山咲子 他	134	

◎ リハビリテーション学科 理学療法専攻

◆ 専門教育科目 ◆

科目区分	科目名	開講時期	授業担当教員名	ページ
基礎理学療法学	理学療法総論	1年次前学期	藤橋雄一郎	136
	運動療法総論	1年次後学期	長谷部武久	138
	理学療法特論	3年次後学期	河合克尚、辻 圭一、大場かおり、石田裕保、藤橋雄一郎	140
	理学療法研究方法論 ※	2年次前学期	長谷部武久、福岡大輔	142
	理学療法研究方法論	2年次前学期	長谷部武久	144
	卒業研究Ⅰ	2年次後学期	曾田直樹、長谷部武久、他	146
	卒業研究Ⅱ	3年次前学期	曾田直樹、長谷部武久、他	148
理学療法管理学	理学療法管理学Ⅰ	2年次後学期	岸本泰樹	150
	理学療法管理学Ⅱ	3年次前学期	岸本泰樹	152
理学療法評価学	理学療法評価学概論	1年次後学期	曾田直樹、河合克尚、辻 圭一、石田裕保、藤橋雄一郎、植木 努、亀山咲子	154
	理学療法検査法演習	2年次前学期	曾田直樹、河合克尚、辻 圭一、石田裕保、藤橋雄一郎、植木 努、亀山咲子	156
	動作・画像解析学	2年次前学期	堀 信宏、石田裕保	158
	理学療法評価学演習	2年次後学期	河合克尚、大場かおり、長谷部武久、曾田直樹、堀 信宏、田島嘉人、藤橋雄一郎、植木 努、辻 圭一、石田裕保、亀山咲子	160
	総合実習前セミナー	3年次前学期	堀 信宏、曾田直樹、亀山咲子 他	163
理学療法治療学	脳・神経機能障害学	2年次前学期	大場かおり	165
	脳・神経機能障害学演習	2年次後学期	堀 信宏、大場かおり、藤橋雄一郎	167
	骨・関節機能障害学	2年次前学期	曾田直樹、植木 努	169
	骨・関節機能障害学演習	2年次後学期	曾田直樹、植木 努	171
	内部機能障害学	2年次前学期	長谷部武久、河合克尚、亀山咲子	173
	内部機能障害学演習	2年次後学期	長谷部武久、河合克尚、亀山咲子	175
	発達機能障害学	2年次後学期	松田充弘、伊達文香	177
	物理療法学	2年次前学期	辻 圭一、大場かおり	179
	スポーツ理学療法学	2年次前学期	澤村彰吾	181
	義肢学	2年次前学期	篠田信之、石田裕保	183
	装具学	2年次後学期	石田裕保	185
	日常生活活動学	1年次後学期	石田裕保、大場かおり、亀山咲子	187
	日常生活活動学演習	2年次前学期	石田裕保、大場かおり、亀山咲子	189
	脳・神経系理学療法治療技術	3年次前学期	堀 信宏、藤橋雄一郎	191
	骨・関節系理学療法治療技術	3年次前学期	曾田直樹、田島嘉人	193
	内部系理学療法治療技術	3年次前学期	河合克尚、長谷部武久、亀山咲子	195
	臨床バイオメカニクス	3年次前学期	曾田直樹、植木 努	197
	徒手理学療法学	3年次後学期	田島嘉人	199
	ニューロリハビリテーション	3年次後学期	石田裕保、大場かおり	201
	呼吸理学療法学	3年次前学期	河合克尚	203
スポーツ理学療法学演習	2年次後学期	川瀬広大、櫻井健司、荻谷賢二、野田圭佑、平田光太郎、中村浩輔	205	
パラスポーツ指導論	2年次後学期	藤橋雄一郎	207	
ヘルスプロモーションと理学療法	2年次後学期	長谷部武久、堀 信宏、河合克尚、亀山咲子	209	
地域理学療法学	地域理学療法学	2年次前学期	堀 信宏	211
	地域理学療法学演習	2年次後学期	堀 信宏	213
	生活環境論	2年次後学期	植木 努	215
臨床実習	臨床実習Ⅰ(基礎)	1年次後学期	長谷部武久、他	217
	通所/訪問リハ実習	2年次前学期	長谷部武久、他	219
	臨床実習Ⅱ(評価)	2年次後学期	長谷部武久、他	221
	臨床実習Ⅲ(総合前期)	3年次前学期	長谷部武久、他	223
	臨床実習Ⅳ(総合後期)	3年次後学期	長谷部武久、他	225

※2025年度までの入学生対象

授業科目名		担当教員				
生物学		辻 圭一				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義	LHC101		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1) 理学ディプロマポリシー(1)(3) 作業ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。		辻圭一(理学療法士)				
授業概要						
本講義はヒトが生きるために必要な生命活動について学びます。そして、生物の基本構造である「細胞」の理解をもとに、遺伝、発生、生命の進化と多様性などについて学び「生命」とは何かを考えます。生物学で得た知識と理解が、将来、医療に携わるために修めなければなりません。特に解剖学と生理学の学習にとって直接関係のある事象が多く出て来ますので、その部分については特に理解を深めてください。						
学修の到達目標						
① ヒトの生命活動について説明できる。 ② 細胞の構造と働きについて説明できる。 ③ 生物の発生について説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	ヒトの体とエネルギーについて	①	辻	講義	教科書の「はじめに」「1章」を読んでおいて下さい。(30分)	章末問題に取り組んでください。(30分)
2	糖の種類と性質、糖からエネルギーを得るしくみ	①	辻	講義	教科書の「2章、3章」を読んでおいて下さい。(30分)	章末問題に取り組んでください。(30分)
3	脂質の構造と性質、輸送と代謝	①	辻	講義	教科書の「4章、5章」を読んでおいて下さい。(30分)	章末問題に取り組んでください。(30分)
4	ビタミンとミネラルのはたらき	①	辻	講義	教科書の「6章」を読んでおいて下さい。(30分)	章末問題に取り組んでください。(30分)
5	細胞の構造と機能	①	辻	講義	教科書の「7章」を読んでおいて下さい。(30分)	章末問題に取り組んでください。(30分)
6	DNAの構造とはたらき	①	辻	講義	教科書の「8章」を読んでおいて下さい。(30分)	章末問題に取り組んでください。(30分)
7	DNAからタンパク質へ	②	辻	講義	教科書の「9章」を読んでおいて下さい。(30分)	章末問題に取り組んでください。(30分)
8	タンパク質のはたらき	②	辻	講義	教科書の「10章」を読んでおいて下さい。(30分)	章末問題に取り組んでください。(30分)
9	細胞内外の情報伝達	②	辻	講義	教科書の「11章」を読んでおいて下さい。(30分)	章末問題に取り組んでください。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	細胞分裂のしくみと制御	②	辻	講義	教科書の「12章」を読んでおいて下さい。(30分)	章末問題に取り組んでください。(30分)
11	発生と分化	②	辻	講義	教科書の「13章」を読んでおいて下さい。(30分)	章末問題に取り組んでください。(30分)
12	細胞のストレス応答機構	③	辻	講義	教科書の「14章」を読んでおいて下さい。(30分)	章末問題に取り組んでください。(30分)
13	免疫システムのしくみ	③	辻	講義	教科書の「15章」を読んでおいて下さい。(30分)	章末問題に取り組んでください。(30分)
14	ES細胞とiPS細胞、再生医療の現在と未来	③	辻	講義	教科書の「16章、17章」を読んでおいて下さい。(30分)	章末問題に取り組んでください。(30分)
15	アポトーシスと老化	③	辻	講義	教科書の「18章」を読んでおいて下さい。(30分)	章末問題に取り組んでください。(30分)
	定期試験(筆記)					
評価基準・評価方法						
中間テスト(40%)、期末試験(60%)						
使用教科書						
大学で学ぶ 身近な生物学(第2版) / 吉村成弘.--羊土社, 2025年, 978-4-7581-2183-5						
参考図書						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	試験の出題内容は適宜お伝えします。そのため、不要な欠席はしないようにしましょう。					
実務経験をいかした教育内容	ヒトが病気になったり、回復するメカニズムの基礎をお話します。					
備考						

授業科目名		担当教員				
情報リテラシー		福岡大輔				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(15時間)	講義	LHC205		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
社会の様々な場面で新しい価値を生み出す基盤となる情報技術とデータ分析能力を身につけるために、その基礎的知識を獲得することを授業のねらいとしています。 デジタル社会の基礎的な素養としての初級レベルの数理・データサイエンス・AIを習得する。						
学修の到達目標						
①データ表現やセキュリティ・情報倫理などコンピューターリテラシーについて説明できる。 ②情報技術にデータ分析能力の基礎となるやデータ可視化や統計処理などデータサイエンスについて説明できる。 ③人工知能(AI)のしくみを理解し、その利用にあたって留意事項を説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	情報技術基礎(数と表現, コンピュータのしくみ)【4-3】	①	福岡	講義	高校情報の復習を行うこと(120分)	授業内容を復習する(120分)
2	社会で起きている変化, データと活用領域【1-1, 1-2, 1-3】	①	福岡	講義	教科書の該当ページに目を通しておく(120分)	授業内容を復習する(120分)
3	統計分析(表計算ソフトの利用)【2-1, 2-2】	②	福岡	講義	教科書の該当ページに目を通しておく(120分)	講義内容を復習し演習課題を行う(120分)
4	データ集計とデータ可視化(表計算ソフトの利用)【2-2, 2-3】	② ③	福岡	講義	教科書の該当ページに目を通しておく(120分)	演習課題を行う(120分)
5	データ・AI活用のための技術(予測とシミュレーション)【1-4】	②	福岡	講義	教科書の該当ページに目を通しておく(120分)	講義内容を復習し授業内容を復習する(120分)
6	情報倫理とセキュリティ【3-1, 3-2】	②	福岡	講義	教科書の該当ページに目を通しておく(120分)	授業内容を復習する(120分)
7	医療におけるデータ・AI利活用【1-5, 3-2】	② ③	福岡	講義	教科書の該当ページに目を通しておく(120分)	授業内容を復習する(120分)
8	AIのしくみと利活用と留意事項, データサイエンスの社会応用【1-6, 3-1】	② ③	福岡	講義	人工知能の仕組みについて事前調査を行う(120分)	専門用語の意味を説明できるようにまとめる(120分)
9	レポート					

評価基準・評価方法	
<p>評価基準は、知識理解、思考判断、授業への関わり方を総合して評価する。 評価方法は、レポート（50%）、平常点（小テスト30%、授業への関わり方20%）</p>	
使用教科書	
<p>データサイエンス入門 / 竹村彰通・姫野哲人・高田聖治 編。--学術図書出版社，978-4-7806-0729-1</p>	
参考図書	
<p></p>	
<p>課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法</p>	<p>レポートのコメントや評価をを返却しフィードバックする。</p>
<p>実務経験をいかした教育内容</p>	<p></p>
<p>備考</p>	<p>教員からの連絡・指示・相談はgoogle classroomを利用して行う。</p>

授業科目名		担当教員				
物理学		中村 琢				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 前学期	2単位(30時間)	講義	LHC103		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
この授業は物理学の様々な分野について短期間で概観的に学習するものである。特に看護やリハビリテーションなど医療・看護の職に就く際には物理学の知識は必須であり、本授業では現場で働く際に役に立つ物理学の法則、原則についても扱う。後半では放射線の性質を扱い、実習を含める。授業の形態は情報伝達でなく、簡単なグループワークなど、学習者の主体的な学び(アクティブラーニング)を取り入れる。高等学校で物理を履修していない学習者も本科目を履修できる。						
学修の到達目標						
①物理学の学習内容について理解し表現できる。 ②学習した内容を活用して計算し、思考し、探究に活かすことができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	物理学の基礎知識 第1回と第2回はパワーポイントで説明します。	①	中村	講義	シラバスと教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
2	自然界の階層性	①	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
3	力学の基礎	① ②	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
4	速さと速度、加速度、等速直線運動	①	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
5	等加速度運動	①	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
6	力と等加速度運動・ニュートンの三法則	①	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
7	波動	①	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
8	波の表し方	①	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
9	光と音	①	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	電気と磁気	①	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
11	電流と電圧	①	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
12	原子と原子核	① ②	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
13	放射線の特徴と性質	① ②	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
14	放射性崩壊	① ②	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
15	放射線被ばく防護	① ②	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。(60分)	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
	定期試験 筆記					
評価基準・評価方法						
知識・理解、思考・判断・表現、技能、関心・意欲・態度の観点を総合的に判断する。 定期試験（50%）、時間内レポート・課題（30%）、授業参加態度（20%）						
使用教科書						
ここからスタート物理学 / 為近和彦、裳華房、2018年、978-4-785322649 必ずしも教科書に沿って扱うわけではありません。学習者の実態に応じ授業中で使い方を説明します。						
参考図書						
自然科学の基礎としての物理学, 原康夫, 学術図書出版社, 2014年, 体系看護学 基礎科目 物理学, 平田雅子, メヂカルフレンド社, 2006年						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	試験についての内容や勉強法については授業中に詳しく説明します。レポート課題を出す前に、評価指標について詳しく説明します。					
実務経験をいかした教育内容	担当教員は高等学校で理科・数学の指導歴を有し、また、大学において教員養成の10年以上の授業実践歴、現職教員の研修で講師を務めるなどの職歴がある。これらの実務経験を活かして、本授業においては、知識の伝達ではなく学習者の主体的な学びを促進させる学習法を取り入れている。					
備考	1. オフィスアワー：講義終了後20分程度。電子メールでの質問に随時対応します。 2. 質問等：講義時間中や授業終了後に受け付けます。受講者数が多い場合は電子メールで問い合わせてください。 3. 電子メールアドレス：nakamura.taku.a5@f.gifu-u.ac.jp					

授業科目名		担当教員				
化学		武藤吉徳				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 前学期	2単位(30時間)	講義	LHC104		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
化学は「物質」を理解することを目的とする。医療技術に関わる多くの装置や薬品、そして人体など全てのものが様々な物質で構成されているので、化学の知識は医療分野の基礎としても非常に重要である。この講義では、化学の基礎的な内容を無機化学、有機化学の全般に亘ってなるべくわかり易く解説するように努める。また、医療に関連する事項をできる限り多く取り上げて、専門科目への橋渡しとなるようにしたい。						
学修の到達目標						
①生体物質や医薬品を構成する元素や化学結合の特徴が理解できる。 ②主要な有機化合物について、その構造や性質を説明できる。 ③医療の場で出会う様々な物質、薬品について科学的特性を把握できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	物質の特性	①	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく(120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く(120分)
2	原子と分子	①	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく(120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く(120分)
3	化学結合	①	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく(120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く(120分)
4	物質の三態・溶液とコロイド	① ③	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく(120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く(120分)
5	塩化物	① ③	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく(120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く(120分)
6	酸・アルカリ	① ③	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく(120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く(120分)
7	無機化合物	① ③	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく(120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く(120分)
8	放射性元素	① ③	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく(120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く(120分)
9	有機化合物概要	②	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく(120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	脂肪族炭化水素	②	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく (120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く (120分)
11	酸素、窒素を含む有機化合物	②	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく (120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く (120分)
12	カルボン酸、その他	②	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく (120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く (120分)
13	芳香族化合物	②	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく (120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く (120分)
14	脂環・複素環化合物	②	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく (120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く (120分)
15	生体物質	①	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく (120分)	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く (120分)
	定期試験 筆記					

評価基準・評価方法

評価基準：化学物質に関する知識・理解を重要視する。
 評価方法：定期試験 (100%)

使用教科書

系統看護学講座基礎分野「化学」 / 奈良雅之.--第8版--医学書院, 2026年, 978-4-260-06192-6

参考図書

若山信行・一國雅巳・大島泰郎 訳「ブラディ一般化学 上・下」東京化学同人 ISBN 9784807903474
 額綱 守 著「楽しく学ぶ 暮らしの化学」化学同人 ISBN 9784759820553

課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	提出されたレポートにコメントをつけて返却する。
実務経験をいかした教育内容	
備考	授業中に質問の時間を取るほか、質問紙による質問には、次回の授業時に回答する。

授業科目名		担当教員				
人間工学		山田宏尚				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 前学期	2単位(30時間)	講義	LHC106		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
人間が普段無意識に行っている身体運動や生命維持活動は、筋肉・骨格・内臓・血管など身体の各部位に働く力やモーメントをはじめとした物理学的メカニズムによって成立している。本講義では、医療行為の具体例に基づいて、身体活動の物理学的なメカニズムを学習する。						
学修の到達目標						
①人間の身体活動に関わる物理学の基礎を身につけることができる。 ②物理的根拠に基づく治療行為を実践するための基礎を説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	ガイダンス・モーメントの定義と働き	①	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す(120分)	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる(120分)
2	重いものを持つにはどうしたらよいか	①	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す(120分)	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる(120分)
3	てこの原理と計算	① ②	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す(120分)	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる(120分)
4	看護ボディメカニクスの物理	①	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す(120分)	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる(120分)
5	看護の物理的重点事項	① ②	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す(120分)	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる(120分)
6	身近な圧力(1)	①	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す(120分)	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる(120分)
7	身近な圧力(2)	① ②	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す(120分)	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる(120分)
8	呼吸器と吸引の物理	①	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す(120分)	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる(120分)
9	チェストドレーンバックの原理	① ②	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す(120分)	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	点滴静脈内注射の物理（1）	①	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す（120分）	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる（120分）
11	点滴静脈内注射の物理（2）	① ②	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す（120分）	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる（120分）
12	循環器の物理	①	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す（120分）	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる（120分）
13	血圧測定の物理	① ②	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す（120分）	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる（120分）
14	感覚器の物理	① ②	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す（120分）	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる（120分）
15	体温制御の物理，総復習	① ②	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す（120分）	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる（120分）
	定期試験 筆記					
評価基準・評価方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・評価基準：知識の修得度と計算能力（目標①）、応用的思考能力（目標②） ・評価方法：定期試験（70%）、小テスト・宿題・授業態度（30%）で評価する。 						
使用教科書						
看護学生のための物理学 / 佐藤和良.--第6版--医学書院，2022年，978-4-260-04685-5						
参考図書						
適宜紹介する。						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	提出された課題について全体の総評コメントを口頭にて公開する					
実務経験をいかした教育内容						
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業で小テストを実施し、随時課題を課す。 ・オフィスアワー：講義前後の時間に非常勤講師室で待機する。 ・質問：講義中やオフィスアワーに直接、それ以外にメール（yamada.hironao.a5@f.gifu-u.ac.jp）で随時受け付ける。 					

授業科目名		担当教員				
環境と人間		大藪千穂				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 後学期	2単位(30時間)	講義	LHC207		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
資源・環境問題を解決し、持続可能な社会を構築することが、21世紀最大の課題である。しかし、そのためのアプローチの方法は、まだ、見出されていない。この講義では、環境問題は人間の問題であるとの観点に立ち、環境と人間の関係を、生活と情報によってむすびつけ、環境問題を根本的にとらえなおし、環境問題の解決法を考え、持続可能な社会を展望する。また、人間の成長・発達や脳疾患のリハビリ等に対して、環境が果たす重要な役割を考察する。						
学修の到達目標						
①受講者ひとりひとりが、自分で問題解決の手がかりを、考え、見出すことができる。 ②既存の考え方や方法にとらわれることなく、自分自身の考え方をもち、発展させることができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	環境問題とは何か？	①	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
2	環境問題の原点、水俣病の問題を、生産、消費、環境から考える。	①	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
3	家庭生活から環境問題の本質を探る。	① ②	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
4	衣生活から環境を考える。	①	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
5	食生活から環境を考える。	①	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
6	簡易生ゴミ分解器を製作し、その活用法を考える。	①	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
7	河川環境と人間の関係を考える。	①	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
8	情報から環境と人間を考える。	① ②	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
9	人間形成に対する情報と環境の意味を考える。	① ②	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	脳障害者の発達、脳疾患のリハビリを、環境と情報の観点から捉えなおす。	②	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
11	環境教育のあり方を考える。	① ②	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
12	アーミッシュと現代社会を比較する。	① ②	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
13	近代のライフスタイルを再考する。	②	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
14	生態学の意味を考える。	① ②	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
15	環境と情報から、持続可能な社会を展望する。	②	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
	定期試験 (レポート)					
評価基準・評価方法						
評価基準は、知識・理解、思考・判断、授業態度の総合であるが、特に、各自のオリジナルな思考を重視する。評価方法は、レポート (50%)、小レポート・小テスト (30%)、授業態度等 (20%) による。						
使用教科書						
21世紀の情報とライフスタイル / 杉原利治. --論創社, 2001年, 978-4-8460-0261-9 教科書はこちらで準備します。1回目に2000円をおつりがないように持参してください。						
参考図書						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	毎回の授業では、開始時に、先回の授業で提出された小レポートから紹介し、それぞれの論点を評価し、それらを生かして授業を展開する。					
実務経験をいかした教育内容						
備考	毎回の授業では、開始時に、先回の授業で提出された小レポート数編を紹介し、それぞれの論点を評価し、それらを生かして授業を展開する。					

授業科目名		担当教員				
社会学		伊原亮司				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 前学期	2単位(30時間)	講義	LH0101		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。		伊原亮司(企業勤務)				
授業概要						
この講義は、現代社会のあり方について学ぶ。なかでも、ほとんどの人にとって切実なテーマである「働くこと」に焦点をあてて、現代社会のあり方を理解する。わたしたちは、人生の早い段階から「働くこと」を意識させられ、その準備をするように囁かれている。しかし、働く場の実態については無知なまま、耳に優しい言葉ばかりを聞かされている。本講義は、現代社会における労働を取り巻く環境と労働の特徴を理解し、それを踏まえたうえで、自分たちの働き方を構想することを目的とする。医療関連の仕事に就く予定である受講者は、「就活」にはさほど困らないかもしれない。しかし、働き出してから、「いじめ」、「うつ病」、「過労死」といった様々な問題に直面する可能性がある。医療従事者は「感情労働者」ともいわれ、専門知識のみならず、コミュニケーションの仕方や感情の表出の仕方など、人格に関わる側面が重視される。本講義は、それらの能力の向上に注力するだけでなく、感情労働に付随する問題点を理解し、「うつ病」や「過労死」から自分の身を守る術(すべ)を習得して欲しい。						
学修の到達目標						
①現代社会における労働を取り巻く環境と労働現場の実態を理解できる ②その際に、いかなる視点から「現実」を切り取ればいいのか、分析枠組みを理解することができる ③自分自身で職場の実態を捉えられるようになる ④「働くこと」に対する自分のスタンスを考えることができる ⑤その際、狭義の「能力」の形成に励むだけでなく、自分の「身の守り方」にも留意することができる						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	イントロダクションー「働くこと」とは	②	伊原	講義	テキストの「はじめに」と「おわりに」を読み、概要を理解する(120分)	講義を踏まえた上で、テキストの全体像をイメージする(120分)
2	従来の社会と働き方ー「日本の経営」と「企業社会」	① ②	伊原	講義	テキストの第一章を読み、概要を理解する(120分)	第一章を読み直し、ドラッカーの経営思想を復習する(120分)
3	労働社会の変容ー学校、会社、家庭の関係	① ③	伊原	講義	テキストの第一章から、現代社会の変容の概要を理解する(120分)	戦後日本の労働社会の変容を自らたどる(120分)
4	働く場の実態Ⅰー過労死・過労自殺	① ③	伊原	講義	テキストの第四章を読み、概要を理解する(120分)	テキストの第四章から、過労死と過労自殺の違いを復習する(120分)
5	組織や役割への過剰適応	④	伊原	講義	テキストの第四章から、組織への「過剰適応」について頭に入れる(120分)	逸脱と過剰適応との違いを復習する(120分)
6	働く場の実態Ⅱー「うつ病」	① ③	伊原	講義	テキストの第三章を読み、概要を理解する(120分)	第三章を読み直し、精神疾患と労働との関係を復習する(120分)
7	感情労働の特質	④	伊原	講義	テキストの第三章から、「感情労働」の特徴をつかむ(120分)	肉体労働、知的労働との違いを理解する(120分)
8	働く場の実態Ⅲー「ハラスメント」	① ③	伊原	講義	テキストの第二章を読み、概要を理解する(120分)	日産の事例を追いながら、いじめとハラスメントとの違いを理解する(120分)
9	経営合理化と過度のプレッシャー	④	伊原	講義	テキストの第二章から、相互扶助と相互監視のメカニズムを理解する(120分)	職場における過度のプレッシャーが生じる理由を考える(120分)。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	働く場の実態Ⅳ－職場秩序の悪化	① ③	伊原	講義	職場秩序の悪化のメカニズムについて、概要を理解する (120分)	現在の職場における「秩序」の崩壊理由を整理する (120分)
11	非正規雇用の増大	① ③	伊原	講義	雇用規制の緩和と非正規雇用の増大の実態について理解する (120分)	非正規雇用が増大した契機・時期・理由を整理する (120分)
12	新しい働き方とは	① ④	伊原	講義	テキストの第六章を読み、概要を理解する (120分)	「日本的経営」から新自由主義に基づく経営への推移を整理する (120分)
13	社会貢献という働き方	① ④	伊原	講義	テキストの第七章を読み、概要を理解する (120分)	「社会貢献」の問題点について整理する (120分)
14	働くということを考え直す	④ ⑤	伊原	講義	テキストの第七章を読み、<働く>ということを考え直す (120分)	賃労働とは何かを考え直す (120分)
15	労働を規制する、勤勉さを相対化する	④ ⑤	伊原	講義	テキストの第八章を読み、概要を理解する (120分)	講義を踏まえた上で、自らの働き方を構想する (120分)
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
授業への参加態度 (20%)、レポート (20%)、テスト (60%) などから総合的に評価。						
使用教科書						
新版 私たちはどのように働かされるのか / 伊原亮司.--アトリエ花粉館, 2025年5月出版, 978-4911530016						
参考図書						
講義中に適宜紹介する。						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	次回の講義までに読んでおく「章」を事前に伝える。講義までに目を通しておくこと。講義ははじめに、予習時にわからなかったことをうかがい、補足説明を行う。					
実務経験をいかした教育内容	わたし自身、サラリーマン経験があり、また、調査手法として「参与観察」を取り入れているため、「現場の視点」から労働の実態を語る。もちろん、「現場」を捉える理論的なフレームは不可欠であるが、「現場感覚」も重要視し、受講者には「追体験」してもらいたい。					
備考	理解を補強する教材として、適宜、映像も活用する。					

授業科目名		担当教員				
人間関係論		益川優子				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 前学期	2単位(30時間)	講義	LH0102		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
本講義では、日常生活や職場、家族、医療の現場などで起こる様々な人間関係について理解し、より良い人間関係を築くために人間関係の基本的な意義・視点、職場での人間関係、生涯にわたる人間発達と人間関係、人間関係を構成する自己と他者、人間関係の成立と維持、対立等の基礎知識を学びます。						
学修の到達目標						
①人間関係の意義・視点について考えることができる。 ②人間関係における自己について理解できる。 ③人間関係における他者について理解できる。 ④生涯の人間発達と人間関係の広がりについて理解できる。 ⑤人間関係が成立し、維持するルール、葛藤・対立への対処法を理解し、実践できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション：学習対策、成績評価 人間関係論とは：自己開示について	①	益川	講義	これまでの自身について振り返り800字程度にまとめておく。(120分)	学習した内容を基に改めて自身について振り返り1600字程度でまとめる。(120分)
2	第一印象：第一印象がその後の人間関係に与える影響	① ② ③	益川	講義	前回の学習内容を復習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活で使える可能性を考える。(120分)
3	自己呈示：印象管理と自己呈示の違い	① ② ③	益川	講義	前回の学習内容を復習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して使える可能性を考える。(120分)
4	コミュニケーションの種類：言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション	② ③ ④	益川	講義	前回の受講内容を復習した上で、自分の将来の仕事環境を想定し、該当する課題を考える。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して使える可能性を考える。(120分)
5	非言語コミュニケーション①：対人態度	② ③ ④	益川	講義	前回の受講内容を復習した上で、自分の将来の仕事環境を想定し、該当する課題を考える。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して使える可能性を考える。(120分)
6	非言語的コミュニケーション②：承認欲求	② ③ ④	益川	講義	前回の受講内容を復習した上で、自分の将来の仕事環境を想定し、該当する課題を考える。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して使える可能性を考える。(120分)
7	非言語的コミュニケーション③：対人距離	② ③ ④ ⑤	益川	講義	前回の受講内容を復習した上で、自分の将来の仕事環境を想定し、該当する課題を考える。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して使える可能性を考える。(120分)
8	非言語的コミュニケーション④：状況に応じた座席位置	② ③ ④ ⑤	益川	講義	前回の受講内容を復習した上で、自分の将来の仕事環境を想定し、該当する課題を考える。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して使える可能性を考える。(120分)
9	言語的コミュニケーション：人間関係に影響を与える順番	② ③ ④ ⑤	益川	講義	前回の受講内容を復習した上で、自分の将来の仕事環境を想定し、該当する課題を考える。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して使える可能性を考える。(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	援助行動①：傍観者効果	② ③ ④ ⑤	益川	講義	前回の受講内容を復習した上で、自分の将来の仕事環境を想定し、該当する課題を考える。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して使える可能性を考える。(120分)
11	援助行動②：援助行動が開始されるまでの葛藤	② ③ ④ ⑤	益川	講義	前回の受講内容を復習した上で、自分の将来の仕事環境を想定し、該当する課題を考える。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して使える可能性を考える。(120分)
12	援助行動③：援助行動をとる心理	② ③ ④	益川	講義	前回の受講内容を復習した上で、自分の将来の仕事環境を想定し、該当する課題を考える。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して使える可能性を考える。(120分)
13	援助要請④：社会的インパクト理論	② ③ ④ ⑤	益川	講義	前回の受講内容を復習した上で、自分の将来の仕事環境を想定し、該当する課題を考える。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して使える可能性を考える。(120分)
14	集団心理：集団意思選択、集団浅慮、集団極性化	② ③ ④ ⑤	益川	講義	前回の受講内容を復習した上で、自分の将来の仕事環境を想定し、該当する課題を考える。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して使える可能性を考える。(120分)
15	攻撃行動：フロイト、ローレンツ、ダラード、テダスキーの理論	② ③ ④ ⑤	益川	講義	①インターネットや②SNSの利用状況、注意点 ③人間関係への影響について考える。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して使える可能性を考える。(120分)
16	レポート作成					
評価基準・評価方法						
レポート試験（60%）、平常点（40%）						
使用教科書						
なし						
参考図書						
適宜紹介いたします。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	※授業時間内で取り組んでいただいた小テストやレポートは、コメントをつけて返却いたします。 ※学期末試験については、全体の総評コメントを掲示にて公開いたします。					
実務経験をいかした教育内容						
備考	学科を越えたメンバー形成をし、グループワークを行うことがあります。グループワークには積極的に参加してください。					

授業科目名		担当教員				
ボランティア論		後藤誠一				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 前学期	2単位(30時間)	講義	LH0103		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。		後藤誠一(ぎふ地域学校協働活動センター(岐阜県・岐阜大学共同設置)センター員(学生ボランティアマッチング・現場での指導助言担当))				
授業概要						
本講義では、ボランティアについて、その言葉が持つイメージから検討をはじめ、ボランティアの歴史、普及・定着の社会的背景、ボランティア活動の個人、組織、地域、社会にとっての意味・意義、そしてボランティア活動によって切り拓かれる可能性について基本的な知識を得るとともに、そうした知識を活用して現代社会の諸問題・課題の解決に主体的・能動的に参画しようとする、ボランティアとしての態度・心構えを形成することを目標とする。ディスカッション、グループワーク等の学び合いの機会も設ける。						
学修の到達目標						
①ボランティア活動の定義について歴史的背景を踏まえながら説明できる。 ②ボランティア活動の意義と社会的役割について説明できる。 ③ボランティア活動を支援する意味とボランティア活動支援機関の役割について理解し、説明することができる。 ④ボランティア活動を通じて社会に参画しようとする主体的・能動的な態度・心構えが形成されている。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	ボランティアとは何か①(イメージを共有する)	① ②	後藤	講義	自身の持つ「ボランティア」という言葉に関するイメージをノートに列挙してくる。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
2	ボランティアとは何か②(イメージを分析する)	① ②	後藤	講義	自身の持つ「ボランティア」という言葉に関するイメージを分析した結果をまとめる。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
3	ボランティアの本質・特徴	① ②	後藤	講義	ボランティアにおいて大切なこと、特徴などをノートに書きだす。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
4	ボランティアにおける学び	① ②	後藤	講義	ボランティアにおける成長や学びにはどのようなものがあるかをノートに書きだす。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
5	ボランティアにかかわる思想と歴史	① ②	後藤	講義	ボランティアの歴史や福祉との関係について調べておく。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
6	ボランティアの組織とマネジメント	① ②	後藤	講義	NPO・ボランティア団体の法制度、組織運営について調べておく。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
7	ボランティアの情報提供や支援方策、コーディネーター	① ② ④	後藤	講義	自治体等のボランティア情報提供、中間支援について調べておく。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
8	青少年教育とボランティア	① ② ③	後藤	講義	子ども・若者のためのボランティアについて調べておく。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
9	体験活動におけるボランティア	② ③ ④	後藤	講義	自然体験活動等の体験活動に関する事例や課題を調べる。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	学校と地域の連携・協働とボランティア	② ③ ④	後藤	講義	学校と地域の連携協働、地域学校協働活動について調べておく。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
11	地域学校協働活動におけるボランティア	② ③ ④	後藤	講義	地域学校協働活動の事例について調べておく。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
12	社会教育・生涯学習とボランティア	② ③ ④	後藤	講義	社会教育・生涯学習におけるボランティアや学習成果の還元について調べておく。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
13	社会教育・生涯学習におけるボランティア事例の検討	② ③ ④	後藤	講義	地域の課題、子ども食堂、学習支援の事例等について調べておく。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
14	ボランティアの可能性と展望	④	後藤	講義	これからの社会におけるボランティア活動の意義や可能性について考察してくる。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
15	ボランティア活動と自分	④	後藤	講義	これまでの学習を踏まえ、自身にとってのボランティアの意義と社会的役割、自分でできることや挑戦したいことについて考察してくる。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
	定期試験					
評価基準・評価方法						
受講態度（グループワーク・発表含む）30%、授業時に書く振り返りシート30%、試験40%						
使用教科書						
なし						
参考図書						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	振り返りシートに書かれた内容や質問に対しては、次回授業時の冒頭にコメントや説明をする。					
実務経験をいかした教育内容	ボランティア活動そのものに加えて、ボランティア活動を支えるための人や組織、支援方法についても解説したい。					
備考	質問等ありましたら授業終了後、声をかけてください。					

授業科目名		担当教員				
哲学		竹内章郎				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 後学期	2単位(30時間)	講義	LH0204		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
自由・平等・友愛(共同性)は、近代社会全般の基礎とされるが、この講義では、自由と共同性との関連も重視しながら、平等とはいかなることかの解明を中心に、格差や不平等が広がる現実を根本から(ラディカルに)理解することを目指す。あわせて、平等ということが社会保障や社会福祉の実践において非常に大切であることが感得されるような講義としたいと考えている。近代思想史や哲学史の理解も、そうした本講義のための手段であるという位置づけで、講義をするつもりである。						
学修の到達目標						
①大きな問題を根本から考える姿勢を身に付けるために、抽象度の高い言葉を理解しこれがある程度使えるようにする。 ②近代思想・近代哲学の基本を一定程度理解できる。 ③現代社会の課題の基本を捉える姿勢を身に付ける。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	ガイダンス(全体の進行について、資料の使い方など)	①	竹内	講義	資料の前書きの熟読(120分)	講義内容の復習(120分)
2	現代において平等を問うことの意味<教科書iii~vii頁>	③	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)
3	平等はなぜ避難されることが多いのか? 平等の根本的定義(1)<教科書1~14頁>	①	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)
4	平等はなぜ避難されることが多いのか? 平等の根本的定義(2)<教科書14~31頁>	① ③	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)
5	平等論の深化・拡大、不平等と一体の平等に関する歴史(1)<教科書33~44頁>	②	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)
6	平等論の深化・拡大、不平等と一体の平等に関する歴史(2)<教科書44~54頁>	②	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)
7	平等論の深化・拡大、不平等と一体の平等に関する歴史(3)<教科書54~68頁>	②	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)
8	平等論の深化・拡大、不平等と一体の平等に関する歴史(4)<教科書68~78頁>	②	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)
9	悪平等はなぜ生まれたのか? 伝統的平等論の意義と問題(1)<教科書69~93頁>	①	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	悪平等はなぜ生まれたのか？ 伝統的平等論の意義と問題(2) <教科書93～117頁>	①	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)
11	新たな能力論的平等論と新たな機会平等論(1) <教科書119～143頁>	① ③	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)
12	新たな能力論的平等論と新たな機会平等論(2) <教科書143～166頁>	① ③	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)
13	新たな平等論の体系の構築に向けて(1) <教科書 167～185頁>	① ③	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)
14	新たな平等論の体系の構築に向けて(2) <教科書185～200頁>	① ③	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)
15	新たな平等論の体系の構築に向けて(3) <教科書200～215頁>	① ②	竹内	講義	左記該当箇所の熟読(120分)	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習(120分)

評価基準・評価方法

最終のレポートによって評価する。講義内容の正確な理解に加えて、内容を表現する文章力も評価の対象とする。

使用教科書

使用しない(講義に先立って、講義全体に関する資料を配布する。)

参考図書

必要に応じて講義中に紹介する。

課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	講義について、適宜配布する質問用紙に記入してもらう内容に、その都度応答する。
実務経験をいかした教育内容	
備考	

授業科目名		担当教員				
教育学		益川浩一				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 後学期	2単位(30時間)	講義	LH0205		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。		益川浩一(児童福祉司)				
授業概要						
本講義は、人間が生き、成長・発達していく上で教育がどのような意義を持ち、社会においてどのような役割を果たすのかについて考察していきます。また、教育をとりまく現代の諸問題を多面的に捉えつつ、教育という営みの現代的意義についても考察していきます。						
学修の到達目標						
①教育の概念と機能、その役割について説明できる。 ②人間の生涯発達理論について説明できる。 ③他者とのかかわりを導く技法を使うことができる。 ④現代の教育と教育を取り巻く諸問題について自分の考えを持つことができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	教育の概念	①	益川	講義	自身の持つ「教育」という言葉に関するイメージをノートに列挙してくる。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
2	学ぶということ・教えるということ	①	益川	講義	第1回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
3	生涯発達理論①乳児期～幼児期	②	益川	講義	第2回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
4	生涯発達理論②児童期～青年期	②	益川	講義	第3回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
5	生涯発達理論③成人期～老年期	②	益川	講義	第4回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
6	教育の営みと教育を取り巻く諸問題	① ④	益川	講義	第5回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
7	他者とのかかわり	③	益川	講義	第6回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
8	他者とのかかわりを導く技法	③	益川	講義	第7回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
9	教育の目標と評価	①	益川	講義	第8回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	教育のデザイン	①	益川	講義	第9回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
11	キャリア教育	④	益川	講義	第10回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
12	ジェンダーとセクシュアリティ	④	益川	講義	第11回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
13	特別ニーズ教育・インクルーシブ教育	④	益川	講義	第12回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
14	生涯教育	④	益川	講義	第13回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
15	シティズンシップ教育	④	益川	講義	第14回の授業内で指示する。(120分)	授業内容を整理し、ノートにまとめる。(120分)
	定期試験					
評価基準・評価方法						
受講態度30%、定期試験70%						
使用教科書						
なし						
参考図書						
適宜紹介いたします。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	※定期試験については、全体の総評コメントを掲示にて公開いたします。					
実務経験をいかした教育内容	児童相談所における児童福祉司としての経験を活かして、困難を抱える子ども・若者の実態を踏まえた上で、教育の意義・役割等について講義を行う。					
備考	質問等ございましたら授業終了後、気軽に声をかけてください。					

授業科目名		担当教員				
心理学		益川優子				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 後学期	2単位(30時間)	講義	LH0206		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
心理学は人の行動から心の動きを科学的に推察する学問です。心理学についてそれぞれが抱くイメージは様々であると思いますが、本授業では、基礎心理学を中心に他者と自身の心の動きを客観的に理解し、医療現場で他者との関係をより良くするために必要な基礎知識を学びます。						
学修の到達目標						
①相手の「心」を直接把握することができないことを理解できる。 ②相手の「心」は推測でしか扱えないことを理解できる。 ③同じ状況でも人によって違う心が推測されうることを理解できる。 ④自分の心を相手にわかってもらうためには推測し易い情報を提供しなければならないことを理解できる。 ⑤上記の関する知識を実際の人間関係に活用することができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション：授業の概要、評価の方法 心理学とは何か：心理学の種類について	① ②	益川	講義	心理学に抱くイメージを、レポート(1000字程度)にまとめてくる。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
2	社会心理学：パーソナルスペース	② ③	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
3	社会心理学：同調行動	② ③	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
4	社会心理学：初頭効果と光背効果	② ③ ④	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
5	人格心理学：類型論と特性論	② ③ ④	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
6	人格心理学：性格検査	③ ④ ⑤	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
7	認知心理学：錯覚	③ ④ ⑤	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、テキストとPPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
8	認知心理学：体制化	③ ④ ⑤	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
9	認知心理学：ストループ効果、選択的注意力	③ ④ ⑤	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	学習心理学：古典的条件づけ、道具的条件づけ	③ ④ ⑤	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、テキストとPPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
11	学習心理学：観察学習、学習性無力感	③ ④ ⑤	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
12	発達心理学：乳児期～児童期	③ ④ ⑤	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
13	発達心理学：青年期～老年期	③ ④ ⑤	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
14	産業心理学：二段階要請法	③ ④ ⑤	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
15	臨床心理学：発達障害、パーソナリティ障害	③ ④ ⑤	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。(120分)	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。(120分)
	定期試験（筆記）					
評価基準・評価方法						
筆記試験70%、平常点（小テストを含む）30%						
使用教科書						
なし						
参考図書						
適宜紹介いたします。						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	※授業時間内で取り組んで頂いた小テストやレポートは、コメントをつけて返却いたします。 ※学期末試験については、全体の総評コメントを掲示にて公開いたします。					
実務経験をいかした教育内容						
備考						

授業科目名		担当教員				
生命倫理学		谷口泰弘				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	3年 前学期	2単位(30時間)	講義	LH0707		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1) 理学ディプロマポリシー(1)(3) 作業ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
<p>バイオエシックス(生命倫理学)の基礎的な事項を学ぶ。現代の医療においては医師だけではなく、多くの医療に関係する職種が協力し、チーム医療を担っている。それぞれの職種に高い倫理観が求められている。本講義では、バイオエシックスに係る歴史的背景から最新の医療に関する倫理的問題群にいたるまで、デジタル教材を活用しながら講義形式で分かり易く解説する。</p>						
学修の到達目標						
<p>医療専門職に不可欠な倫理観を身につけるため、バイオエシックスに係る問題群について、倫理的・法的・社会的問題として捉え、思考し行動に移せる能力を修得する。 ①バイオエシックスの歴史的背景等から、人間の尊厳を理解する。 ②講義の各論から、医療に係る倫理的問題の本質を見極め、立場の違いを理解したうえで、解決に向けた多角的な思考ができる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	バイオエシックス総論①(ガイダンス、基礎概念)	①	谷口	講義	予習(120分) 教科書第1章前半部分	復習(120分) 教科書第1章前半部分と配布資料
2	バイオエシックス総論②(歴史的背景WW II以前)	①	谷口	講義	予習(120分) 教科書第1章後半部分	復習(120分) 教科書第1章後半部分と配布資料
3	バイオエシックス総論③(歴史的背景WW II以後)	①	谷口	講義	予習(120分) 教科書第2章前半部分	復習(120分) 教科書第2章前半部分と配布資料
4	自己決定と人間の尊厳(インフォームド・コンセント)	①	谷口	講義	予習(120分) 教科書第3章部分	復習(120分) 教科書第3章部分と配布資料
5	倫理理論の考え方(応用倫理学からのアプローチ)	①	谷口	講義	予習(120分) 教科書第2章後半部分	復習(120分) 教科書第2章後半部分と配布資料
6	生殖補助医療の問題①(人工授精、体外受精、代理母)	②	谷口	講義	予習(120分) 教科書第4章前半部分	復習(120分) 教科書第4章前半部分と配布資料
7	生殖補助医療の問題②(出生前診断、着床前診断、人工妊娠中絶)	②	谷口	講義	予習(120分) 教科書第4章後半部分	復習(120分) 教科書第4章後半部分と配布資料
8	遺伝子をめぐる問題(ヒトゲノムの利用、遺伝子特許、個人情報、エンハンスメント)	②	谷口	講義	予習(120分) 教科書第5章部分	復習(120分) 教科書第5章部分と配布資料
9	ライフサイエンス研究をめぐる問題(再生医療、ヒトES細胞研究、ヒトiPS細胞研究)	②	谷口	講義	予習(120分) 再生医療に関する倫理的問題を調べる	復習(120分) 配布資料を復習する

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	脳死・臓器移植をめぐる問題（脳死の定義、臓器移植法、移植システム）	②	谷口	講義	予習（120分） 教科書第6章部分	復習（120分） 教科書第6章部分と配布資料
11	終末期をめぐる問題①（尊厳死、安楽死）	②	谷口	講義	予習（120分） 教科書第7章前半部分	復習（120分） 教科書第7章前半部分と配布資料
12	終末期をめぐる問題②（治療中止、鎮静、緩和医療）	②	谷口	講義	予習（120分） 教科書第7章後半部分	復習（120分） 教科書第7章後半部分と配布資料
13	医療と法律（医療事故関係、医療契約）	②	谷口	講義	予習（120分） 教科書第14章部分	復習（120分） 教科書第14章部分と配布資料
14	広義のバイオエシックス（医療と社会、動物倫理、環境倫理）	②	谷口	講義	予習（120分） 教科書第10章部分	復習（120分） 教科書第10章部分と配布資料
15	研究をめぐる倫理（研究不正、倫理委員会、オーサーシップ、利益相反等）	②	谷口	講義	予習（120分） 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針を予め調べる	復習（120分） 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針を復習する
	定期試験（筆記）	① ②	谷口	試験		
評価基準・評価方法						
評価基準は、知識・理解および思考とする。その評価方法は、定期試験を実施して評価する（80%） ミニレポート等の提出物の内容も評価に入れる（20%）						
使用教科書						
第3版 生命倫理・医事法 / 塚田敬義ほか、--改訂版--医療科学社、2022年、978-4-86003-133-6						
参考図書						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	実施する定期試験および提出物について、総評を掲示する。					
実務経験をいかした教育内容						
備考	適宜、補足資料を配布し、理解が深まるよう講義する。 特段、オフィスアワーは設けないが、講義終了後に教室に残り質問等について対応する（この時間を活用してください）。					

授業科目名		担当教員				
基礎演習		辻 圭一・石田裕保・藤橋雄一郎・植木 努 (代表教員 辻 圭一)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義・演習	LCM101		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。		辻圭一(理学療法士)・石田裕保(理学療法士)・藤橋雄一郎(理学療法士)・植木努(理学療法士)				
授業概要						
本講義では、学生生活のあり方やレポートの書き方など身近なテーマから、社会的マナーやルール、あるいは社会人として知るべきテーマについて論じ、社会のルールをしっかりと理解することを目的とする。加えて、医療系学生として必要な学習方法を習得する。さらに、知識を他者に伝達する方法を体験しコミュニケーション能力の向上を図る。						
学修の到達目標						
①学生生活のあり方、社会的マナーやルールが理解できる ②話し合いを通じて他者の考え方が理解できる ③医療系学生としての学習方法を身につける						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション、レポートの書き方と提出方法、ポートフォリオの作成の仕方	①	辻	講義	特になし	実際にレポート書式を自分で作成しましょう(60分)
2	学習方法総論(大学での学習方法、自己学習の取り組み方、インターネットの活用)	①	辻	講義	普段の予習の方法についてまとめておいて下さい。(30分)	講義で習った方法を実践してみてください。(30分)
3	社会的マナー<礼儀>やルール	②	藤橋	演習	マナー、ルールについて意味を調べておいて下さい。(30分)	講義資料を元に自分でまとめておいて下さい(30分)
4	グループワーク1<テーマ:教養・社会性・医療と経済>発表および討論	②	藤橋	演習	この1週間分のニュースを見直して下さい。(30分)	講義資料を元に自分でまとめておいて下さい(30分)
5	グループワーク2<テーマ:福祉・労働の意義・人間関係>発表および討論	③	植木	演習	この1週間分のニュースを見直して下さい。(30分)	講義資料を元に自分でまとめておいて下さい(30分)
6	学習方法各論1(基礎医学の学習方法およびグループワークの進め方)	③	植木	演習	前回の講義内容を見直して下さい。(30分)	講義資料を元に自分でまとめておいて下さい(30分)
7	学習方法各論2(他者への知識の提供方法)	③	石田	演習	前回の講義内容を見直して下さい。(30分)	講義資料を元に自分でまとめておいて下さい(30分)
8	学習方法各論3(個人間での知識の共有方法)	③	石田	演習	前回の講義内容を見直して下さい。(30分)	講義資料を元に自分でまとめておいて下さい(30分)
9	学習方法各論4(学習における記録の残し方)	③	辻	演習	前回の講義内容を見直して下さい。(30分)	講義資料を元に自分でまとめておいて下さい(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	演習1 (グループワーク：課題の提示方法)	③	石田	演習	前回の講義内容を見直して下さい。 (30分)	講義資料を元に自分でまとめておいて下さい (30分)
11	演習2 (グループワーク：学習内容の提示方法)	② ③	藤橋	演習	前回の講義内容を見直して下さい。 (30分)	講義資料を元に自分でまとめておいて下さい (30分)
12	演習3 (グループワーク：シェア学習の実践①)	② ③	植木	演習	前回の講義内容を見直して下さい。 (30分)	講義資料を元に自分でまとめておいて下さい (30分)
13	実技「骨格筋の操作」	③	辻	演習	前回の講義内容を見直して下さい。 (30分)	講義で学んだ手技を練習してみましよう (30分)
14	演習4 「理学療法士の働く場所と理学療法士の目的」 (グループワーク/ビデオ視聴/レクチャー)	② ③	植木 藤橋	演習	google driveの準備と使い方の練習 (30分)	個人スライドの修正 (30分)
15	演習5 「理学療法士の働く場所と理学療法士の目的」	② ③	植木 藤橋	演習	前回の講義内容を見直して下さい。 (30分)	個人スライドの修正 (30分)
	レポート課題					
評価基準・評価方法						
受講態度 (50%)、レポート (50%)						
使用教科書						
参考図書						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	評価基準の受講態度とは、さまざまな活動に対して積極的に取り組める姿勢を指します。レポートは成績発表後に返却します。					
実務経験をいかした教育内容	教員は理学療法士として病院をはじめ、各施設の勤務経験が豊富です。また、医学教育に長く携わっており、学習方法についても熟知しています。これらの経験から、学修の到達目標を達成する教授ができます。					
備考	講義内容に質問があれば、研究室に問い合わせる事。 <辻研究室 k.tsuji@heisei-iryuu.ac.jp>					

授業科目名		担当教員				
文章表現法		田口正芳				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義	LCM102		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1) 理学ディプロマポリシー(1)(3) 作業ディプロマポリシー(1)(3) 視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
<p>将来医療や介護等の現場で働く者にとっては、患者や患者の家族・同僚スタッフ・福祉関係者等とのコミュニケーション力や文章作成力が必要である。授業を通して自身の国語力を知り基礎力を高めると共に、授業以外の日常生活の様々な場面でも意識して適切な言葉を遣うことをめざす。テキストとトレーニングシートを活用し、説明する力・聴く力を養うと共に、手紙文や公用メールのマナー・レポート等の書き方の実践を通して文章表現力を身に付ける。回によって、ペアワークやグループワークの授業をしたり、トレーニングシートや適宜課題の提出を求めることがある。</p>						
学修の到達目標						
<p>①正しく適切な日本語について学び、正確に情報や意見交換を行う力を身に付け、現場で生かせるようになる。 ②自分の感情がコントロールでき、相手に配慮した言葉で良好な人間関係を築くことによって問題解決ができる。 ③日々の生活において、メモをとったり書いたりすることを習慣にする。 ④専門科目で求められるレポートや、社会人・職業人に必要な様々な文章を作成することができる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	授業の進め方やテキストとトレーニングシートの活用についての説明。	①	田口	講義	シラバスとテキスト、トレーニングシートに目を通し、学習の目標を理解する。(30分)	授業で学んだ内容を現場で生かせることを意識し、言葉に対する関心知識を高める。(30分)
2	テキスト(スタディスキル編)第1章「正しい日本語を使うー正確で豊かに表現する」トレーニングシート1の解説と自己採点。	①	田口	講義	テキストP4~7を読み、トレーニングシート1を解く。(30分)	授業を振り返り、トレーニングシート1の内容を確かなものにする。(30分)
3	テキスト(スタディスキル編)第2章「敬語を使うー相手を尊重する気持ちを伝える」トレーニングシート2の解説と自己採点。	① ②	田口	講義	テキストP8~12を読み、トレーニングシート2を解く。(30分)	授業を振り返り、トレーニングシート2の内容を確かなものにする。(30分)
4	テキスト(スタディスキル編)第3章「メモをとるー要点をおさえて記録する、伝える」トレーニングシート3の解説と自己採点。	① ③	田口	講義	テキストP14~17を読み、トレーニングシート3を解く。(30分)	授業を振り返り、トレーニングシート3の内容を確かなものにする。(30分)
5	テキスト(スタディスキル編)第4章「説明する・発表するー相手がわかる説明をする」トレーニングシート4の解説と自己採点。	① ②	田口	講義	テキストP18~21を読み、トレーニングシート4を解く。(30分)	授業を振り返り、トレーニングシート4の内容を確かなものにする。(30分)
6	テキスト(スタディスキル編)第5章「電話をするーその場でのやり取りに対応する」トレーニングシート5の解説と自己採点。	① ②	田口	講義	テキストP22~25を読み、トレーニングシート5を解く。(30分)	授業を振り返り、トレーニングシート5の内容を確かなものにする。(30分)
7	テキスト(スタディスキル編)第6章「メールを書くー学生生活でメールを使う」トレーニングシート6の解説と自己採点。	① ② ③ ④	田口	講義	テキストP26~29を読み、トレーニングシート6を解く。(30分)	授業を振り返り、トレーニングシート6の内容を確かなものにする。(30分)
8	テキスト(スタディスキル編)第7章「手紙を書くー病院・施設に宛てて書く手紙のマナー」トレーニングシート7の解説と自己採点。時候の挨拶を知る。時候の挨拶を知る。	① ② ③ ④	田口	講義	テキストP30~33を読み、トレーニングシート7を解く。(30分)	授業を振り返り、トレーニングシート7の内容を確かなものにする。(30分)
9	テキスト(スタディスキル編)第8章「レポートを書く(1)：内容編ーレポートに何を書くのか」トレーニングシート8(裏表2枚)の解説と自己採点。	① ③ ④	田口	講義	テキストP34~37を読み、トレーニングシート8を解く。(30分)	授業を振り返り、トレーニングシート8の内容を確かなものにする。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	テキスト（スタディスキル編）第9章「レポートを書く（2）：表現編—レポートをどう書くのか」トレーニングシート9（裏表2枚）の解説と自己採点。文章の基本を知る。	① ③ ④	田口	講義	テキストP38～42を読み、トレーニングシート9を解く。（30分）	授業を振り返り、トレーニングシート9の内容を確かなものにする。（30分）
11	テキスト（ソーシャルスキル編）「ソーシャルスキルの学び方」第1章「挨拶をする、自己紹介をする—さわやかな印象を」トレーニングシート1（P23, 24）を実践する。	① ②	田口	講義	テキストP44～49を読み、自分の特徴・長所・短所、会話のネタ等の準備。（30分）	授業を振り返り、場面に応じた自己紹介のスキルを身に付け、良好な人間関係に繋げる。（30分）
12	テキスト（ソーシャルスキル編）第2章「話すスキルと聴くスキル—互いにつながるために」トレーニングシート2（P25, 26）を実践・発表する。	① ②	田口	講義	テキストP51話すスキルとP53聴くスキルのモデリングで練習しておく。（30分）	実際の生活の場で試してみる。誤解や思い込みのないコミュニケーション力を身に付ける。（30分）
13	テキスト（ソーシャルスキル編）第3章「上手に断る—相手を傷つけないように」トレーニングシート3（P27, 28）を実践・発表する。	① ② ③	田口	講義	テキストP56～59を読み、トレーニングシートP27の課題1, 2に意見を書く。（30分）	相手の期待に応えられず上手に断るポイントを学び、応用してみる。（30分）
14	テキスト（ソーシャルスキル編）第4章「感情をコントロールするスキル—さまざまな感情を感じ、ともに生きていく」トレーニングシート4（P29, 30）を実践・発表する。	① ② ③	田口	講義	テキストP60～63を読み、トレーニングシートP29, 30に意見や考えを書く。（30分）	自分の苦手な場面で冷静に感情をコントロールする方法を学び、応用してみる。（30分）
15	テキスト（ソーシャルスキル編）第5章「うまく問題を解決するスキル—対人葛藤と向き合い、主張的に解決する」のモデル（例題）について、国語力・文章表現力を生かし論文を作成し、提出する。	① ② ③	田口	講義	テキストP65のモデルについて、解決策を400字程度にまとめておく。（30分）	事前学習の下書きを参考に、自身の問題解決のスキルと文章表現力を自己評価する。（30分）
	定期試験（筆記）					

評価基準・評価方法

- ①テキストとトレーニングシートに基づき必ず事前学習を行い、授業に臨むこと【授業に対する意欲】
 ②トレーニングシートの他に適宜与えられた課題に取り組み、提出すること【課題提出の厳守】
 ③定期試験【日本語表現力、ソーシャルスキルの習得と定着】

使用教科書

看護系学生のための日本語表現トレーニング / 野呂幾久子/渡辺弥生/味木由佳〔編著〕. --三省堂, 2013年, 978-4-385-36328-8

参考図書

必要に応じて授業中に紹介する。

課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法

- ①トレーニングシートの提出→完成度（授業に対する意欲・知識の定着）の確認
 ②課題文の提出→問題解決のスキルと文章力の確認

実務経験をいかした教育内容

備考

質問は随時受け付けます。学習相談等があれば、授業時間の前後に対応したいと思います。時間を要する内容については口頭ではなく文章にして渡してください。次の授業で極力回答したいと思います。

授業科目名		担当教員				
コミュニケーション学		早川佳穂・藤崎和彦 (代表教員 早川佳穂)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	講義	LCM203		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの重要性を理解する。 ・自分自身のコミュニケーションのスキルについて深く振り返り、医療現場において、患者さん・医療スタッフとの間でよりよい人間関係を構築するための具体的なコミュニケーション能力を身につける。 ・グループディスカッション、ペアワークなど体験、実践を中心とした講義を行う。 						
学修の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ①非言語コミュニケーションの重要性を理解し、実践できる ②年代が違う人への挨拶、返事など、日常的なコミュニケーションができる ③自分の気持ち・考えなどを明確に相手に伝えることができる ④相手の言葉の背景にある気持ちや考えを想像しコミュニケーションすることができる ⑤医療現場におけるコミュニケーションの重要性と求められているスキルを学ぶ 						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	・この授業の目的・到達目標について知る ・コミュニケーションの重要性とトレーニング方法について学ぶ	① ② ③ ④ ⑤	藤崎	講義		授業で習得したスキルを日常生活で実践する(60分)
2	・医療コミュニケーションの特徴とポイントを学ぶ	① ② ③ ④ ⑤	藤崎	講義	医療コミュニケーションの特徴について考えてみる(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
3	・相手の本当に伝えたいことを受けとめるための聴き方について学ぶ	② ④ ⑤	藤崎	講義	自分は普段どのような聴き方をしているか考える(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
4	・ロールプレイを通して医療コミュニケーションのポイントについて学ぶ	① ② ③ ④ ⑤	藤崎	講義	初対面の人と会話するときに困っていることを考える(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
5	・ロールプレイを通して医療コミュニケーションのポイントについて学ぶ	② ④ ⑤	藤崎	講義	クライアントとどんな話し方が相応しいかを考えてくる(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
6	・コミュニケーションの基本スキル① 日常生活におけるコミュニケーションの基本概念を学ぶ	① ②	早川	講義	日常生活において自身のコミュニケーションを振り返る(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
7	・コミュニケーションの基本スキル② 相手との信頼関係をつくるコミュニケーションについて学ぶ	① ② ④	早川	講義	信頼関係をつくるために自身が実践していることを考えてくる(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
8	・コミュニケーションの基本スキル③ 話すこと・受け止めることについて学ぶ	③ ④	早川	講義	相手の気持ちを理解するためにどうしたらよいか考えてくる(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
9	・コミュニケーションの基本スキル④ 聴くこと・共感について学ぶ	① ④	早川	講義	共感について調べてくる(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	・コミュニケーションスキルを高める ワークをとおしてスキルを高める	① ③ ④	早川	講義	これまで講義学んだ ことを振り返る (30分)	授業で習得したスキル を日常生活で実践 する (30分)
11	・患者を理解する① 患者の様々な背景に関してワークを通して学ぶ	④ ⑤	早川	講義	患者さんの様々な背 景に関して考えてく る (30分)	授業で習得したスキル を日常生活で実践 する (30分)
12	・患者を理解する② 解釈モデルに関してワークを通して学ぶ	④ ⑤	早川	講義	解釈モデルに関して 調べてくる (30分)	授業で習得したスキル を日常生活で実践 する (30分)
13	・医療コミュニケーションのスキル① 様々な背景の患者や患者家族に対してわかりや すく且つ正しく伝える説明をワークを通して学 ぶ	③ ⑤	早川	講義	わかりやすく説明す るために重要なこと を考えてくる (30分)	授業で習得したスキル を日常生活で実践 する (30分)
14	・医療コミュニケーションのスキル② 行動変容に関してワークを通して学ぶ 多職種連携におけるコミュニケーションを学ぶ	④ ⑤	早川	講義	行動変容とは何か調 べてくる (30分)	授業で習得したスキル を日常生活で実践 する (30分)
15	・まとめ	① ② ③ ④ ⑤	早川	講義	医療現場でどのよう な職種とのコミュニ ケーションが必要か 考えてくる (30分)	授業で習得したスキル を日常生活で実践 する (30分)
	定期試験 無し					
評価基準・評価方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 (授業への関わり方) 60% ・レポートの内容 (複数回レポート提出) 40% 						
使用教科書						
参考図書						
<ul style="list-style-type: none"> ・授業の進行に伴って、その都度紹介する。 ・適宜、教材として使用するプリントなども配付する。 						
課題 (試験やレポート) に 対するフィードバック方法	・コメント、口頭でフィードバック					
実務経験をいかした 教育内容						
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のコミュニケーションの問題・悩みなどなんでもいいので課題をもって授業に臨んでください。 ・担当教員への連絡方法は、初回講義時間内にお知らせします。 					

授業科目名		担当教員				
英語 I (教養英語)		ミロボト セイト モハマト				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義	LFL101		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1) 理学ディプロマポリシー(1) (3) の達成に寄与している。						
授業概要						
この科目は話すおよび書くことの発信力強化を目的とした科目です。今の大学生に求められる、さまざまな情報を収集し、それらを伝える力、そして自分の考えを述べる力を高めるよう構成されています。扱っている話題は、スマートフォンやアルバイト、理想のパートナーやSNS投稿、ボランティア活動、食や睡眠といった、大学生の皆さんにとって身近なものになっています。楽しみながら、積極的にクラスメイトと意見交換をして、英語での発信力を高めていってください。						
学修の到達目標						
① 日常の色々な場面でよく使われる決まった言い方に慣れ、一般的な質問の仕方とその答え方を身に付ける。 ② 英文雑誌記事や新聞の記事、またメールの英文に触れ、日常の話題とその英語に触れて会話力を高める。 ③ 英文メールに慣れ、自分でもメール文を書ける自信をつける。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	・ Where are you from? [Subject-Verb Agreement] (主語と動詞の一致)	① ②	ミロボト	講義		その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (45分)
2	・ How are you doing? [Be Verbs & Do Verbs] (Be動詞と一般動詞)	② ③	ミロボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (45分)
3	・ How many classes do you have? [Countable Nouns] (数えられる名詞)	② ③	ミロボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (45分)
4	・ Review ① (Units 1-3) (ユニット1-3の復習)	② ③	ミロボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (45分)
5	・ How much food do you need for your party? [Uncountable Nouns] (数えられない名詞)	① ② ③	ミロボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (45分)
6	・ How many people are there in your family? [There is/ There are /It is/ They are] (「ある」「いる」の表現と It is /They are との違い)	① ② ③	ミロボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (45分)
7	・ When is your report due? [Cardinal & Ordinal Numbers] (基数, 序数)	① ② ③	ミロボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (45分)
8	・ Review ② (Units 4-6) (ユニット4-6の復習)	② ③	ミロボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (45分)
9	・ How was your weekend? [Past Tense] (過去形)	① ② ③	ミロボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (45分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	・What time is your first class? [Time] (時間の表現)	① ② ③	ミルボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (45分)
11	・Have you ever been to Kyoto? [Present Perfect] (現在完了形)	① ② ③	ミルボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (45分)
12	・Review ③ (Units 7-9) (ユニット7-9の復習)	① ② ③	ミルボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (45分)
13	・Can I ask you a favor? [Auxiliary Verbs] (助動詞)	① ② ③	ミルボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (45分)
14	・I'm going to visit my grandparents. [Future Tense] (未来形)	① ② ③	ミルボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (45分)
15	・I'm on the train. [Prepositions] (前置詞)	① ② ③	ミルボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (45分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (45分)
	定期試験 (筆記)					

評価基準・評価方法

予習復習、宿題をきちんと行い、私語なく受講し、暗唱英文等の小テストを受ける授業参加度 (40%) と、定期試験の結果 (60%) で評価する。

使用教科書

Project English (アクティブに学ぶ英語コミュニケーション) / Vivian Morooka, 足立綾.--南雲堂, 9784523179368

参考図書

課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	授業内でフィードバックする。
実務経験をいかした教育内容	
備考	使える英語力の育成 具体的な英語の使用場面を意識しながら、inputからoutputへと進むバランスの良い活動を通して、自然な流れで英語運用能力を身につけることができる内容・構成になっています。

授業科目名		担当教員				
英語Ⅱ（日常英会話）A		ジヤリ マルジャン				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 後学期	1単位(30時間)	講義	LFL202		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
この科目は、話すおよび聞く力の強化を目的とした科目である。海外旅行や国内での外国人患者との会話において、相手の話を理解しながら自分の考えを適切に表現する能力を向上させることを目指している。授業内容は、日常生活で使用される英語表現を中心に構成されており、様々な場面を想定した実践的な練習を通じて、学生の皆さんにとってより身近で使いやすい英語コミュニケーション能力の習得を目指している。定期的な小テストを通じて、より多くの英単語やフレーズを習得し、実践的に使用できるようになる。						
学修の到達目標						
<p>①リスニング力の向上 初級レベルの日常英語を聞いて、主要な内容を理解し、適切に回答できるようになる。</p> <p>②スピーキング能力の強化 テキストの対話文をペアワークで練習し、自発的かつ積極的に英語で会話する姿勢を身につける。</p> <p>③実用的な英語表現の習得 上記の目標を達成することで、日常的な英語コミュニケーションにおいて自信を持って対応できる能力を養成する。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	シラバスおよび授業流れの説明 Unit 1: On the plane, ……please, ～をお願いします、～をください	① ②	ジヤリ	講義	教科書の練習問題を解いた後、ペアワークで確認し、クラス全体で答え合わせを行う。(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする。(30分)
2	小テスト、課題の答え合わせ Unit 1: On the plane, ……please, ～をお願いします、～をください Unit 2: At the currency Exchange I'd like to …… . ～したいのですが	① ② ③	ジヤリ	講義	教科書の練習問題を解いた後、ペアワークで確認し、クラス全体で答え合わせを行う。(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする。(30分)
3	小テスト、課題の答え合わせ Unit 2: At the currency Exchange I'd like to …… . ～したいのですが Unit 3: At the Hotel 1 Could you …… ? ～していただけますか	① ② ③	ジヤリ	講義	教科書の練習問題を解いた後、ペアワークで確認し、クラス全体で答え合わせを行う。(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする。(30分)
4	小テスト、課題の答え合わせ Unit 3: At the Hotel 1 Could you …… ? ～していただけますか Unit 4: At the Hotel 2 Is / Are there ? ～はありますか	① ② ③	ジヤリ	講義	教科書の練習問題を解いた後、ペアワークで確認し、クラス全体で答え合わせを行う。(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする。(30分)
5	小テスト、課題の答え合わせ Unit 4: At the Hotel 2 Is / Are there ? ～はありますか Unit 5: On the Train / Bus Does this …… ? これは～しますか?	① ② ③	ジヤリ	講義	教科書の練習問題を解いた後、ペアワークで確認し、クラス全体で答え合わせを行う。(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする。(30分)
6	小テスト、課題の答え合わせ Unit 5: On the Train / Bus Does this …… ? これは～しますか Unit 6: Sightseeing 1 Where is / are …… ? ～はどこですか	① ② ③	ジヤリ	講義	教科書の練習問題を解いた後、ペアワークで確認し、クラス全体で答え合わせを行う。(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする。(30分)
7	小テスト、課題の答え合わせ Review 1, Units 1-6 の復習	① ② ③	ジヤリ	講義	教科書の練習問題を解いた後、ペアワークで確認し、クラス全体で答え合わせを行う。(30分)	。学習したことを復習し、会話練習をする。(30分)
8	小テスト、課題の答え合わせ Unit 7: Shopping 1 May I …? ～してもいいですか、～できますか	① ② ③	ジヤリ	講義	教科書の練習問題を解いた後、ペアワークで確認し、クラス全体で答え合わせを行う。(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする。(30分)
9	小テスト、課題の答え合わせ Unit 7: Shopping 1 May I …? ～してもいいですか、～できますか Unit 8: Shopping 2 I'm looking for … . ～を探しているのですが	① ② ③	ジヤリ	講義	教科書の練習問題を解いた後、ペアワークで確認し、クラス全体で答え合わせを行う。(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	小テスト、課題の答え合わせ Unit 8: Shopping 2 I'm looking for ... ～を探しているのですが Unit 9: At the post office How much is / are ... ? ～はいくらですか	① ② ③	ジヤマ	講義	教科書の練習問題を解いた後、ペアワークで確認し、クラス全体で答え合わせを行う。(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする。(30分)
11	小テスト、課題の答え合わせ Unit 9: At the post office How much is / are ... ? ～はいくらですか unit 10: Sightseeing 2 Do you have ... ? ～はありますか	① ② ③	ジヤマ	講義	教科書の練習問題を解いた後、ペアワークで確認し、クラス全体で答え合わせを行う。(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする。(30分)
12	小テスト、課題の答え合わせ Unit 10: Sightseeing 2 Do you have ... ? ～はありますか Unit 11: At the Restaurant Could I have ...? ～をもらえますか	① ② ③	ジヤマ	講義	教科書の練習問題を解いた後、ペアワークで確認し、クラス全体で答え合わせを行う。(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする。(30分)
13	小テスト、課題の答え合わせ Unit 11: At the Restaurant Could I have ...? ～をもらえますか Unit 12: At the Hospital / Pharmacy I have ... ～(症状)です、～があります	① ② ③	ジヤマ	講義	教科書の練習問題を解いた後、ペアワークで確認し、クラス全体で答え合わせを行う。(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする。(30分)
14	小テスト、課題の答え合わせ Unit 12: At the Hospital / Pharmacy I have ... ～(症状)です、～があります	① ② ③	ジヤマ	講義	教科書の練習問題を解いた後、ペアワークで確認し、クラス全体で答え合わせを行う。(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする。(30分)
15	課題の答え合わせ Review 2, Units 7-12 の復習	① ② ③	ジヤマ	講義	教科書の練習問題を解いた後、ペアワークで確認し、クラス全体で答え合わせを行う。(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする。(30分)
	定期試験(筆記)					

評価基準・評価方法

出席時の態度(10%)、課題およびペアワーク後の発表で、授業内外の課題の完成度と発表の質(10%)、定期的に実施される小テストの成績の平均点(20%)定期試験の成績(60%)で評価する。

使用教科書

My First Trip, Key Phrases for Traveling Abroad / センゲージラーニング株式会社, 978-4-86312-242-0

参考図書

課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	スピーキング練習におけるペアワーク活動の成果発表や、授業内外で課される課題の完成度を評価し、適切なフィードバックを授業内で行う。
実務経験をいかした教育内容	
備考	各講義で実施される小テストの成績および授業態度も評価の対象となる。授業中は複数回指名されることがあるため、積極的にクラス活動に参加をすること。試験対策としては、授業で強調した内容や確認問題を中心に学習するように。

授業科目名		担当教員				
英語Ⅱ（日常英会話）B		ミロボト セイト モハマト				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態		科目ナンバリング	
選択	1年 後学期	1単位(30時間)	講義		LFL202	
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
本講義では、英語によるコミュニケーション能力を総合的に向上させることをねらいとする。その際、英語の伝達的な機能のみにとどまらず、文化・社会とのかかわりについても考慮する。毎回さまざまな言語活動を行い、英語の持つ多様な機能や働きを考えることも目的の一つとする。						
学修の到達目標						
①英語の受信能力（リーディング・ライティング）だけではなく、発信能力（リスニング・スピーキング）を高める。 ②英語の伝達的な機能のみではなく、英語と文化・社会とのかかわりなどへの理解を高め、多様な情報を様々な方向から理解・解釈する力の育成を目指す。授業終了時には英語の受信能力及び発信能力が向上し、実践することができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	Week 1: Giving Directions and Helping Target: 道案内で使える英語表現	① ②	ミロボト	講義		学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
2	Week 2: Talking about Yourself Target: 自己紹介で使える英語表現	① ②	ミロボト	講義	教科書を読んで内容を理解し声に出してよんでくること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
3	Week 3: Host Family Target: 留学生などを迎える時に使える英語表現	① ②	ミロボト	講義	教科書を読んで内容を理解し声に出してよんでくること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
4	Week 4: Commuting by Train Target: 電車の乗換説明に使える英語表現	① ②	ミロボト	講義	教科書を読んで内容を理解し声に出してよんでくること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
5	Week 5: Taking Classes Target: 物事の描写に使える英語表現 (1)	① ②	ミロボト	講義	教科書を読んで内容を理解し声に出してよんでくること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
6	Week 6: Talking with a Teacher Target: 褒める時に使える英語表現	① ②	ミロボト	講義	教科書を読んで内容を理解し声に出してよんでくること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
7	Week 7: Finding Friends Target: 自分の趣味や好みを伝える英語表現	① ②	ミロボト	講義	教科書を読んで内容を理解し声に出してよんでくること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
8	Week 8: Potluck Target: パーティーなどの集まりで使える英語表現	① ②	ミロボト	講義	教科書を読んで内容を理解し声に出してよんでくること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
9	Week 9: Sumo Target: 物事の描写に使える英語表現 (2)	① ②	ミロボト	講義	教科書を読んで内容を理解し声に出してよんでくること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	Week 10: Four Seasons Target: 好きな季節の説明に使える英語表現	① ②	ミホト	講義	教科書を読んで内容を理解し声に出してよんでくること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
11	Week 11: Green Tea Target: 物事の描写に使える英語表現 (3)	① ②	ミホト	講義	教科書を読んで内容を理解し声に出してよんでくること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
12	Week 12: Japanese Food Target: 料理の説明に使える英語表現	① ②	ミホト	講義	教科書を読んで内容を理解し声に出してよんでくること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
13	Week 13: Part-time Jobs Target: アルバイト先で使える英語表現	① ②	ミホト	講義	教科書を読んで内容を理解し声に出してよんでくること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
14	Week 14: Shopping at a Clothing Shop Target: 買い物で使える英語表現	① ②	ミホト	講義	教科書を読んで内容を理解し声に出してよんでくること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(30分)
15	Week 15: Asakusa Target: オススメの場所を紹介する英語表現	① ②	ミホト	講義	教科書を読んで内容を理解し声に出してよんでくること(30分)	学習したことを復習し、会話練習をする(60分)
	試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
授業参加態度・小テスト・・・40%, 理解度判定・・・60%						
使用教科書						
Welcome To Nippon, Building International Friendship / 朝日出版社, 978-4-255-15682-8						
参考図書						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	授業内でフィードバックする。					
実務経験をいかした教育内容						
備考	一使える英語力の育成 具体的な英語の使用場面を意識しながら、inputからoutputへと進むバランスの良い活動を通して、自然な流れで英語運用能力を身につけることができる内容・構成になっています。皆さんの英語力とテキストの難易度をすり合わせ、無理のない進み方で行います。					

授業科目名		担当教員				
英語Ⅲ（専門英語）		ミルトン セイト モハット				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 後学期	1単位(30時間)	講義	LFL203		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
本講義では、ホスピタル・イングリッシュによるコミュニケーション能力を総合的に向上させることをねらいとする。発音や聞き取りの練習により、スピーキングやリスニングの能力を育成する。「読む」「聞く」「話す」という3つの技能を育て、英語の運用能力を総合的に養う。						
学修の到達目標						
毎回さまざまな医療に関する言語活動を行い、英語の持つ多様な機能や働きを考えることを目指す。 ①正しい発音と適切なパターンで発話することができる。 ②医療英語によるコミュニケーションに必要なリスニング力を身につけ、状況の聞き取りができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション	①	ミルトン	講義		その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(60分)
2	Lesson 1: Reception Desk (救急外来受付)	① ②	ミルトン	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)
3	Lesson 2: Examination Room (診察室)	① ②	ミルトン	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)
4	Lesson 3: Giving Injection (注射をする)	① ②	ミルトン	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)
5	Lesson 4: Explanation to a Family Member (患者の家族への説明)	① ②	ミルトン	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)
6	Lesson 5: Self-Introduction and First Meal (自己紹介と初めての食事)	① ②	ミルトン	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)
7	Lesson 6: Orientation to the Ward (入院病棟を案内する)	① ②	ミルトン	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)
8	Lesson 7: Asking Height, Weight, and Temperature (身長、体重、体温を尋ねる)	① ②	ミルトン	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)
9	Lesson 8: Obtaining the Patient's History (患者歴をとる) 小テスト	① ②	ミルトン	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく(30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	Lesson 9: Checking the Patient's Condition (患者の状態をチェックする)	① ②	ミルボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (30分)
11	Lesson 10: Blood Test Explanation (血液検査の説明)	① ②	ミルボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (30分)
12	Lesson 11: Drawing a Blood Sample (採血)	① ②	ミルボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (30分)
13	Lesson 12: Explaining about the Operation: Basic Procedures (手術についての説明: 基本的手順)	① ②	ミルボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (30分)
14	Lesson 13: Explaining about the Operation: Anesthesia (手術についての説明: 麻酔)	① ②	ミルボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (30分)
15	Lesson 14: Taking the Patient into Surgery (手術室への搬送)	① ②	ミルボト	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく (30分)	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭に置いておく (30分)
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
授業参加態度・小テスト・・・40%, 理解度判定・・・60%						
使用教科書						
Essential English For Nurses 5th Edition (学生版) / Paul Zito & Masako Hayano. --日総研, 978-4-7760-1861-2						
参考図書						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	授業内でフィードバックする。					
実務経験をいかした教育内容						
備考	皆さんの英語力とテキストの難易度をすり合わせ、無理のない進み方で行う。学生がテキストの内容をよく理解するために各ユニットをスライドプレゼンテーションで説明する。					

授業科目名		担当教員				
ドイツ語		安藤彰浩				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 後学期	1単位(30時間)	講義	LFL204		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ドイツ語ポリシー(1)看護ドイツ語ポリシー(1)理学ドイツ語ポリシー(1)(3)作業ドイツ語ポリシー(1)(3)視機能ドイツ語ポリシー(1)(3)の達成に寄与している。		安藤彰浩(ドイツ語通訳)				
授業概要						
ドイツ語における初級の基礎知識の習得を目指す。インターネット(動画サイトYou Tube等でニュース放送を見る)を活用して、ドイツ人の話す生のドイツ語に触れる機会を設ける。ドイツ社会における時事的、文化的話題を提供して、ドイツの歴史や文化に対する興味を喚起する。						
学修の到達目標						
①ドイツ語の基本的な表現に親しむ。 ②ドイツ語学習を通じて言葉の感覚を磨き、自分をより正確に表現する力を身に付ける。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	発音。数字0~12。挨拶	①	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。(30分)	授業内容の復習(30分)
2	自己紹介。 - 動詞の現在人称変化 ich/Sie	①	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。(30分)	授業内容の復習(30分)
3	自己紹介。 - 動詞の現在人称変化 du	①	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。(30分)	授業内容の復習(30分)
4	第三者の紹介。 - 動詞の現在人称変化 三人称単数 er/sie	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。(30分)	授業内容の復習(30分)
5	身の回りのもの。 - 格変化:主格(1格)。複数形	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。(30分)	授業内容の復習(30分)
6	買い物・家族。直接目的格(4格)。 - 所有冠詞	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。(30分)	授業内容の復習(30分)
7	お土産。間接目的語(3格)。 - 人称代名詞	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。(30分)	授業内容の復習(30分)
8	趣味。時間表現。曜日 - 不規則動詞の現在人称変化	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。(30分)	授業内容の復習(30分)
9	道をたずねる。 - 前置詞の格支配1、命令形	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。(30分)	授業内容の復習(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	Eメール。月と季節 - 前置詞の格支配2	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。 (30分)	授業内容の復習 (30分)
11	手紙。時間表現2 - イントネーションと文アクセント	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。 (30分)	授業内容の復習 (30分)
12	料理・レストラン - 会話表現	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。 (30分)	授業内容の復習 (30分)
13	ドイツ鉄道 - 分離動詞・非分離動詞、zu不定詞	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。 (30分)	授業内容の復習 (30分)
14	ベルリンへの旅 - 話法の助動詞	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。 (30分)	授業内容の復習 (30分)
15	ドイツの歴史、文化について。 - 文法のおさらい	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。 (30分)	授業内容の復習 (30分)
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
理解度、積極参加を重視 定期試験 (60%)、小試験 (20%)、授業への取り組み (20%)						
使用教科書						
シュピッツェ I コミュニケーションで学ぶドイツ語 / 朝日出版社, 978-4-255-25422-7						
参考図書						
必要に応じて紹介						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	課題の習得を総合的に評価してコメントする。					
実務経験をいかした教育内容						
備考	毎回、動画サイトを使って、ドイツ人の生活や文化を紹介する。					

授業科目名		担当教員				
中国語		東 華岳				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	1年 後学期	1単位(30時間)	講義	LFL205		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(1)看護ディプロマポリシー(1)理学ディプロマポリシー(1)(3)作業ディプロマポリシー(1)(3)視機能ディプロマポリシー(1)(3)の達成に寄与している。						
授業概要						
本授業では中国語の初歩を学ぶ。基礎的な中国語の習得を通じて、言語としての特徴を理解するとともに、中国人とのコミュニケーションに必要な知識や背景にある中国の文化や社会についても理解を深める。これらを通じて、将来医療従事者となった際にも役立つ教養を身につけることを目的とする。						
学修の到達目標						
①発音記号(ピンイン)を正しく理解し、中国語の正確な発音を身につける。 ②基礎的な文法を習得し、基礎的な日常会話能力を養う。 ③医療現場で用いられる基礎的な語彙および表現を習得する。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	中国語の概要と声調	①	東	講義	テレビやラジオ、インターネットなどで、中国語の音を聞いてみる。(30分)	声調練習を行い、マスターする(30分)
2	単母音、子音	①	東	講義	声調の復習をする。(30分)	単母音と子音の発音練習を行い、マスターする。(30分)
3	人称代名詞、自己紹介、「是」を用いた文、挨拶表現①	① ②	東	講義	単母音と子音の復習をする。(30分)	挨拶言葉を覚え、自分の名前の言い方をマスターする。(30分)
4	複母音、数字、挨拶表現②	① ②	東	講義	挨拶表現、自分の名前の言い方を復習する(30分)	複母音、挨拶表現、数字の発音練習を行い、マスターする。(30分)
5	番号や症状(具合)を聞くフレーズ	① ② ③	東	講義	複母音、挨拶表現、数字の復習をする。(30分)	数字や症状に関する表現の発音練習をする。(30分)
6	鼻母音、診察時の会話テンプレート	① ② ③	東	講義	数字や症状に関する表現の復習をする。(30分)	鼻母音を練習しマスターする。診察時の会話を音読する(30分)
7	指示代名詞、「的」と「怎么」の使い方	① ② ③	東	講義	鼻母音と診察時の会話を復習する(30分)	指示代名詞、「的」と「怎么」を用いた文の発音練習を行う。(30分)
8	声調の変調、アール化、場所の尋ね方	① ② ③	東	講義	指示代名詞、「的」と「怎么」を用いた文の復習をする。(30分)	声調の変調とアール化音の発音練習をし、場所を尋ねる会話の発音練習をする。(30分)
9	場所代名詞、方向表現、存在を表す「在・有・是」の使い分け	① ② ③	東	講義	声調の変調とアール化音の発音練習をし、場所を尋ねる会話を復習する。(30分)	場所代名詞、方向表現、存在を表す表現の発音練習をする。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	「あまり～ない」、「もうすぐ～だ」、「～だろう/～しよう」、「～するのが～だ」の表現	① ② ③	東	講義	場所代名詞、方向表現、存在を表す表現を復習する。(30分)	「あまり～ない」、「もうすぐ～だ」、「～だろう/～しよう」、「～するのが～だ」の表現の発音練習をする(30分)
11	入院時の症状・状況に関する表現	① ② ③	東	講義	「あまり～ない」、「もうすぐ～だ」、「～だろう/～しよう」、「～するのが～だ」の表現の復習をする。(30分)	教科書第5課の会話文の発音練習を行う。(30分)
12	「～する必要はない」、「主述述語文」、「ずっと～だ」の各表現	① ② ③	東	講義	教科書第5課の会話文の発音練習を行う。(30分)	「～する必要はない」、「主述述語文」、「ずっと～だ」の各表現の発音練習を行う。(30分)
13	患者さんを励ます会話テンプレート	① ② ③	東	講義	「～する必要はない」、「主述述語文」、「ずっと～だ」の各表現の復習をする。(30分)	教科書第6課本文の発音練習を行う。(30分)
14	「～してもいい」と「～しなければならない」の表現	① ② ③	東	講義	教科書第6課本文の発音練習を行い、練習問題を解く。(30分)	「～してもいい」と「～しなければならない」の表現を復習する。(30分)
15	退院の際の会話テンプレート	① ② ③	東	講義	「～してもいい」と「～しなければならない」の表現を復習する。(30分)	教科書第7課本文の発音練習を行う。(30分)
	定期試験(筆記)					
評価基準・評価方法						
成績評価は以下の項目から総合的に行う。 受講態度・発音習得度(10%)、小テスト(20%)、定期試験(70%)						
使用教科書						
協同学習で学ぶ 医療系中国語会話 / 李偉・管虹.--白帝社, 9784863983335						
参考図書						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	小テストの解答を返却するとともに、正解例の解説を行う。					
実務経験をいかした教育内容						
備考						

授業科目名		担当教員				
解剖学Ⅰ（骨・筋肉系）		東 華岳				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義	PBS101		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。						
授業概要						
<p>人体の骨格は約200個の骨で構成され、それらは関節を介して連結し、骨格筋の収縮によって動く。これらの骨、関節、骨格筋を総称して「運動器」と呼び、日常生活を営む上で極めて重要な役割を担っている。運動器に障害が生じると、身体動作が制限され、生活の質(QOL)の低下を招く。そのため、理学療法や作業療法において運動器の機能回復は最重要課題の一つとなる。「解剖学Ⅰ」では、人体の骨、関節、骨格筋の構造を学び、それらが身体運動にどのように関与しているかについての理解を深める。</p>						
学修の到達目標						
<p>① 全身の骨格を構成する個々の骨の構造について説明できる。 ② 骨の連結様式と各関節の運動について説明できる。 ③ 全身の主要な骨格筋について、名称、起始、停止、作用、および支配神経を説明できる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	解剖学概要と骨学総論	①	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
2	骨の連結（不動連結と可動連結）	②	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
3	脊柱（椎骨と椎骨の連結）	① ②	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
4	胸郭を構成する骨とその連結	① ②	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
5	上肢の骨格（上肢帯、自由上肢骨と上肢の連結）	① ②	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
6	下肢の骨格（下肢帯、自由下肢骨と下肢の連結）	① ②	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
7	頭蓋冠と頭蓋底	① ②	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
8	頭蓋を構成する骨とその連結	① ②	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
9	骨格筋総論	③	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	背部の筋と浅胸筋	③	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
11	深胸筋、横隔膜と腹部の筋	③	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
12	上肢の筋	③	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
13	下肢の筋	③	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
14	頭部の筋	③	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
15	頸部の筋	③	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
	定期試験(筆記)					
評価基準・評価方法						
専門知識の習得、理解度、および思考・判断力を総合的に評価する。 定期試験(70%)、ミニテスト(30%)						
使用教科書						
イラストで学ぶ骨・関節・筋の解剖学 運動器症候群・ロコモの基礎知識 / 東 華岳・林 春樹、--アドスリー、2023年、978-4-910513-17-1						
参考図書						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	ミニテストの解答を返却するとともに、正解例の解説を行う。定期試験の模範解答を掲示する。					
実務経験をいかした教育内容						
備考						

授業科目名		担当教員				
解剖学Ⅱ（内臓系）		東 華岳				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義	PBS102		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。						
授業概要						
解剖学Ⅱは、医療専門職の基礎となる人体解剖学の知識を修得するための科目である。本授業では、人体の諸器官における基本構造を理解し、今後の専門学習の基盤となる知識を養う。具体的には、消化器系、呼吸器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌腺、および循環器系の各器官について、その正常な形態と構造を学習する。						
学修の到達目標						
① 内臓諸器官の名称、位置、および形態について説明できる。 ② 循環器系の正常構造と血液循環の経路について説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	解剖学総論	① ②	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
2	消化器Ⅰ／消化器総論、口腔・咽頭・食道	①	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
3	消化器Ⅱ／胃・小腸・大腸	①	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
4	消化器Ⅲ／肝臓・胆嚢・膵臓、腹膜	①	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
5	呼吸器Ⅰ／呼吸器総論、鼻腔・喉頭・気管と気管支	①	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
6	呼吸器系Ⅱ／肺、胸膜、縦隔	①	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
7	泌尿器Ⅰ／泌尿器総論、腎臓	①	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
8	泌尿器Ⅱ／尿管、膀胱、尿道	①	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
9	男性生殖器	①	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	女性生殖器と発生	①	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
11	内分泌腺/下垂体・甲状腺・上皮小体・膵島・副腎	①	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
12	循環器I/循環器総論と心臓	②	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
13	循環器II/動脈系	②	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
14	循環器III/静脈系	②	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
15	循環器IV/リンパ系	②	東	講義	授業計画に沿って指定教科書の内容を予習する。(30分)	講義内容を復習し、理解を深める。(30分)
	定期試験(筆記)					
評価基準・評価方法						
専門知識の習得、理解度、および思考・判断力を総合的に評価する。 ミニテスト(30%)、定期試験(70%)						
使用教科書						
系統看護学講座専門基礎分野 人体の構造と機能(1)解剖生理学 / 坂井建雄ほか, --第11版--医学書院, 2022年, 978-4-260-04687-9						
参考図書						
適宜、参考資料を配布する。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	ミニテストの解答を返却するとともに、正解例の解説を行う。定期試験の模範解答を掲示する。					
実務経験をいかした教育内容						
備考						

授業科目名		担当教員				
解剖学Ⅲ（神経系）		堀 信宏・東 華岳・大場かおり・藤橋雄一郎（代表教員 堀 信宏）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	講義	PBS203		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		堀信宏(理学療法士)、大場かおり(理学療法士)、藤橋雄一郎(理学療法士)				
授業概要						
解剖学Ⅲ（神経系）では主に中枢、末梢、自律神経系と感覚器について学びます。理学療法士、作業療法士にとって神経解剖の知識は、将来対象となる脳血管障害やパーキンソン病、多発性硬化症、脊髄損傷といった身体機能障害を理解する基礎となるだけでなく、認知症や高次脳機能障害といった認知面の基礎にもなります。また、臨床（国家試験でも）中枢神経系の画像に触れる機会が増え、解剖を基に治療プランを作成している。以上より、構造と機能の理解は必要不可欠です。						
学修の到達目標						
①ニューロンの基本構造や脳、脊髄、脊髄神経、脳神経、自律神経の構造について理解する。 ②上肢に分布する腕神経叢の枝や、下肢に分布する腰仙骨神経叢の枝の走行を説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	神経系総論：神経の区分，神経の構成，髄膜と脳室系	①	藤橋	講義	教科書P. 229-237を読み、内容を確認しましょう（30分）。	講義終了後に実施する確認テストにて、間違えた内容を教科書を使用し再確認しましょう（30分）。
2	中枢神経系：脊髄，脳幹	①	堀	講義	教科書P. 237-247を読み、内容を確認しましょう（30分）。	講義終了後に実施する確認テストにて、間違えた内容を教科書を使用し再確認しましょう（30分）。
3	中枢神経系：小脳	①	堀	講義	教科書P. 247-250を読み、内容を確認しましょう（30分）。	講義終了後に実施する確認テストにて、間違えた内容を教科書を使用し再確認しましょう（30分）。
4	中枢神経系：大脳（間脳，大脳皮質の構造）	①	堀	講義	教科書P. 251-254を読み、内容を確認しましょう（30分）。	講義終了後に実施する確認テストにて、間違えた内容を教科書を使用し再確認しましょう（30分）。
5	中枢神経系：大脳皮質（大脳皮質の機能局在）	①	堀	講義	教科書P. 251-254を読み、内容を確認しましょう（30分）。	「まとめの絵」について、教科書を使用し再確認しましょう（30分）。
6	中枢神経系：上行性神経路	①	藤橋	講義	教科書P268-271を読み、内容を確認しましょう（30分）。	講義終了後に実施する確認テストにて、間違えた内容を教科書を使用し再確認しましょう（30分）。
7	中枢神経系：下行性神経路	①	藤橋	講義	教科書P274-277を読み、内容を確認しましょう（30分）。	講義終了後に実施する確認テストにて、間違えた内容を教科書を使用し再確認しましょう（30分）。
8	末梢神経系：自律神経系	①	藤橋	講義	教科書P311-314を読み、内容を確認しましょう（30分）。	講義終了後に実施する確認テストにて、間違えた内容を教科書を使用し再確認しましょう（30分）。
9	末梢神経系：概論及び腕神経叢と関連する末梢神経	②	東	講義	教科書(1)p. 278-291及び教科書(2)p. 294-299を通読する（30分）。	講義終了後に実施する確認テストにて、間違えた内容を教科書を使用し再確認しましょう（30分）。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	末梢神経系：腰神経叢と関連する末梢神経	②	東	講義	教科書(1)p.291-293の通読及び配布資料(腕神経叢)の確認(30分)	講義終了後に実施する確認テストにて、間違えた内容を教科書を使用し再確認しましょう(30分)。
11	末梢神経系：仙骨神経叢と関連する末梢神経	②	東	講義	教科書(1)p.293-300の通読及び配布資料(腰神経叢)の確認(30分)	講義終了後に実施する確認テストにて、間違えた内容を教科書を使用し再確認しましょう(30分)。
12	脳神経：概要、I-V脳神経の機能	①	大場	講義	「病気がみえる7」p242-p264を確認しておきましょう。(30分)	講義終了後に確認テストを実施します。定期試験の情報でもあります(30分)。
13	脳神経：VI-XII脳神経の機能	①	大場	講義	「病気がみえる7」のp264-279を確認しておきましょう。(30分)	講義終了後に確認テストを実施します。定期試験の情報でもあります(30分)。
14	感覚器：体性感覚受容器、視聴覚、平衡感覚、味覚	①	大場	講義	解剖学(医学書院)の「感覚器系」の箇所を確認しておきましょう。(30分)	講義終了後に確認テストを実施します。定期試験の情報でもあります(30分)。
15	神経解剖学の臨床的つながりを考えてみる	① ②	堀 大場 藤橋 竹中 東	講義	これまで各担当から配布された資料を再確認しましょう(30分)	神経解剖学が臨床とどの様につながっているのか考えてみましょう(30分)
	定期試験(筆記)					
評価基準・評価方法						
期末試験100%(各担当が行う小テストを基に出題する。小テストの取り組み/授業への参加度・態度を加味する)。						
使用教科書						
標準理学療法学・作業療法学 解剖学 第6版 / 野村巖--医学書院, 2024年, 978-4-260-05677-9 病気がみえる7 脳・神経 / 医療情報科学研究所.--第2版--メディックメディア, 2017年, 978-4-89632-686-4						
参考図書						
プロメテウス解剖学アトラス頭頸部/神経解剖 第3版, 坂井建雄ら監訳, 医学書院, 2019						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	【小テスト】授業内で実施する(採点し返却する場合もある)。Google Formsを用いた場合は回答後にリアルタイムで表示される					
実務経験をいかした教育内容	神経系解剖学の知識で様々な疾患, 障害の原因を理解することができます。講義内では実際の臨床, 理学療法/作業療法とどの様につながっているのか提示します。					
備考	範囲が広いので, 各担当が行う小テストをしっかりと取り組み, 覚えること。解らない内容は後回しにせず, その都度整理につとめることが大切です。この神経系解剖は, 2年生の神経系疾患の基礎になるので, ここをしっかりと勉強しておく, 後の学修に有益になる。					

授業科目名		担当教員				
解剖学演習 (体表解剖 上肢)		田島嘉人・植木 努・亀山咲子 (代表教員 田島嘉人)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	2単位 (60時間)	講義・演習	PBS104		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		田島嘉人(理学療法士)、植木努(理学療法士)、亀山咲子(理学療法士)				
授業概要						
<p>解剖学演習(体表解剖)では、理学療法士として必要な体表からの視察・触察の技術を学ぶ。具体的には筋の形状、起始停止を確認し、その走行と役割を確認する。関節を構成する靭帯・関節包などから生じる問題について考察を加える。理学療法士はこの視診や触診を基に障害部位の評価や治療を行う職種である。二次元的に学んだ知識を三次元的に捉え、治療対象部位を適切に視察・触察する能力を身につける事、患者様に可能な限り負担のない形で治療を行える事が本演習の目的である。三次元的に組織をイメージできるように超音波診断装置を用いる。小テストを頻回に実施し、知識の習得度合いについて確認を行っていく。又、同時に医療に携わる者として基本的態度を身につけることが出来るようにする。授業形式は主にICTを活用した反転授業形式を取り、予習、講義、復習をすることで、触診技術を高める。また、一部演習では、臨床の理学療法士の方にティーチングアシスタントとして参加して頂き、臨床における心構えや知識、技術などについて学ぶ。予習復習の方法については講義および配布資料にて詳細に伝える。</p>						
学修の到達目標						
<p>①治療対象部位を適切に視察・触察する知識、技術を身につけることができる ②患者様に可能な限り負担のない形で治療を行える臨床対応力を身につけることができる ③超音波診断装置を用いて組織を三次元的にイメージすることができる</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	解剖学用語 運動学基礎 触診技術の基本 1 学習方法	①	田島 植木 亀山	講義	ビジュアル版 筋肉と関節のしくみがわかる事典 p.46,4750,51について理解と記憶をしておくこと(30分)	授業内容の長期記憶化(30分)
2	解剖学用語 運動学基礎 触診技術の基本 2	①	田島 植木 亀山	講義	運動療法のための機能解剖学的触診技術(上肢)のp.2-9を事前に読み理解しておくこと(30分)	授業内容の長期記憶化(30分)
3	肩関節 骨 肩甲棘 肩峰 内側縁 外側縁 上角 下角	① ② ③	田島 植木 亀山	演習	運動療法のための機能解剖学的触診技術(上肢)の今回分を事前に読み理解しておくこと(30分)	授業内容の長期記憶化(30分)
4	肩関節 骨 肩甲棘 肩峰 内側縁 外側縁 上角 下角	① ② ③	田島 植木 亀山	講義	運動療法のための機能解剖学的触診技術(上肢)の今回分を事前に読み理解しておくこと(30分)	授業内容の長期記憶化(30分)
5	肩関節 骨 烏口突起 肩鎖関節 胸鎖関節 大結節 小結節 鎖骨 ① 臨床対応力とは	① ② ③	田島 植木 亀山	演習	運動療法のための機能解剖学的触診技術(上肢)の今回分を事前に読み理解しておくこと(30分)	授業内容の長期記憶化(30分)
6	肩関節 骨 烏口突起 肩鎖関節 胸鎖関節 大結節 小結節 鎖骨	① ② ③	田島 植木 亀山	講義	運動療法のための機能解剖学的触診技術(上肢)の今回分を事前に読み理解しておくこと(30分)	授業内容の長期記憶化(30分)
7	肩関節 筋 小円筋 大円筋	① ② ③	田島 植木 亀山	演習	運動療法のための機能解剖学的触診技術(上肢)の今回分を事前に読み理解しておくこと(30分)	授業内容の長期記憶化(30分)
8	肩関節 筋 小円筋 大円筋	① ② ③	田島 植木 亀山	講義	運動療法のための機能解剖学的触診技術(上肢)の今回分を事前に読み理解しておくこと(30分)	授業内容の長期記憶化(30分)
9	肩関節 筋 棘上筋 棘下筋 肩甲下筋 烏口腕筋	① ② ③	田島 植木 亀山	演習	運動療法のための機能解剖学的触診技術(上肢)の今回分を事前に読み理解しておくこと(30分)	授業内容の長期記憶化(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	肩関節 筋 棘上筋 棘下筋 肩甲下筋 烏口腕筋	① ② ③	田島植木亀山	講義	運動療法のための機能解剖学的触診技術（上肢）の今回分を事前に読み理解しておくこと（30分）	授業内容の長期記憶化（30分）
11	肩関節 筋 三角筋 僧帽筋	① ② ③	田島植木亀山	演習	運動療法のための機能解剖学的触診技術（上肢）の今回分を事前に読み理解しておくこと（30分）	授業内容の長期記憶化（30分）
12	肩関節 筋 三角筋 僧帽筋	① ② ③	田島植木亀山	講義	運動療法のための機能解剖学的触診技術（上肢）の今回分を事前に読み理解しておくこと（30分）	授業内容の長期記憶化（30分）
13	肩関節 筋 大・小菱形筋 大胸筋 小胸筋	① ② ③	田島植木亀山	演習	運動療法のための機能解剖学的触診技術（上肢）の今回分を事前に読み理解しておくこと（30分）	授業内容の長期記憶化（30分）
14	肩関節 筋 大・小菱形筋 大胸筋 小胸筋	① ② ③	田島植木亀山	講義	運動療法のための機能解剖学的触診技術（上肢）の今回分を事前に読み理解しておくこと（30分）	授業内容の長期記憶化（30分）
15	肩関節 筋 前鋸筋 広背筋 肩甲挙筋	① ② ③	田島植木亀山	演習	運動療法のための機能解剖学的触診技術（上肢）の今回分を事前に読み理解しておくこと（30分）	授業内容の長期記憶化（30分）
16	肩関節 筋 前鋸筋 広背筋 肩甲挙筋	① ② ③	田島植木亀山	講義	運動療法のための機能解剖学的触診技術（上肢）の今回分を事前に読み理解しておくこと（30分）	授業内容の長期記憶化（30分）
17	肘関節 骨 外側上顆 内側上顆 橈骨頭 上腕筋 上腕二頭筋	① ② ③	田島植木亀山	演習	運動療法のための機能解剖学的触診技術（上肢）の今回分を事前に読み理解しておくこと、および今回分の動画を視聴し、実技練習をしておくこと（30分）	授業内容の長期記憶化（30分）
18	肘関節 骨 外側上顆 内側上顆 橈骨頭 上腕筋 上腕二頭筋	① ② ③	田島植木亀山	講義	運動療法のための機能解剖学的触診技術（上肢）の今回分を事前に読み理解しておくこと、および今回分の動画を視聴し、実技練習をしておくこと（30分）	授業内容の長期記憶化（30分）
19	肘関節 筋 上腕三頭筋	① ② ③	田島植木亀山	演習	運動療法のための機能解剖学的触診技術（上肢）の今回分を事前に読み理解しておくこと（30分）	授業内容の長期記憶化（30分）
20	肘関節 筋 上腕三頭筋	① ② ③	田島植木亀山	講義	運動療法のための機能解剖学的触診技術（上肢）の今回分を事前に読み理解しておくこと（30分）	授業内容の長期記憶化（30分）
21	手関節 骨 橈骨尺骨茎状突起 手根骨	① ② ③	田島植木亀山	演習	運動療法のための機能解剖学的触診技術（上肢）の今回分を事前に読み理解しておくこと、および今回分の動画を視聴し、実技練習をしておくこと（30分）	授業内容の長期記憶化（30分）
22	手関節 骨 橈骨尺骨茎状突起 手根骨	① ② ③	田島植木亀山	講義	運動療法のための機能解剖学的触診技術（上肢）の今回分を事前に読み理解しておくこと、および今回分の動画を視聴し、実技練習をしておくこと（30分）	授業内容の長期記憶化（30分）
23	前腕 筋 円回内筋 前腕屈筋群	① ② ③	田島植木亀山	演習	運動療法のための機能解剖学的触診技術（上肢）の今回分を事前に読み理解しておくこと、および今回分の動画を視聴し、実技練習をしておくこと（30分）	授業内容の長期記憶化（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
24	前腕筋 円回内筋 前腕屈筋群	① ② ③	田島植木亀山	講義	運動療法のための機能解剖学的触診技術（上肢）の今回分を事前に読み理解しておくこと、および今回分の動画を視聴し、実技練習をしておくこと（30分）	授業内容の長期記憶化（30分）
25	前腕筋 前腕伸筋群 腕橈骨筋	① ② ③	田島植木亀山	演習	運動療法のための機能解剖学的触診技術（上肢）の今回分を事前に読み理解しておくこと、および今回分の動画を視聴し、実技練習をしておくこと（30分）	授業内容の長期記憶化（30分）
26	前腕筋 前腕伸筋群 腕橈骨筋	① ② ③	田島植木亀山	講義	運動療法のための機能解剖学的触診技術（上肢）の今回分を事前に読み理解しておくこと、および今回分の動画を視聴し、実技練習をしておくこと（30分）	授業内容の長期記憶化（30分）
27	前腕筋 総指伸筋 浅指屈筋 深指屈筋 虫様筋	① ② ③	田島植木亀山	演習	運動療法のための機能解剖学的触診技術（上肢）の今回分を事前に読み理解しておくこと、および今回分の動画を視聴し、実技練習をしておくこと（30分）	授業内容の長期記憶化（30分）
28	前腕筋 総指伸筋 浅指屈筋 深指屈筋 虫様筋	① ② ③	田島植木亀山	講義	運動療法のための機能解剖学的触診技術（上肢）の今回分を事前に読み理解しておくこと、および今回分の動画を視聴し、実技練習をしておくこと（30分）	授業内容の長期記憶化（30分）
29	前腕筋 長母指外転筋 短母指伸筋 長母指伸筋 長母指屈筋	① ② ③	田島植木亀山	演習	運動療法のための機能解剖学的触診技術（上肢）の今回分を事前に読み理解しておくこと、および今回分の動画を視聴し、実技練習をしておくこと（30分）	授業内容の長期記憶化（30分）
30	前腕筋 長母指外転筋 短母指伸筋 長母指伸筋 長母指屈筋	① ② ③	田島植木亀山	講義	運動療法のための機能解剖学的触診技術（上肢）の今回分を事前に読み理解しておくこと、および今回分の動画を視聴し、実技練習をしておくこと（30分）	授業内容の長期記憶化（30分）
	定期試験（筆記及び実技）					
評価基準・評価方法						
小テスト、実技チェック、臨床対応力（被検者などに対する態度・言葉使い）、期末試験（筆記・実技）100%評価については第1回講義で詳細に明示します。評価方法で分からないところがあればいつでも確認してください。						
使用教科書						
運動療法のための機能解剖学的触診技術 動画プラス 上肢―改訂第2版 / 林典雄.―メジカルビュー社, 2022年, 978-4-7583-2093-1 プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論・運動器系 / 坂井建雄ほか監訳.―第4版―医学書院, 2025年, 978-4-260-05630-4						
参考図書						
<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料（体表サブブックなど） ・ビジュアル版 筋肉と関節のしくみがわかる事典 竹井 仁 著(西東社) 						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	小テストの返却 実技チェック 臨床対応力チェック					
実務経験をいかした教育内容	各教員の整形外科病院、総合病院、訪問リハ、デイサービスにおける理学療法の経験から、理学療法士として必要な体表解剖学の知識を解剖学、運動学の視点で講義、実技を行う。この講義、実技を通して実践力が身につけられるように展開していく。					

備考	臨床における全ての治療の基本である体表解剖の知識は、いわば臨床において知っていて当たり前の知識であることを認識し、ひたすら努力して習得するようにして下さい。覚える内容は明瞭です。ただ、量が多いため毎日の積み重ねが大変重要になります。授業では”治療者”としての知識を持ちながら”患者”に接するよう心がけてください。毎回小テストを実施し、できる限り早く返却します。覚えきれていないところ、理解していないところを確認して次につなげるようにして下さい。授業時間内に理解できないところがあれば、できる限り早く質問にきてください。y.tajima@heisei-iryu.ac.jp
----	---

授業科目名		担当教員				
解剖学演習 (体表解剖 下肢)		田島嘉人・植木 努・亀山咲子 (代表教員 田島嘉人)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	2単位(60時間)	講義・演習	PBS205		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学デザインポリシー(2)(3)理学デザインポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		田島嘉人(理学療法士)、植木努(理学療法士)、亀山咲子(理学療法士)				
授業概要						
解剖学演習(体表解剖)では、理学療法士として必要な体表からの視察・触察の技術を学ぶ。具体的には筋の形状、起始停止を確認し、その走行と役割を確認する。関節を構成する靭帯・関節包などから生じる問題について考察を加える。理学療法士はこの視診や触診を基に障害部位の評価や治療を行う職種である。二次元的に学んだ知識を三次元的に捉え、治療対象部位を適切に視察・触察する能力を身につける事、患者様に可能な限り負担のない形で治療を行える事が本演習の目的である。三次元的に組織を捉えるために超音波診断装置を用いる。小テストを頻回に実施し、知識の習得度合いについて確認を行っていく。又、同時に医療に携わる者として基本的態度を身につけることが出来るようにする。授業形式は主にICTを活用した反転授業形式を取り、予習、講義、復習をすることで、触診技術を高める。予習復習の方法については講義および配布資料にて詳細に伝える。						
学修の到達目標						
①治療対象部位を適切に視察・触察する知識、技術を身につけることができる ②患者様に可能な限り負担のない形で治療を行える臨床対応力を身につけることができる ③超音波診断装置を用いて組織を三次元的にイメージすることができる						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	触診の基本 学習方法	①	田島 植木 亀山	講義	配布資料を熟読しておくこと (30分)	授業内容の長期記憶化(30分)
2	股関節 骨 骨盤(上前腸骨棘、下前腸骨棘、JL、上後腸骨棘、坐骨結節、大転子、RNL)	① ② ③	田島 植木 亀山	演習	運動療法のための機能解剖学的触診技術(下肢・体幹)の今回分を事前に読み理解しておくこと、および今回分の動画を視聴し、実技練習をしておくこと (30分)	授業内容の長期記憶化(30分)
3	股関節 骨 骨盤(上前腸骨棘、下前腸骨棘、JL、上後腸骨棘、坐骨結節、大転子、RNL)	① ②	田島 植木 亀山	講義	運動療法のための機能解剖学的触診技術(下肢・体幹)の今回分を事前に読み理解しておくこと、および今回分の動画を視聴し、実技練習をしておくこと (30分)	授業内容の長期記憶化(30分)
4	股関節 筋 大殿筋 中殿筋 梨状筋	① ② ③	田島 植木 亀山	演習	運動療法のための機能解剖学的触診技術(下肢・体幹)の今回分を事前に読み理解しておくこと、および今回分の動画を視聴し、実技練習をしておくこと (30分)	授業内容の長期記憶化(30分)
5	股関節 筋 大殿筋 中殿筋 梨状筋	① ② ③	田島 植木 亀山	講義	運動療法のための機能解剖学的触診技術(下肢・体幹)の今回分を事前に読み理解しておくこと、および今回分の動画を視聴し、実技練習をしておくこと (30分)	授業内容の長期記憶化(30分)
6	股関節 筋 長内転筋 大内転筋 薄筋	① ② ③	田島 植木 亀山	演習	運動療法のための機能解剖学的触診技術(下肢・体幹)の今回分を事前に読み理解しておくこと、および今回分の動画を視聴し、実技練習をしておくこと (30分)	授業内容の長期記憶化(30分)
7	股関節 筋 長内転筋 大内転筋 薄筋	① ② ③	田島 植木 亀山	講義	運動療法のための機能解剖学的触診技術(下肢・体幹)の今回分を事前に読み理解しておくこと、および今回分の動画を視聴し、実技練習をしておくこと (30分)	授業内容の長期記憶化(30分)
8	股関節 筋 縫工筋 大腿筋膜張筋 腸腰筋 スカルパ三角	① ② ③	田島 植木 亀山	演習	運動療法のための機能解剖学的触診技術(下肢・体幹)の今回分を事前に読み理解しておくこと、および今回分の動画を視聴し、実技練習をしておくこと (30分)	授業内容の長期記憶化(30分)
9	股関節 筋 縫工筋 大腿筋膜張筋 腸腰筋 スカルパ三角	① ② ③	田島 植木 亀山	講義	運動療法のための機能解剖学的触診技術(下肢・体幹)の今回分を事前に読み理解しておくこと、および今回分の動画を視聴し、実技練習をしておくこと (30分)	授業内容の長期記憶化(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	膝関節 骨 膝 (膝蓋骨、膝蓋靭帯、脛骨粗面、内転筋結節) 腓骨頭、近位脛腓	① ② ③	田島 植木 亀山	演習	運動療法のための機能解剖学的触診技術 (下肢・体幹) の今回分を事前に読み理解しておくこと、および今回分の動画を視聴し、実技練習をしておくこと (30分)	授業内容の長期記憶化 (30分)
11	膝関節 骨 膝 (膝蓋骨、膝蓋靭帯、脛骨粗面、内転筋結節) 腓骨頭、近位脛腓	① ② ③	田島 植木 亀山	講義	運動療法のための機能解剖学的触診技術 (下肢・体幹) の今回分を事前に読み理解しておくこと、および今回分の動画を視聴し、実技練習をしておくこと (30分)	授業内容の長期記憶化 (30分)
12	膝関節 筋 大腿四頭筋	① ② ③	田島 植木 亀山	演習	運動療法のための機能解剖学的触診技術 (下肢・体幹) の今回分を事前に読み理解しておくこと、および今回分の動画を視聴し、実技練習をしておくこと (30分)	授業内容の長期記憶化 (30分)
13	膝関節 筋 大腿四頭筋	① ② ③	田島 植木 亀山	講義	運動療法のための機能解剖学的触診技術 (下肢・体幹) の今回分を事前に読み理解しておくこと、および今回分の動画を視聴し、実技練習をしておくこと (30分)	授業内容の長期記憶化 (30分)
14	膝関節 筋 グループワーク	① ② ③	田島 植木 亀山	演習	今までに学習した筋について復習しておくこと (30分)	授業内容の長期記憶化 (30分)
15	膝関節 筋	① ② ③	田島 植木 亀山	講義	運動療法のための機能解剖学的触診技術 (下肢・体幹) の今回分を事前に読み理解しておくこと、および今回分の動画を視聴し、実技練習をしておくこと (30分)	授業内容の長期記憶化 (30分)
16	膝関節 筋 大腿二頭筋 半腱様筋 半膜様筋 膝窩筋	① ② ③	田島 植木 亀山	演習	運動療法のための機能解剖学的触診技術 (下肢・体幹) の今回分を事前に読み理解しておくこと、および今回分の動画を視聴し、実技練習をしておくこと (30分)	授業内容の長期記憶化 (30分)
17	膝関節 筋 大腿二頭筋 半腱様筋 半膜様筋 膝窩筋	① ② ③	田島 植木 亀山	講義	運動療法のための機能解剖学的触診技術 (下肢・体幹) の今回分を事前に読み理解しておくこと、および今回分の動画を視聴し、実技練習をしておくこと (30分)	授業内容の長期記憶化 (30分)
18	足関節 骨 足 (内外果、遠位脛腓、距骨、距骨頭、載距突起、踵骨、舟状骨粗面) 足部 (第1中足骨、第5中足骨粗面)	① ② ③	田島 植木 亀山	演習	運動療法のための機能解剖学的触診技術 (下肢・体幹) の今回分を事前に読み理解しておくこと、および今回分の動画を視聴し、実技練習をしておくこと (30分)	授業内容の長期記憶化 (30分)
19	足関節 骨 足 (内外果、遠位脛腓、距骨、距骨頭、載距突起、踵骨、舟状骨粗面) 足部 (第1中足骨、第5中足骨粗面)	① ② ③	田島 植木 亀山	講義	運動療法のための機能解剖学的触診技術 (下肢・体幹) の今回分を事前に読み理解しておくこと、および今回分の動画を視聴し、実技練習をしておくこと (30分)	授業内容の長期記憶化 (30分)
20	足関節 筋 前脛骨筋 長母指伸筋 長指伸筋	① ② ③	田島 植木 亀山	演習	運動療法のための機能解剖学的触診技術 (下肢・体幹) の今回分を事前に読み理解しておくこと、および今回分の動画を視聴し、実技練習をしておくこと (30分)	授業内容の長期記憶化 (30分)
21	足関節 筋 前脛骨筋 長母指伸筋 長指伸筋	① ② ③	田島 植木 亀山	講義	運動療法のための機能解剖学的触診技術 (下肢・体幹) の今回分を事前に読み理解しておくこと、および今回分の動画を視聴し、実技練習をしておくこと (30分)	授業内容の長期記憶化 (30分)
22	足関節 筋 後脛骨筋 長母指屈筋 長指屈筋	① ② ③	田島 植木 亀山	演習	運動療法のための機能解剖学的触診技術 (下肢・体幹) の今回分を事前に読み理解しておくこと、および今回分の動画を視聴し、実技練習をしておくこと (30分)	授業内容の長期記憶化 (30分)
23	足関節 筋 後脛骨筋 長母指屈筋 長指屈筋	① ② ③	田島 植木 亀山	講義	運動療法のための機能解剖学的触診技術 (下肢・体幹) の今回分を事前に読み理解しておくこと、および今回分の動画を視聴し、実技練習をしておくこと (30分)	授業内容の長期記憶化 (30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
24	足関節 筋 ヒラメ筋 腓腹筋 長腓骨筋 短腓骨筋	① ② ③	田島植木亀山	演習	運動療法のための機能解剖学的触診技術（下肢・体幹）の今回分を事前に読み理解しておくこと、および今回分の動画を視聴し、実技練習をしておくこと（30分）	授業内容の長期記憶化（30分）
25	足関節 筋 ヒラメ筋 腓腹筋 長腓骨筋 短腓骨筋	① ② ③	田島植木亀山	講義	運動療法のための機能解剖学的触診技術（下肢・体幹）の今回分を事前に読み理解しておくこと、および今回分の動画を視聴し、実技練習をしておくこと（30分）	授業内容の長期記憶化（30分）
26	体幹 骨 乳様突起 外後頭隆起 胸骨柄 頸切痕 多裂筋	① ② ③	田島植木亀山	演習	運動療法のための機能解剖学的触診技術（下肢・体幹）の今回分を事前に読み理解しておくこと、および今回分の動画を視聴し、実技練習をしておくこと（30分）	授業内容の長期記憶化（30分）
27	体幹 骨 乳様突起 外後頭隆起 胸骨柄 頸切痕 多裂筋	① ② ③	田島植木亀山	講義	運動療法のための機能解剖学的触診技術（下肢・体幹）の今回分を事前に読み理解しておくこと、および今回分の動画を視聴し、実技練習をしておくこと（30分）	授業内容の長期記憶化（30分）
28	体幹 筋 各脊椎棘突起 多裂筋	① ② ③	田島植木亀山	演習	運動療法のための機能解剖学的触診技術（下肢・体幹）の今回分を事前に読み理解しておくこと、および今回分の動画を視聴し、実技練習をしておくこと（30分）	授業内容の長期記憶化（30分）
29	体幹 筋 各脊椎棘突起 多裂筋	① ② ③	田島植木亀山	講義	運動療法のための機能解剖学的触診技術（下肢・体幹）の今回分を事前に読み理解しておくこと、および今回分の動画を視聴し、実技練習をしておくこと（30分）	授業内容の長期記憶化（30分）
30	触診について 臨床における触診	① ② ③	田島植木亀山	演習	今までに学習したすべての筋を復習しておくこと（30分）	授業内容の長期記憶化（30分）
	定期試験（筆記及び実技）					

評価基準・評価方法

小テスト、実技チェック、臨床対応力（被検者などに対する態度・言葉使い）、期末試験（筆記・実技）100%評価については第1回講義で詳細に明示します。評価方法で分からないところがあればいつでも確認してください。

使用教科書

運動療法のための機能解剖学的触診技術 動画プラス 下肢・体幹—改訂第2版 / 林典雄.—メジカルビュー社—2022年, 978-4-7583-2094-8
プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論・運動器系 / 坂井建雄ほか監訳.—第4版—医学書院, 2025年, 978-4-260-05630-4

参考図書

- ・配布資料（体表サブブックなど）
- ・ビジュアル版 筋肉と関節のしくみがわかる事典 竹井 仁 著(西東社)

課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	小テストの返却 実技チェック 臨床対応力チェック
実務経験をいかした教育内容	各教員の整形外科病院、総合病院、訪問リハ、デイサービスにおける理学療法の経験から、理学療法士として必要な体表解剖学の知識を解剖学、運動学の視点で講義、実技を行う。この講義、実技を通して実践力が身につけられるように展開していく。

備考	臨床における全ての治療の基本である体表解剖の知識は、いわば臨床において知っていて当たり前の知識であることを認識し、ひたすら努力して習得するようして下さい。覚える内容は明瞭です。ただ、量が多いため毎日の積み重ねが大変重要になります。授業では”治療者”としての知識を持ちながら”患者”に接するよう心がけてください。毎回小テストを実施し、できる限り早く返却します。覚えきれていないところ、理解していないところを確認して次につなげるようして下さい。授業時間内に理解できないところがあれば、できる限り早く質問にきてください。y.tajima@heisei-iryu.ac.jp
----	---

授業科目名		担当教員				
生理学Ⅰ（動物的機能）		石田裕保				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義	PBF101		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		石田裕保（理学療法士）				
授業概要						
生理学の外界に対して反応する機能（動物的機能）全般について講義する						
学修の到達目標						
①末梢神経系と中枢神経系の働きを学び、人の感覚情報をもとにいかに関運動が起こされているかを理解する ②正常な生理機能の理解のもとに、神経障害などに伴う各種病態症状についての原因を理解する						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	生理学について／細胞機能の基礎 体液組成、細胞構造、細胞の物質移動	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す(30分)	授業の要点をまとめる(30分)
2	細胞の興奮発生／神経細胞 興奮移動、膜電位、興奮の伝導	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す(30分)	授業の要点をまとめる(30分)
3	筋の収縮／骨格筋の構造 筋の収縮、筋収縮力学、筋のエネルギー発生	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す(30分)	授業の要点をまとめる(30分)
4	シナプス伝達／神経筋伝達 平滑筋、中枢神経系の情報伝達、神経伝達物質、シナプスの可塑性	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す(30分)	授業の要点をまとめる(30分)
5	自律神経系／交感神経・副交感神経の内臓諸器官への作用	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す(30分)	授業の要点をまとめる(30分)
6	脊髄／脊髄反射 誘発筋電図	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す(30分)	授業の要点をまとめる(30分)
7	脳幹 小脳①／脳幹の姿勢反射 小脳の神経回路	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す(30分)	授業の要点をまとめる(30分)
8	小脳②基底核／小脳と大脳協調 小脳障害 基底核の神経経路 基底核障害	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す(30分)	授業の要点をまとめる(30分)
9	大脳／運動の起動と出力	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す(30分)	授業の要点をまとめる(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	体性感覚／皮膚受容器 神経伝導路 大脳感覚野	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す (30分)	授業の要点をまとめる (30分)
11	味覚、嗅覚、聴覚 前庭感覚／感覚受容器 神経伝導路、大脳中枢	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す (30分)	授業の要点をまとめる (30分)
12	視覚①／網膜 視物質 視覚の中核	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す (30分)	授業の要点をまとめる (30分)
13	視覚②／感覚としての視覚 眼球運動	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す (30分)	授業の要点をまとめる (30分)
14	脳の高次機能①／大脳の神経回路と機能 連合野機能、言語機能	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す (30分)	授業の要点をまとめる (30分)
15	脳の高次機能②／大脳辺縁系 視床下部 記憶、睡眠、脳波	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す (30分)	授業の要点をまとめる (30分)
	期末試験					
評価基準・評価方法						
学期末定期試験の成績による (60%)。中間テスト (40%)。						
使用教科書						
生理学 / 岡田隆夫ほか。--第6版--医学書院, 978-4-260-05318-1 生理学テキスト第9版 / 大地陸男。--文光堂, 978-4-8306-0231-3						
参考図書						
①リハビリテーションテキスト 生理学 編集;角田亘ほか medical wiew ②カラーイラストで学ぶ 第3版 集中講義生理学 編集;岡田隆夫 medical wiew						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	期末試験発表をもって伝える					
実務経験をいかした教育内容	総合病院、訪問リハ、デイサービスなどの施設での勤務経験があります。また、医学教育に長く携わっており、学習方法についても熟知しています。これまでの経験から、学修の到達目標を達成できるよう教授していきます。					
備考						

授業科目名		担当教員				
生理学Ⅱ（植物的機能）		佐竹裕孝				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	講義	PBF202		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。						
授業概要						
理学療法士・作業療法士に必要な基礎知識として、人体の植物的機能について学ぶ。生理学Ⅰで学んだ自律神経系の働き、ならびに本講義で学ぶ内分泌系との関連を理解し、循環・呼吸・消化・代謝などの調節機構を説明できることを目標とする。得られた知識を、運動や活動に伴う身体反応の理解およびリハビリテーション実践の基礎として活用する。						
学修の到達目標						
植物的機能の恒常性に関与する自律神経系および内分泌系による調節機構を理解し、①血液、②心循環機能、③呼吸機能、④消化・吸収、⑤代謝機能、⑥内分泌系、⑦腎機能などによって内部環境がどのように維持されているかを説明できる能力を身につける。さらに、⑧生殖機能について説明できるようにし、⑨理学療法・作業療法における評価および介入の基礎として活用できる力を養う。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	血液Ⅰ：血液の機能と構成	① ⑨	佐竹	講義	講義内容を把握するために、教科書第7章を事前に読んでおく(30分)	講義内容の理解とノートの整理(30分)
2	血液Ⅱ：止血と免疫機能	① ⑨	佐竹	講義	講義内容を把握するために、教科書第7章を事前に読んでおく(30分)	講義内容の理解とノートの整理(30分)
3	心臓と循環Ⅰ：心臓の興奮と刺激伝導系、心電図	② ⑨	佐竹	講義	講義内容を把握するために、教科書第8章を事前に読んでおく(30分)	講義内容の理解とノートの整理(30分)
4	心臓と循環Ⅱ：血液の拍出と血圧、血圧調節	② ⑨	佐竹	講義	講義内容を把握するために、教科書第8章を事前に読んでおく(30分)	講義内容の理解とノートの整理(30分)
5	心臓と循環Ⅲ：心周期、前負荷と後負荷、心機能曲線	② ⑨	佐竹	講義	講義内容を把握するために、教科書第8章を事前に読んでおく(30分)	講義内容の理解とノートの整理(30分)
6	心臓と循環Ⅳ：微小循環と物質交換、静脈還流、臓器循環	② ⑨	佐竹	講義	講義内容を把握するために、教科書第8章を事前に読んでおく(30分)	講義内容の理解とノートの整理(30分)
7	呼吸Ⅰ：呼吸運動と呼吸気量	③ ⑨	佐竹	講義	講義内容を把握するために、教科書第9章を事前に読んでおく(30分)	講義内容の理解とノートの整理(30分)
8	呼吸Ⅱ：ガス交換、呼吸調節	③ ⑨	佐竹	講義	講義内容を把握するために、教科書第9章を事前に読んでおく(30分)	講義内容の理解とノートの整理(30分)
9	消化と吸収Ⅰ：口腔・食道・胃における消化	④ ⑨	佐竹	講義	講義内容を把握するために、教科書第11章を事前に読んでおく(30分)	講義内容の理解とノートの整理(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	消化と吸収Ⅱ：小腸における消化・吸収，大腸の働き	④ ⑨	佐竹	講義	講義内容を把握するために，教科書第11章を事前に読んでおく（30分）	講義内容の理解とノートの整理（30分）
11	栄養と代謝：栄養代謝とエネルギー代謝	⑤ ⑨	佐竹	講義	講義内容を把握するために，教科書第12章を事前に読んでおく（30分）	講義内容の理解とノートの整理（30分）
12	内分泌Ⅰ：内分泌機能とホルモン	⑥ ⑨	佐竹	講義	講義内容を把握するために，教科書第13章を事前に読んでおく（30分）	講義内容の理解とノートの整理（30分）
13	内分泌Ⅱ：ホルモンの作用（各論）	⑥ ⑨	佐竹	講義	講義内容を把握するために，教科書第13章を通読（30分）	講義内容の理解とノートの整理（30分）
14	腎泌尿器系：尿の生成と排泄，体液調節	⑦ ⑨	佐竹	講義	講義内容を把握するために，教科書第10章を通読（30分）	講義内容の理解とノートの整理（30分）
15	生殖器系：生殖機能とホルモン調節	⑧ ⑨	佐竹	講義	講義内容を把握するために，教科書第14章を通読（30分）	講義内容の理解とノートの整理（30分）
	定期試験（筆記）			試験		
評価基準・評価方法						
<p>人体の植物的機能に関する基礎的知識の理解度，恒常性の維持に関わる自律神経の働きと内分泌機能に関連づけて考察する力，実践への関連づけの理解度を，定期試験（100%）を通して総合的に評価する。</p>						
使用教科書						
<p>標準理学療法学・作業療法学 [専門基礎分野] 生理学（第6版） / 岡田隆夫，鈴木敦子，渡邊マキノ，村松憲，兼重美希，—岡田隆夫，鈴木敦子，渡邊マキノ—医学書院，2023年，978-4-260-05318-1 教科書や参考図書から作成した資料（レジメ）を配布し，この資料を基本にして講義する。</p>						
参考図書						
<p>精解 生理学，桑名俊一（編・著），2025，理工図書，ISBN 978-4-8446-0972-8 シンプル生理学（改訂8版），貴邑富久子・根来英雄（著），2021，南江堂，ISBN 978-4-524-22655-9 系統看護学講座専門基礎分野 人体の構造と機能1解剖生理学（12版），酒井建雄・宇賀貴紀・小野富三人（編），2026，医学書院，ISBN 978-4-260-06184-1</p>						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	提出された課題に対してコメントを付して回答・返却する。					
実務経験をいかした教育内容						
備考	講義時間中や授業終了後に，講義内容に関する質問などを受け付けます，					

授業科目名		担当教員				
生理学演習		河合克尚・藤橋雄一郎・植木 努 (代表教員 河合克尚)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	演習	PBF203		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		河合克尚(理学療法士)・藤橋雄一郎(理学療法士)・植木努(理学療法士)				
授業概要						
生理学Ⅰ・Ⅱで学んだ知識を演習を通して確認し、理解を深める。動物の生理学では、神経や筋の組織観察をもとに筋の活動や生化学反応の観察を行ったり、筋電計の測定を実施する。植物的生理学では、体温、心電計、呼吸機能の測定を実施する。また、グループワークを通して、測定結果から実際の生体反応についてを考察する。						
学修の到達目標						
①誘発筋電図より、神経線維の種類や伝道速度について理解する。 ②体温の身体部位による違いと体温調節の仕組みを理解する。血圧、脈拍が神経性に調節される仕組みを理解する。 ③心電図および呼吸機能検査(スパイロメトリー)の測定方法を説明できる。 ④神経・筋組織の標本を観察して、その構造と機能を説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	誘発筋電図 <参考書1:第6章(運動系)>	①	藤橋	演習	生理学にて学んだ「神経伝導の法則」について復習しておくこと(20分)	レポート課題に取り組むこと(40分)
2	誘発筋電図 <参考書1:第6章(運動系)>	①	藤橋	演習	生理学にて学んだ「神経線維(運動・感覚神経)」の分類について確認しておくこと(20分)	レポート課題に取り組むこと(40分)
3	誘発筋電図 <参考書1:第6章(運動系)>	①	藤橋	演習	誘発筋電図について確認しておくこと(20分)	レポート課題に取り組むこと(40分)
4	脈、血圧、体温 <参考書1:第14章(循環)第21章,Ⅲ(体温)>	②	植木	演習	参考書1:第14章(循環)第21章,Ⅲ(体温)について確認しておくこと(20分)	レポート課題に取り組むこと(40分)
5	脈、血圧、体温 <参考書1:第14章(循環)第21章,Ⅲ(体温)>	②	植木	演習	脈、血圧、体温について確認しておくこと(20分)	レポート課題に取り組むこと(40分)
6	脈、血圧、体温 <参考書1:第14章(循環)第21章,Ⅲ(体温)>	②	植木	演習	脈、血圧、体温について確認しておくこと(20分)	レポート課題に取り組むこと(40分)
7	脈、血圧、体温 <参考書1:第14章(循環)第21章,Ⅲ(体温)>	②	植木	演習	脈、血圧、体温について確認しておくこと(20分)	レポート課題に取り組むこと(40分)
8	心電図と呼吸機能の測定	③	河合	演習	参考書1(第13章:心臓、第15章:呼吸)について確認しておくこと(20分)	レポート課題に取り組むこと(40分)
9	心電図と呼吸機能の測定	③	河合	演習	参考書1(第13章:心臓、第15章:呼吸)に目を通しておくこと(20分)	レポート課題に取り組むこと(40分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	心電図と呼吸機能の測定	③	河合	演習	参考書1 (第13章：心臓、第15章：呼吸)に目を通しておくこと (20分)	レポート課題に取り組むこと (40分)
11	心電図と呼吸機能の測定	③	河合	演習	参考書1 (第13章：心臓、第15章：呼吸)に目を通しておくこと (20分)	レポート課題に取り組むこと (40分)
12	顕微鏡による組織観察 (神経、筋を中心に)	④	河合	演習	主に神経細胞、筋細胞の構造を学習しておくこと (30分)	授業で観察した組織について、構造と役割を復習すること (30分)
13	顕微鏡による組織観察 (神経、筋を中心に)	④	河合	演習	主に神経細胞、筋細胞の構造を学習しておくこと (30分)	授業で観察した組織について、構造と役割を復習すること (30分)
14	顕微鏡による組織観察 (神経、筋を中心に)	④	河合	演習	主に神経細胞、筋細胞の構造を学習しておくこと (30分)	授業で観察した組織について、構造と役割を復習すること (30分)
15	顕微鏡による組織観察 (神経、筋を中心に)	④	河合	演習	主に神経細胞、筋細胞の構造を学習しておくこと (30分)	授業で観察した組織について、構造と役割を復習すること (30分)
	レポート提出					
評価基準・評価方法						
評価方法は、各演習の課題レポートで判断する (100%)。						
使用教科書						
配布資料						
参考図書						
1. 生理学テキスト (文光堂) 2. 標準理学療法学作業療法学 専門基礎分野 生理学 (医学書院)						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	課題については授業内でフィードバックします。					
実務経験をいかした教育内容	医療機関での職務経験をもとに、神経・骨格筋に関する観察やバイタルサインの測定に必要な実践力が身に付けられるように授業を展開していく。					
備考	質問等がある場合は、授業中やオフィスアワーを積極的に活用して下さい。					

授業科目名		担当教員				
運動学総論		堀 信宏				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義	PBF104		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		堀信宏(理学療法士)				
授業概要						
運動学は人の身体運動の仕組みに関する学問です。動作や活動の改善を求める理学療法士・作業療法士にとって基礎となります。講義では「骨・関節・筋・神経」の解剖と、運動を解釈するための「力学」、日常生活の基本となる「姿勢・歩行」を学習します。これらの複数の視点から人の動作や活動を捉え理解を進めることで、障害者が「何故動けなくなるのか」が見えてきます。						
学修の到達目標						
①人の運動・姿勢を捉えるための筋・骨・関節・神経の基礎を学ぶ。 ②力学の基礎を理解する。例題を通じて解き方を理解し、国家試験問題を解けるようにする。 ③バランス・姿勢・歩行の基礎知識を学び、異常姿勢・異常歩行を説明できるようにする。 ④学習理論に基づき、運動学習を学ぶ。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	身体運動の軸と面、および運動の名称(方向)	①	堀	講義	テキストp.13-14, 基礎運動学p.160-161を読んでおきましょう(30分)	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう(30分)
2	運動器の構造と機能(骨)	①	堀	講義	基礎運動学p.29-36を読んでおきましょう(30分)	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう(30分)
3	運動器の構造と機能(関節)	①	堀	講義	テキストp.12-16, 基礎運動学p.36-41を読んでおきましょう(30分)	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう(30分)
4	運動器の構造と機能(筋の構造)	①	堀	講義	テキストp.16-17, 基礎運動学p.41-52を読んでおきましょう(30分)	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう(30分)
5	運動器の構造と機能(筋の収縮)	①	堀	講義	テキストp.18-20, 基礎運動学p.52-58を読んでおきましょう(30分)	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう(30分)
6	運動器の構造と機能(神経)	①	堀	講義	基礎運動学p.66-95を読んでおきましょう(30分)	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう(30分)
7	生体力学の基礎1(運動の法則, 仕事, 速度など)	②	堀	講義	テキストp.2-10, 基礎運動学p.165-192を読んでおきましょう(30分)	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう(30分)
8	生体力学の基礎2(てこ, 剛体など)	②	堀	講義	テキストp.2-10, 基礎運動学p.165-192を読んでおきましょう(30分)	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう(30分)
9	生体力学を用いた計算	②	堀	講義	講義7-8回で学習した内容を理解しておきましょう(30分)	計算問題の解き方を修得しておきましょう(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	姿勢（重心，支持基底面）	③	堀	講義	テキストp.110-112, 基礎運動学 p.299-308, 327-332を読んでおきましょう (30分)	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう (30分)
11	姿勢（姿勢制御・バランス）	③	堀	講義	テキストp.112-118, 基礎運動学 p.310-325を読んでおきましょう (30分)	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう (30分)
12	正常歩行1（歩行周期，歩幅，ケイデンスなど）	③	堀	講義	テキストp.119-138, 基礎運動学 p.335-340, 363-388を読んでおきましょう (30分)	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう (30分)
13	正常歩行2（歩行時の関節の動き，筋活動，重心移動など）	③	堀	講義	テキストp.119-138, 基礎運動学 p.335-340, 363-388を読んでおきましょう (30分)	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう (30分)
14	異常歩行	③	堀	講義	テキストp.127-128, 基礎運動学 p.394-398を読んでおきましょう (30分)	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう (30分)
15	運動学習	④	堀	講義	テキストp.139-149, 基礎運動学 p.455-488を読んでおきましょう (30分)	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう (30分)
中間試験①（講義1-6），中間試験②（講義7-9），期末試験（講義10-14）の合計3回実施（再試験の範囲は講義1-14）						
評価基準・評価方法						
試験は中間試験2回と期末試験1回の計3回実施する。試験範囲は1～6回目の講義（中間試験①），7～9回目の講義（中間試験②），10～14回目の講義（期末試験）となる。15回目の講義はテスト範囲から除外する。中間試験と期末試験の総得点を100%として評定する。再試験は期末試験後に1回，全範囲（講義1-14）を試験範囲として実施する。						
使用教科書						
基礎運動学 第7版 / 中村隆一ほか.--藤澤宏幸ほか--医歯薬出版，2025年，978-4-263-26682-3 15レクチャーシリーズ 理学療法作業療法テキスト運動学 第2版 / 小島悟責任編集--中山書店，2024年，978-4-521-74905-1						
参考図書						
<ul style="list-style-type: none"> PT/OT国家試験対策ワークブック計算問題，川島圭司著，医歯薬出版，2017 PTOT基礎から学ぶ運動学ノート第3版，中島雅美，医歯薬出版，2023 						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	小テスト（プチテスト+国家試験問題）を講義後に，またはGoogle Formsを用いて実施する。フィードバックは実施時に行われる。中間，期末試験のまとめとして活用してください。					
実務経験をいかした教育内容	専門基礎科目であるが，医療機関での実務経験を基に実際の症例の病態を踏まえた講義を実施し，基礎知識の定着を図る。					
備考	本講義は理学療法/作業療法の基礎となる科目です。講義内容は3部構成としそれぞれの範囲で試験を行います（3回の試験の合計で評定）。再試験の場合は全範囲（3回分）が対象となりますので注意すること。毎回，ワークシート配布と小テストを実施します。講義のまとめや復習に活用してください。					

授業科目名		担当教員				
運動学各論		曾田直樹				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	講義	PBF205		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		曾田直樹(理学療法士)				
授業概要						
ヒトの関節の特徴をバイオメカニクスの観点からその動きを理解することを目的とする。またその理論に基づき骨関節機能障害学や骨関節治療技術、病態運動学、動作分析への応用を学習できることを期待する。講義ではグループでのディスカッションやディベートを行い理解を深めていく。						
学修の到達目標						
①上肢の解剖学について理解できる。 ②下肢の解剖学について理解できる。 ③上肢の運動学について理解できる。 ④下肢の運動学について理解できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	概論：筋の走行と軸と面の関係、筋肉の役割について	① ② ③ ④	曾田	講義		授業内容の復習をすること(60分)
2	肩関節：肩甲上腕関節の機能	① ③	曾田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
3	肩関節：第2肩関節の役割について	① ③	曾田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
4	肩関節：肩甲胸郭関節の役割について	① ③	曾田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
5	肘関節：肘関節に付着する靭帯について	① ③	曾田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
6	肘関節：回内・回外運動のメカニズム	① ③	曾田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
7	手関節：掌屈・背屈のメカニズム	① ③	曾田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
8	手関節：手関節の靭帯・筋肉	① ③	曾田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
9	股関節：下肢のアライメント、股関節に付着する靭帯	② ④	曾田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください(30分)	授業内容の復習をすること(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	股関節：股関節周囲筋の役割	② ④	曾田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください (30分)	授業内容の復習をすること (30分)
11	膝関節：特徴的な動き・アライメント	② ④	曾田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください (30分)	授業内容の復習をすること (30分)
12	膝関節：筋肉、半月板の役割	② ④	曾田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください (30分)	授業内容の復習をすること (30分)
13	足関節：骨の構造、底屈・背屈のメカニズム	② ④	曾田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください (30分)	授業内容の復習をすること (30分)
14	足関節：靭帯・筋肉について	② ④	曾田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください (30分)	授業内容の復習をすること (30分)
15	上肢および下肢の解剖学と運動学について	① ② ③ ④	曾田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください (30分)	授業内容の復習をすること (30分)
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
<p>評価基準：知識・理解・学修態度・意欲を重視 評価方法：期末試験 (90%)、態度・意欲 (小テスト、授業参加度など) にて総合的に判断する。</p>						
使用教科書						
参考図書						
<p>・筋骨格系のキネシオロジー 原著：Donald A 監訳：島田智明ら 医歯薬出版株式会社</p>						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	講義内で答えなどを解説					
実務経験をいかした教育内容	臨床現場での経験に基づいて、リハビリに必要な各関節の機能解剖や運動学を教授している。					
備考	2024年度以降入学生対象					

授業科目名		担当教員				
運動学演習		曾田直樹・大場かおり・田島嘉人・石田裕保 (代表教員 曾田直樹)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	演習	PBF406		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		曾田直樹(理学療法士)、大場かおり(理学療法士)、田島嘉人(理学療法士)、石田裕保(理学療法士)				
授業概要						
<p>生理学、解剖学、運動学総論、運動学各論等で学んだ知識を文献や演習によって確認する。 生体が運動や動作を実施したときの反応の理解、考察を目的に研究のデザイン、方法、測定機器の使用の仕方などをその学習過程を通して理解する。 理解した内容は、はじめに、方法、結果、考察ごとに研究報告レポートとしてまとめる。</p>						
学修の到達目標						
<p>①生理学、解剖学、運動学の理解を深める。 ②平衡機能・筋力・歩行分析を測定する意義や方法を説明できる。 ③研究報告レポートとしてまとめることができる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	運動学演習オリエンテーション	① ② ③	曾田	演習		授業内容の復習をすること(60分)
2	演習内容の説明	① ② ③	曾田	演習	授業内容を把握し、それに該当する科目を確認しておくこと(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
3	レポート作成について	① ② ③	曾田	演習	授業内容を把握し、それに該当する科目を確認しておくこと(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
4	重心動揺(意義 測定方法 など)	① ② ③	大場	演習	授業内容を把握し、それに該当する科目を確認しておくこと(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
5	筋機能について(意義 測定方法など)	① ② ③ ④	田島	演習	授業内容を把握し、それに該当する科目を確認しておくこと(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
6	歩行分析(意義 測定方法など)	① ② ③	石田	演習	授業内容を把握し、それに該当する科目を確認しておくこと(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
7	文献検索	① ② ③	全員	演習	レポートの作成(30分)	レポートの作成(30分)
8	文献検索	① ② ③	全員	演習	レポートの作成(30分)	レポートの作成(30分)
9	文献検索	① ② ③	全員	演習	レポートの作成(30分)	レポートの作成(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	文献検索	① ② ③	全員	演習	レポートの作成 (30分)	レポートの作成 (30分)
11	レポート作成	① ② ③	全員	演習	レポートの作成 (30分)	レポートの作成 (30分)
12	レポートの作成	① ② ③	全員	演習	レポートの作成 (30分)	レポートの作成 (30分)
13	レポートの作成	① ② ③	全員	演習	レポートの作成 (30分)	レポートの作成 (30分)
14	レポートの作成	① ② ③	全員	演習	レポートの作成 (30分)	レポートの作成 (30分)
15	レポートの作成	① ② ③	全員	演習	レポートの作成 (30分)	レポートの作成 (30分)
	レポート提出					
評価基準・評価方法						
評価基準および評価方法：グループ活動への取り組み状況（10%）、研究レポートの内容（90%）						
使用教科書						
参考図書						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	講義内で解説					
実務経験をいかした教育内容	臨床現場での経験に基づいて理学療法に必要な知識や実技、またその考え方など運動学実習を通して教授する。					
備考	オフィスアワー 曾田 月曜日 12:30～13:10 大場 月曜日 16:30～17:30 田島 火曜日 12:20～13:10 石田 金曜日 16:30～17:00					

授業科目名		担当教員				
人間発達学		大森周太郎				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義	PDM101		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)(4) の達成に寄与している。						
授業概要						
人間の胎生期から老年期までの身体的発達と心理的発達の主要な現象を取り上げ講義する。新生児期、乳児期、幼児期、児童期、青年期、中年期、老年期の基本的な特徴について、生物学的な面のみならず社会とのかかわりの中で複雑に発達していく過程に関する理解を深め、医療関係者として必要な知識、応用技術を学ぶ。						
学修の到達目標						
①人間の発達段階の特徴を理解する ②小児期の重要性を広く理解する ③発達と環境、文化との関連を正しく認識する ④青年期の特徴と重要性について理解を深める ⑤中年期～老年期の変化の実態を把握する ⑥学んだ知識を実生活ならびに医療関連の仕事に生かす						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	人間の発達の特徴	① ⑥	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
2	人間の本能と行動	① ③	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
3	胎生期から誕生へ	① ②	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
4	乳幼児の発育と発達	① ② ③	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
5	子どもの身体発育発達に影響する因子	② ③	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
6	身体発育の指標	① ② ③	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
7	子どもの心の発達	① ② ③	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
8	幼児～学童の運動機能	① ②	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
9	小児栄養	① ② ⑥	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	小児期の発達障害、疾病	① ⑥	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
11	青年期の身体的、心理的発達	① ④	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
12	中年期における心身の変化と人間としての成長、発達	① ⑤	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
13	老年期における心身の変化と日常生活	⑤ ⑥	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
14	老化の進展と健康	① ⑤ ⑥	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
15	超高齢社会の人間発達学	① ⑤ ⑥	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。(30分)	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。(30分)
	定期試験(筆記)					

評価基準・評価方法

評価基準：専門的な知識の修得と講義内容の理解を重視。専門用語を用いて現象を理解し、説明する能力を評価する。従って、試験問題には、記述問題を半数出題する。
 評価方法：筆記試験ならびに適時提出を求める課題(レポート)によって行う。評価割合はそれぞれ90%、10%

使用教科書

人間発達学 ヒトはどう育つのか / 竹下研三 著。--中央法規出版, 2009年, 978-4-8058-3096-3

参考図書

その都度、講義時間に紹介する。

課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法

試験についての内容や勉強法については、授業中に詳しく説明します。

実務経験をいかした教育内容

備考

修得すべき知識が多いので、個々の知識を体系化し、相互に関連づけて記憶するように努めること。課題や試験問題に対する解説はその都度行う。在学時の質問は随時、受け付ける。メール等による質問も歓迎するが、学務課経由でお願いしたい。

授業科目名		担当教員				
病理学概論		武内康雄・林 将大 (代表教員 武内康雄)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	2単位(30時間)	講義	PDS201		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		武内康雄(医師)				
授業概要						
病気を引き起こす原因を、病気の捉え方の歴史的移り変わりとともに概論で解説する。次いで、病気の状態を大きく、代謝異常、循環障害、炎症と免疫、進行性病変、腫瘍、老化、先天異常と奇形に分類し、それぞれの病的状態に見られる変化を分かりやすく解説する。						
学修の到達目標						
①変性と化生、炎症と免疫、循環障害の病態病理の概要を説明できる。 ②代謝障害、遺伝子異常、先天異常、老化の概要を説明できる。 ③腫瘍の病理学的分類を説明でき、腫瘍発生のメカニズムや治療法を説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	病気と病理学	①	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(120分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(120分)
2	細胞の異常-変性、化生、再生、修復	①	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(120分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(120分)
3	先天異常	②	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(120分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(120分)
4	循環障害(1)循環系の働き、出血と凝固	①	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(120分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(120分)
5	循環障害(2)虚血と梗塞、血圧異常、疾患と病態	①	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(120分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(120分)
6	代謝異常(1)	②	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(120分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(120分)
7	代謝異常(2)	②	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(120分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(120分)
8	老化	②	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(120分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(120分)
9	感染と感染症(1)感染症と病原体	①	林	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。(120分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	感染と感染症（2）感染症の発症と防御機構	①	林	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。（120分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。（120分）
11	免疫機構と免疫異常（1）免疫機構と疾患	①	林	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。（120分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。（120分）
12	免疫機構と免疫異常（2）再生医療、炎症	①	林	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。（120分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。（120分）
13	腫瘍（1）腫瘍の分類	③	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。（120分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。（120分）
14	腫瘍（2）癌の特性	③	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。（120分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。（120分）
15	腫瘍（3）腫瘍マーカー診断、治療	③	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読んでおくこと。（120分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。（120分）
	定期試験（筆記）					
評価基準・評価方法						
期末筆記試験100%						
使用教科書						
なるほど なっとく！ 病理学 病態形成の基本的なしくみ / 小林正伸. --改訂第2版--南山堂, 2019年, 978-4-525-15162-1						
参考図書						
大橋健一、谷澤 徹、藤原正親、柴原純二著 「系統看護学講座 専門基礎分野 病理学 疾病のなりたちと回復の促進①」 (医学書院)						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	試験解答の一部を公開する。					
実務経験をいかした教育内容	法医学での経験をもとに、病気の成り立ちについて講義を展開する。					
備考						

授業科目名		担当教員				
内科学		武内康雄・平野智久・山本眞由美・高田信幸・多田晃司・古田弥生 (代表教員 武内康雄)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態		科目ナンバリング	
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義		PDS402	
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		武内康雄(医師)、平野智久(医師)、山本眞由美(医師)、高田信幸(医師)、多田晃司(医師)、古田弥生(看護師)				
授業概要						
内科系疾患などの病態・診察・診断・治療について、およびそのアプローチを学ぶ。						
学修の到達目標						
①各論としては循環器系、代謝、内分泌系、消化器系、腎臓疾患、呼吸器系、血液疾患など、実際の理学療法に関連性の高い疾患を中心に学修し、概要を説明することができる。近年重要性が増している予防医学についての基礎知識の概要説明することができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	循環器分野①心臓の解剖、生理や虚血性心疾患、不整脈などについて学習する。	①	平野	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
2	循環器分野②	①	平野	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
3	循環器分野③	①	平野	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
4	代謝・内分泌分野①糖尿病の病態・機序・合併症・治療について学ぶ	①	山本	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
5	代謝・内分泌分野②肥満・メタボリック症候群を中心に代謝疾患について学ぶ	①	山本	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
6	代謝・内分泌分野③内分泌疾患の種類と機序について学ぶ(間脳・下垂体、甲状腺、副腎を中心に)	①	山本	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
7	消化器分野①生体維持の基本となる消化器疾患について学ぶ。	①	古田	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
8	消化器分野②	①	古田	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
9	腎臓器疾患①腎臓機能障害について学習する。	①	多田	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	腎臓器疾患②	①	多田	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
11	呼吸器分野①呼吸器機能の基礎と呼吸器疾患全般について学ぶ。	①	高田	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
12	呼吸器分野②	①	高田	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
13	呼吸器分野③	①	高田	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
14	呼吸器分野④	①	高田	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
15	血液疾患 血液疾患について学ぶ。	①	武内	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(30分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(30分)
	定期試験(筆記)					
評価基準・評価方法						
中間試験+定期試験(100%)						
使用教科書						
標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 内科学 / 鎌倉矩子ほか監修.--第5版--医学書院, 2024年10月, 978-4-260-05608-3						
参考図書						
	課題・レポートは実施しない。					
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法						
実務経験をいかした教育内容	各分野の専門医や看護師より、実務経験を生かした具体的な症例提示などを交えて講義をおこなう。					
備考						

授業科目名		担当教員				
整形外科学		西本 裕				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義	PDS403		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		西本裕(医師)				
授業概要						
運動器の外傷、疾患について、病因、経過、診断法、治療法を概説する。						
学修の到達目標						
①骨、関節、靭帯、筋肉、末梢血管、脊髄、末梢神経の損傷、障害について述べるができる。 ②筋、骨格系の感染症、腫瘍、先天異常、発育障害、関節リウマチ、骨粗鬆症を含む代謝疾患、退行性疾患など整形外科的疾患について述べるができる。 ③骨折治療、脊椎固定術、人工関節置換術時に用いる生体内人工材料にとって必要な条件、体内での経過について理解できる。 ④骨格系の欠損、障害に対する再建法について理解できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	骨折の病態、診断	①	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認(30分)	講義内容の整理と確認(30分)
2	骨折の治療	①	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認、指定教科書の該当ページに目を通す。(30分)	講義内容の整理と確認(30分)
3	上肢の外傷、障害	①	西本	講義	解剖学、生理学、病理解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認、指定教科書の該当ページに目を通す。(30分)	講義内容の整理と確認(30分)
4	下肢の外傷、障害	①	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認(30分)	講義内容の整理と確認(30分)
5	疲労骨折、筋肉の損傷、区画症候群	①	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認、指定教科書の該当ページに目を通す。(30分)	講義内容の整理と確認(30分)
6	体幹の外傷、障害	①	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認、指定教科書の該当ページに目を通す。(30分)	講義内容の整理と確認(30分)
7	脊髄損傷	②	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認、指定教科書の該当ページに目を通す。(30分)	講義内容の整理と確認(30分)
8	脊椎退行性疾患、絞扼性神経障害	②	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認、指定教科書の該当ページに目を通す。(30分)	講義内容の整理と確認(30分)
9	関節退行性疾患	②	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認、指定教科書の該当ページに目を通す。(30分)	講義内容の整理と確認(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	関節リウマチ	②	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認、指定教科書の該当ページに目を通す。(30分)	講義内容の整理と確認 (30分)
11	骨関節感染症	②	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認、指定教科書の該当ページに目を通す。(30分)	講義内容の整理と確認 (30分)
12	骨・軟部腫瘍	②	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認、指定教科書の該当ページに目を通す。(30分)	講義内容の整理と確認 (30分)
13	先天異常、発育障害、側弯症	②	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認、指定教科書の該当ページに目を通す。(30分)	講義内容の整理と確認 (30分)
14	循環障害、骨端症	②	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認、指定教科書の該当ページに目を通す。(30分)	講義内容の整理と確認 (30分)
15	骨粗鬆症を含む代謝疾患	③	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認、指定教科書の該当ページに目を通す。(30分)	講義内容の整理と確認 (30分)
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
毎回のミニテスト (25%)、定期試験 (75%)						
使用教科書						
標準整形外科学 / 田中栄ほか監修。--第16版--医学書院、2026年、978-4-260-06010-3						
参考図書						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	毎回、前回のミニテストへの全体的講評。定期試験については、解答例を掲示する。					
実務経験をいかした教育内容	科目担当者は医療機関に勤務。その実務経験をもとに整形外科学について話をする。					
備考	履修にあたり、解剖学、生理学、運動学、病理学概論の知識は必須である。					

授業科目名		担当教員				
神経内科学		木村暁夫・下畑享良・山田 恵・吉倉延亮・竹腰 顕・下郷雅也・大野陽哉・森 泰子・山原直紀 (代表教員 木村暁夫)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態		科目ナンバリング	
必修	2年 前学期	1単位 (30時間)	講義		PDS404	
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		下畑享良(医師)、木村暁夫(医師)、山田恵(医師)、吉倉延亮(医師)、竹腰顕(医師)、下郷雅也(医師)、大野陽哉(医師)、森泰子(医師)、山原直紀(医師)				
授業概要						
①神経内科で扱う神経疾患の病態・診断・治療法について学び、理解を深める。 ②個々の神経疾患における障害部位・認められる神経学的異常所見・異常検査所見に関し理解を深める。 ③個々の神経疾患の治療の現状およびリハビリテーションの意義・注意点を理解する。						
学修の到達目標						
①個々の神経疾患の疾患名と病態に関し理解し、診断・治療法に関して具体的に説明できる。 ②個々の神経疾患におけるリハビリテーションの必要性和施行時の注意点を理解できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	神経変性疾患Ⅰ (パーキンソン病)	① ②	下畑	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する (30分)
2	神経変性疾患Ⅳ (運動ニューロン疾患)	① ②	下畑	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する (30分)
3	神経変性疾患Ⅱ (パーキンソン関連疾患)	① ②	山田	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する (30分)
4	神経変性疾患Ⅲ (脊髄小脳変性症)	① ②	山田	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する (30分)
5	認知症 (アルツハイマー型認知症)	① ②	吉倉	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する (30分)
6	認知症 (非アルツハイマー型認知症)	① ②	吉倉	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する (30分)
7	免疫性神経疾患 (重症筋無力症など)	① ②	木村	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する (30分)
8	免疫性神経疾患 (多発性硬化症など)	① ②	木村	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する (30分)
9	末梢神経障害Ⅰ	① ②	竹腰	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する (30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	末梢神経障害Ⅱ	① ②	竹腰	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する (30分)
11	筋疾患Ⅰ	① ②	下郷	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する (30分)
12	筋疾患Ⅱ	① ②	下郷	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する (30分)
13	頭部外傷・脊髄損傷	① ②	大野	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する (30分)
14	脳腫瘍	① ②	山原	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する (30分)
15	脳炎・脳症	① ②	森	講義	使用教科書の該当箇所 で事前学習する (30分)	講義配布資料と教科書 で事後学習する。 不明な点は参考図書 で学習する (30分)
	定期試験 筆記		木村			
評価基準・評価方法						
定期試験 (80%)、授業への取り組み姿勢 (20%) など総合的に判断						
使用教科書						
標準理学療法学・作業療法学 神経内科学 / 鎌倉矩子ほか編集。--第6版--医学書院, 2024年, 978-4-260-05667-0						
参考図書						
<ul style="list-style-type: none"> 臨床のための脳局所解剖学 (中外医学社) 神経内科ハンドブック 鑑別診断と治療第5版 (医学書院) 全ての内科医が知っておきたい神経疾患の診かた、考え方とその対応 (羊土社) 						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	試験について過去問題等の資料を配布					
実務経験をいかした教育内容	神経内科の臨床現場で扱う疾患の病態・診断・治療法等について、脳神経内科医師らにより解説を行う					
備考	理学療法士 作業療法士国家試験問題解答と解説 (医師薬出版編)					

授業科目名		担当教員				
精神医学		宮地幸雄				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態		科目ナンバリング	
必修	2年 前学期	2単位(30時間)	講義		PDS405	
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		宮地幸雄(臨床心理士)				
授業概要						
精神疾患についての基本的知識並びに精神疾患を罹患した人との基本的な援助方法を学ぶ。						
学修の到達目標						
①精神医学の基礎的な部分について理解を深める。 ②精神疾患の症例をを理解することができる。 ③臨床場面で援助方法の基本が活用できるようになる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	人が生きるということについてを考える。	①	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
2	自殺について	①	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
3	精神医学の歴史について	①	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
4	こころの発達と防衛機制について	① ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
5	臨床心理検査について	① ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
6	よくみられる精神症状についてーその1	② ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
7	よくみられる精神症状についてーその2	② ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
8	統合失調症についてーその1	② ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
9	統合失調症についてーその2	② ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	感情障害について	② ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
11	心因性精神障害について	② ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
12	知的障害・発達障害について	② ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
13	心理療法について	① ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
14	チームアプローチについて	① ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
15	医療従事者の姿勢について	① ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。(120分)
	定期試験(筆記)					
評価基準・評価方法						
定期試験(100%)で評価する						
使用教科書						
精神医学テキスト-精神障害の理解と治療のために / 上島国利ほか.--改訂第5版--南江堂, 2023, 978-4-524-22866-9						
参考図書						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	随時質問を受け付け回答及びコメントをする。					
実務経験をいかした教育内容	講師は臨床心理士。非医師であるが、臨床現場の話として精神科病院での事例を提示し授業を展開する。					
備考						

授業科目名		担当教員				
小児科学		松井永子・堀田 亮 (代表教員 松井永子)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	2単位(30時間)	講義	PDS406		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		松井永子(医師)、堀田亮(臨床心理士)				
授業概要						
小児はただ単に体の小さな成人ではなく、つねに成長発達をする存在である。罹患しやすい疾患についても年齢によって異なる。このような小児の特徴を理解することが重要である。						
学修の到達目標						
①胎児・新生児期および小児特有の生理・病態生理を理解し、説明することができる。 ②胎児から子供の誕生、そして成長し次世代の子供を持つまでをひとつのLife cycle と捉え、この成長過程における生理と病態生理を理解し、説明することができる。 ③子供のCommon Disease ,特有な疾患を理解し説明することができる。すなわち、子供がよく罹患する疾患、頻度は低い子供特有な疾患について病態・診断・治療、予防法を学ぶ。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	小児科概論 成長と発達	① ②	松井	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(120分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(120分)
2	成長と発達	① ②	松井	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(120分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(120分)
3	新生児と疾患	① ②	松井	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(120分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(120分)
4	先天異常 遺伝病	① ②	松井	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(120分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(120分)
5	神経、筋疾患	③	松井	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(120分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(120分)
6	神経、筋疾患	③	松井	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(120分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(120分)
7	循環器疾患	③	松井	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(120分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(120分)
8	消化器疾患、内分泌疾患	③	松井	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(120分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(120分)
9	血液疾患、腫瘍性疾患	③	松井	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(120分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	腎、泌尿器疾患、目、耳の疾患 等	③	松井	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(120分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(120分)
11	呼吸器疾患	③	松井	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(120分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(120分)
12	感染症	③	松井	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(120分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(120分)
13	アレルギー免疫疾患	③	松井	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(120分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(120分)
14	こころの病気、障害	③	堀田	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(120分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(120分)
15	発達、心理検査	③	堀田	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。(120分)	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。(120分)
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
筆記試験 (80%) 課題・レポート (20%)						
使用教科書						
標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 小児科学 / 奈良 勲ほか監修.--第6版--医学書院, 2023年, 978-4-260-05013-5						
参考図書						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	課題レポートは評価後返却					
実務経験をいかした教育内容	小児科臨床経験30年の実務経験を生かし、具体的な症例提示などを交えて講義する。					
備考	資料などにて補足説明を行う。					

授業科目名		担当教員				
リハビリテーション医学		西本 裕				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	講義	PDB201		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		西本裕(医師)				
授業概要						
① 疾病と障害の違い、障害のとらえ方を理解する(1, 2, 4)。 ② 脳血管障害のリハビリテーションについて理解する(3, 5-8)。 ③ 内部障害のリハビリテーションについて理解する(9, 10) ④ 運動器リハビリテーションについて理解する(11, 12) ⑤ 感覚器障害のリハビリテーションについて理解する(13) ⑥ リハビリテーションの根拠について考察し、創造的な思考を養う(14, 15)。						
学修の到達目標						
医療、福祉の領域でリハビリテーション医学の立場を説明することができ、実践時にどのように応用されているかについて述べるができる。 ①疾病と障害の違い、障害のとらえ方を説明できる。 ②脳血管障害のリハビリテーションについて説明できる。 ③内部障害のリハビリテーションについて説明できる。 ④運動器リハビリテーションについて説明できる。 ⑤感覚器障害のリハビリテーションについて説明できる。 ⑥リハビリテーションの根拠について考察し創造的に考えることができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	リハビリテーションの実際、ICF	①	西本	講義		講義内容の整理と確認(50分)
2	機能評価	①	西本	講義		講義内容の整理と確認(50分)
3	脳卒中のリハビリテーション(ADL障害、QOLについて)	②	西本	講義		講義内容の整理と確認(50分)
4	障害分類、FIM(Functional Independence Measure)	①	西本	講義		講義内容の整理と確認(50分)
5	高次脳機能障害	②	西本	講義		講義内容の整理と確認(50分)
6	運動療法	②	西本	講義		講義内容の整理と確認(50分)
7	嚥下障害のリハビリテーション	②	西本	講義		講義内容の整理と確認(50分)
8	排尿障害のリハビリテーション	②	西本	講義		講義内容の整理と確認(50分)
9	心疾患のリハビリテーション	③	西本	講義		講義内容の整理と確認(50分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	呼吸器のリハビリテーション	③	西本	講義		講義内容の整理と確認 (50分)
11	切断と義足・義手	④	西本	講義		講義内容の整理と確認 (50分)
12	装具・杖と車椅子	④	西本	講義		講義内容の整理と確認 (50分)
13	平衡機能障害・聴力障害・視力障害	⑤	西本	講義		講義内容の整理と確認 (50分)
14	障害者スポーツ	⑥	西本	講義		講義内容の整理と確認 (50分)
15	廃用症候群	⑥	西本	講義		講義内容の整理と確認 (50分)
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
毎回のミニテスト (25%)、定期試験 (75%)						
使用教科書						
リハビリテーションに関連する医学のトピックスに日頃から関心を持ち、情報収集するように心がけることが重要である。 様々な障害について、想像力を働かせて思いを寄せ、それ基に情報を収集する習慣をつける。						
参考図書						
PT・OT・ST・ナースを目指すひとのためのリハビリテーション総論 要点整理と用語解説 改訂第4版、診断と治療社、 椿原彰夫編著、2023年 ISBN:978-4-7878-2627-5 義肢装具のチェックポイント 第9版 医学書院、2021年、日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会、 ISBN:978-4-260-04589-6						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	毎回、前回のミニテストへの全体的講評。 定期試験については、解答例を掲示する。					
実務経験をいかした教育内容	科目担当者は医療機関に勤務。その実務経験をもとにリハビリテーションの概要について話をする。					
備考						

授業科目名		担当教員				
老年医学		武内康雄				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	講義	PDB202		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		武内康雄(医師)				
授業概要						
<p>老化と疾病は密接な関係にあり、その両面から障害を捉えなければならない。この講義では老化についての生理学的変化や能力的変化を整理し、老年期症候群、認知症、廃用症候群など高齢者特有の疾患について解説する。さらに種々の疾患について高齢者の特徴を概説するとともに、容易に寝たきりに移行しうる危険性が高いことについて触れる。</p>						
学修の到達目標						
<p>①高齢者の生理的・病的変化を理解し、老年症候群の症状を10以上挙げて説明できる。 ②高齢者に多い循環器・呼吸器・消化器・骨運動器・精神・神経・内分泌・血液免疫・腎泌尿器・皮膚口腔・耳鼻咽喉・眼疾患について、疾患を挙げて説明できる。 ③高齢者の医療・看護・介護・福祉について理解し、リハビリテーション・終末期医療について説明できる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	老化と老年病の考え方、加齢に伴う生理機能の変化	①	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読むことを期待する。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。(30分)
2	加齢に伴う運動機能・精神心理面の変化、性差医療からのアプローチ	①	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読むことを期待する。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。(30分)
3	高齢者の定義および人口動態、高齢者との接し方、高齢者の機能評価	①	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読むことを期待する。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。(30分)
4	高齢者の薬物療法の考え方、高齢者に多い症候と老年症候群	①	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読むことを期待する。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。(30分)
5	老年症候群、循環器疾患	②	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読むことを期待する。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。(30分)
6	循環器疾患、呼吸器疾患、消化器疾患、骨・運動器疾患	②	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読むことを期待する。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。(30分)
7	呼吸器疾患、消化器疾患、骨・運動器疾患	②	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読むことを期待する。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。(30分)
8	骨・運動器疾患、神経疾患	②	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読むことを期待する。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。(30分)
9	精神疾患、内分泌代謝疾患	②	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読むことを期待する。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	内分泌代謝疾患、血液免疫疾患	②	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読むことを期待する。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。(30分)
11	腎疾患、泌尿器疾患、皮膚・口腔疾患	②	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読むことを期待する。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。(30分)
12	感染症、耳鼻咽喉疾患、眼疾患	②	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読むことを期待する。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。(30分)
13	東洋医学・老年学からのアプローチ、社会学・経済学から見た高齢社会	③	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読むことを期待する。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。(30分)
14	高齢者の医療、看護、介護・福祉、保健、高齢者のリハビリテーション	③	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読むことを期待する。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。(30分)
15	高齢者の退院支援、高齢者の終末期医療	③	武内	講義	講義当日のテーマを知り、教科書の該当部分を読むことを期待する。(30分)	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。(30分)
	定期試験(筆記)	① ② ③	武内			
評価基準・評価方法						
期末筆記試験100%						
使用教科書						
標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 老年学 第6版 / 大内慰義ら.--大内慰義--医学書院, 2025年1月, 978-4-260-05671-7						
参考図書						
適時紹介する。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	試験解答の一部を公開する。					
実務経験をいかした教育内容	法医学での経験をもとに、老年期の病気の成り立ちについて講義を展開する。					
備考						

授業科目名		担当教員				
スポーツ医学		河野公昭・堀 優太 (代表教員 河野公昭)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	講義・演習	PDB203		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		河野公昭(理学療法士・日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー・JOC医科学委員(元))、堀優太(薬剤師・スポーツファーマシスト)				
授業概要						
スポーツ医学は、健康増進や良いコンディション作り、またリハビリテーションの医学的側面と、競技力を向上させる科学的側面の両面から考える学問である。スポーツ医学の対象は、スポーツ選手・成長期世代・生涯スポーツによりQOLの向上を目指す中高年世代など多岐にわたる。本講義では、前述の対象者に起こりえる外科的及び内科的なスポーツ疾患とリハビリテーション、ケガ予防のためのコンディショニング施策について理解する。また加齢による身体変化や運動実践による効果についても理解を深める。						
学修の到達目標						
①スポーツ現場でのコンディショニングの方法を学び競技力向上に役立てることができる。 ②スポーツ医療現場でリハビリテーションの一端を理解し、実践していく準備ができる。 ③成長期から高齢者まで、各世代での特徴的なケガや身体変化について理解できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	スポーツ医学概論(ドクター、トレーナー、理学療法士などとの連携)	①	河野	講義	スポーツ医学の取り扱う分野の理解(30分)	コメディカルと連携の重要性の復習(30分)
2	スポーツと運動器	②	河野	講義	解剖学と運動学との関連性を予習(30分)	運動の働きを理解(30分)
3	スポーツと外科的疾患(外傷・障害別疾患)	②	河野	講義	スポーツとの関連性を調べておく(30分)	疾患に関する理解と知識を整理しておく(30分)
4	スポーツと外科的疾患(部位別疾患)	②	河野	講義	スポーツ動作との関連性を調べておく(30分)	疾患に関する理解と知識を整理しておく(30分)
5	スポーツ救急処置	① ②	河野	講義	スポーツ現場での対応と連携について調べておく(30分)	疾患に関する理解と知識を整理しておく(30分)
6	スポーツと内科的疾患(突然死・熱中症など)	②	河野	講義	スポーツ活動の前後の症状発生について調べておく(30分)	疾患に関する理解と知識を整理しておく(30分)
7	内科的疾患(オーバートレーニング・疲労・栄養対策など)	②	河野	講義	スポーツとの関連性を調べておく(30分)	疾患に関する理解と知識を整理しておく(30分)
8	メディカルチェック	②	河野	講義	スポーツ医学の取り扱う分野の理解(30分)	スポーツ医学での位置づけ理解を深める(30分)
9	子供(成長期世代)のスポーツ医学	②	河野	講義	スポーツ医学の取り扱う分野の理解(30分)	疾患に関する理解と知識を整理しておく(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	女性・高齢者などのスポーツ医学	②	河野	講義	スポーツ医学の取り扱う分野の理解 (30分)	疾患に関する理解と知識を整理しておく (30分)
11	スポーツと健康寿命 (運動器症候群)	①	河野	講義	スポーツ医学の取り扱う分野の理解 (30分)	スポーツ医学での位置づけについて理解を深める (30分)
12	ドーピングについて	②	堀	講義	スポーツ医学の取り扱う分野の理解 (30分)	スポーツ医学での位置づけについて理解を深める (30分)
13	コンディショニング(アイシング・マッサージ)について	①	河野	講義演習	スポーツ医学の取り扱う分野の理解 (30分)	スポーツ医学での位置づけについて理解を深める (30分)
14	ウォーミングアップとクールダウン	①	河野	講義	スポーツ医学の取り扱う分野の理解 (30分)	スポーツ医学での位置づけについて理解を深める (30分)
15	運動処方(アスレティックリハビリテーション)	②	河野	講義	スポーツ医学の取り扱う分野の理解 (30分)	スポーツ医学での位置づけについて理解を深める (30分)
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
定期試験 (80%) ・レポート課題 (20%) による評価						
使用教科書						
特になし						
参考図書						
授業中に補足のプリントを配付します。 ①アスレティックトレーナー専門基礎科目テキスト2 スポーツ科学概論 文光堂, 2024年, ISSN978-4-8306-5197-7 ②アスレティックトレーナー専門基礎科目テキスト3 スポーツ医学概論 文光堂, 2024年, ISSN978-4-8306-5198-4 ③リファレンスブック 公益財団法人日本スポーツ協会 2024年						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	試験についての重要項目は、配布資料や授業内で繰り返し説明します。課題については、回答例を補足して返却し自己復習できるように行います。					
実務経験をいかした教育内容	整形外科クリニックでの25年以上の職務経験から、クリニックの社会的ニーズとその役割について、またスポーツ現場でアスレティックトレーナーとしての活動事例を交えて、その際に必要な思考力・実践力を身につけ、具体的に対応できるよう授業を展開していきます。					
備考	外部からゲストスピーカーを予定 (岐阜県薬剤師会から) 資料やパワーポイントを使用し説明を行います。 オフィスアワー：授業終了後に質問があれば、時間を設けます。質問紙による場合には、次回の授業時に回答します。					

授業科目名		担当教員				
公衆衛生学		岸田敏彦				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(15時間)	講義	PAR201		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		岸田敏彦(元・北保健センター長)				
授業概要						
公衆衛生学は社会や集団を対象とした医学であり、個人の心身の疾病予防、健康の保持増進に止まらず、高齢社会対策、社会福祉、環境保全ならびに環境汚染防止など、社会全体、時に全地球をも対象とした多岐にわたる内容から構成されている。個人の健康を対象とした臨床医学とは異なる面からも人間及び社会と健康との関わりについて考えるとともに、その実践に必要な知識と技術を学ぶ。						
学修の到達目標						
①公衆衛生学とは何か。公衆衛生学の内容と適応範囲について理解する。 ②公衆衛生学の必要性についてが理解する。 ③日本の健康の現状を知り、公衆衛生学が時代とともに変化、発展していくことを学ぶ。 ④疾病の予防について公衆衛生学の面から考える。 ⑤環境問題について環境衛生学の立場から理解を深める。 ⑥健康増進活動の実態と効果について公衆衛生学的な視野からの考え方を身に付ける。 ⑦公衆衛生学で学んだことを実生活や実務に役立てる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	公衆衛生学概要 公衆衛生学とは 健康とは	①	岸田	講義		授業内容を復習し、配布資料等、最新のデータの意味を理解するようにする。 (120分)
2	我が国の健康レベルの現状(1) 人口、人口動態統計等	① ②	岸田	講義	教科書の該当する箇所を熟読する。 (120分)	授業内容を復習し、配布資料等、最新のデータの意味を理解するようにする。 (120分)
3	我が国の健康レベルの現状(2) 小児高齢化、平均寿命、健康寿命	② ③	岸田	講義	教科書の該当する箇所を熟読する。 (120分)	授業内容を復習し、配布資料等、最新のデータの意味を理解するようにする。 (120分)
4	疾病の原因を探る 疫学(1) 疫学の基礎、手法、疾病予防と疫学	② ③ ④	岸田	講義	教科書の該当する箇所を熟読する。 (120分)	授業内容を復習し、配布資料等、最新のデータの意味を理解するようにする。 (120分)
5	疫学(2) 感染症の疫学とその予防対策	② ③ ④	岸田	講義	教科書の該当する箇所を熟読する。 (120分)	授業内容を復習し、配布資料等、最新のデータの意味を理解するようにする。 (120分)
6	環境と人 大気、水、環境汚染、食環境など、環境と健康の関り	⑤ ⑥	岸田	講義	教科書の該当する箇所を熟読する。 (120分)	授業内容を復習し、配布資料等、最新のデータの意味を理解するようにする。 (120分)
7	健康管理・健康増進活動の展開	④ ⑥ ⑦	岸田	講義	教科書の該当する箇所を熟読する。 (120分)	授業内容を復習し、配布資料等、最新のデータの意味を理解するようにする。 (120分)
8	社会保障のシステム 社会保障、社会福祉、医療制度 社会を支える各制度について	③ ④ ⑦	岸田	講義	教科書の該当する箇所を熟読する。 (120分)	授業内容を復習し、配布資料等、最新のデータの意味を理解するようにする。 (120分)
	定期試験(筆記)					

評価基準・評価方法	
<p>評価基準：公衆衛生学に関する基礎知識、理解度及び公衆衛生的思考法の確立の度合いを評価する 評価方法：筆記試験ならびに課題(小テストまたはレポート)による。割合はそれぞれ90%,10%</p>	
使用教科書	
イラスト公衆衛生学 / 石川哲也.--第6版--東京教学社, 2023年, 978-4-808-26089-7	
参考図書	
国民衛生の動向 2025/2026 雑誌コード03854-08 厚生指針 8月号増刊(厚生労働統計協会)、その他随時紹介する。	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	授業中に提出を求める小テストやレポートに関して、授業の最後に理解しているか回答やレポートの論点を確認する。
実務経験をいかした教育内容	大学での衛生、公衆衛生研究に加えて、長年の衛生行政の関わりから 保健衛生統計、地域保健活動、健康増進計画の企画立案及び調査など、現場における公衆衛生全般の経験をいかし、授業を進めていく。
備考	

授業科目名		担当教員				
画像診断学		辻 圭一・河合克尚・大場かおり・石田裕保・藤橋雄一郎 (代表教員 辻 圭一)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	3年 後学期	1単位(30時間)	講義	PAR802		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		辻圭一(理学療法士)・河合克尚(理学療法士)・大場かおり(理学療法士)・石田裕保(理学療法士)・藤橋雄一郎(理学療法士)				
授業概要						
理学療法の評価において、画像から症状を推論することは重要である。評価に用いられる画像はレントゲン写真、CT、MRI、MRAなどである。これらの患者情報を元に、治療に必要な検査や症状の予後予測が可能となる。本講義では、画像を読み取り、患者の状態を把握できる力を養う。						
学修の到達目標						
①画像の種類を知り、特性を理解できる ②疾病ごとの画像の特徴を覚えらるる ③画像を元に症状を把握できる						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	中枢神経画像の種類と特徴 (CT、SPECT)	①	藤橋	講義	教科書の第1章を確認しておくこと。(30分)	画像の種類やその特徴について復習すること。(30分)
2	中枢神経画像の種類と特徴 (MRI)	①	藤橋	講義	教科書の第1章を確認しておくこと。(30分)	画像の種類やその特徴について復習すること。(30分)
3	健常者の脳画像 (CT、MRI)	① ②	藤橋	講義	脳解剖を確認しておくこと。(30分)	脳解剖と健常者脳画像について復習すること。(30分)
4	中枢神経疾患の脳画像 脳卒中(脳出血 脳梗塞 クモ膜下出血)*正常との違い、疾患ごとの画像の特徴	① ②	大場	講義	教科書の該当の章を確認しておくこと。(30分)	講義で扱った疾患の画像の特徴や病巣の位置を復習すること。(30分)
5	中枢神経疾患の脳画像 頭部外傷・変性疾患*正常との違い、疾患ごとの画像の特徴	① ②	大場	講義	教科書の該当の章を確認しておくこと。(30分)	講義で扱った疾患の画像の特徴や病巣の位置を復習すること。(30分)
6	脳画像と症状の関係について：画像から病巣を推定し症状について考える。	③	大場	講義	教科書の該当の章を確認しておくこと。(30分)	診断名、画像の特徴、症状の特徴について復習すること。(30分)
7	X線の基礎知識と正常の脊椎	①	辻	講義	教科書の該当の章を確認しておくこと。(30分)	講義で扱った名称や数値を覚えること。(30分)
8	脊椎疾患	② ③	辻	講義	教科書の該当の章を確認しておくこと。(30分)	講義で扱った名称や数値を覚えること。(30分)
9	上肢疾患	② ③	辻	講義	教科書の該当の章を確認しておくこと。(30分)	講義で扱った名称や数値を覚えること。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	下肢疾患（股関節、大腿）	② ③	石田	講義	教科書の該当の章を確認しておくこと。 (30分)	講義で扱った名称や数値を覚えること。 (30分)
11	下肢疾患（下腿、足関節）	② ③	石田	講義	教科書の該当の章を確認しておくこと。 (30分)	講義で扱った名称や数値を覚えること。 (30分)
12	関節リウマチと骨腫瘍	② ③	石田	講義	教科書の該当の章を確認しておくこと。 (30分)	講義で扱った名称や数値を覚えること。 (30分)
13	胸部X線・胸部CTの診かた	①	河合	講義	教科書の第1章に目を通しておくこと (30分)	授業内容の復習をすること (30分)
14	呼吸器疾患（COPD、肺炎、肺がん）	② ③	河合	講義	教科書の第5章に目を通しておくこと (30分)	授業内容の復習をすること (30分)
15	循環器疾患（心不全、肺水腫、胸水）	② ③	河合	講義	教科書の第5章に目を通しておくこと (30分)	授業内容の復習をすること (30分)
	期末試験					
評価基準・評価方法						
期末試験；各教員より20%づつの配点で合計100%になります。各教員の講義をとりこぼさないようにしましょう。						
使用教科書						
PT・OTのための画像のみかた（第2版） / 山下敏彦・下濱俊.--金原出版株式会社, 978-4-307-75057-8						
参考図書						
適宜紹介する						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	期末試験の方式、準備の方法、試験範囲については担当教員ごとに連絡します。					
実務経験をいかした教育内容	臨床経験豊富な教員が、レントゲンをはじめ各画像の診かたや、疾病の特性について教授します。					
備考	幅広い知識を求める講義ですので、個人的に必要と思われる他科目の教科書も持参するようにしてください。					

授業科目名		担当教員				
リハビリテーション栄養学		久保和弘				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	1単位(15時間)	講義	PAR103		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。						
授業概要						
<p>栄養素は身体のエネルギー源であると同時に、身体の構成要素である。栄養状態は過剰でも不足でも心身機能に大きな影響を及ぼすため、リハビリテーションに求められる全人的な評価の一つの要素として患者の状態を正しく評価することが求められている。本科目では、各栄養素の基本的な性質や働き、基本的な栄養評価方法を理解するとともに、身体における栄養の役割を学習し、医療者に求められる栄養学の基礎を構築することを目標とする。</p>						
学修の到達目標						
<p>各栄養素の基本的な性質や働きについて学び、リハビリテーションにおける栄養学の必要性について説明できる。 ①各栄養素の性質や働きを説明することができる ②基本的な栄養・代謝障害について説明できる ③基本的な栄養評価方法を説明できる ④栄養不良や過栄養の身体への影響を説明できる</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	リハビリテーションにおける栄養の重要性・概念	① ② ③ ④	久保	講義	資料及び教科書該当ページに目を通す。(120分)	各回授業後にその内容を説明できるようにまとめる。(120分)
2	糖質・食物繊維の栄養的意味を理解する	① ② ③ ④	久保	講義	資料及び教科書該当ページに目を通す。(120分)	各回授業後にその内容を説明できるようにまとめる。(120分)
3	たんぱく質・アミノ酸の栄養的意味を理解する	① ② ③ ④	久保	講義	資料及び教科書該当ページに目を通す。(120分)	各回授業後にその内容を説明できるようにまとめる。(120分)
4	脂質・脂肪酸の栄養的意味を理解する	① ② ③ ④	久保	講義	資料及び教科書該当ページに目を通す。(120分)	各回授業後にその内容を説明できるようにまとめる。(120分)
5	ビタミンの栄養的意味を理解する	① ② ③ ④	久保	講義	資料及び教科書該当ページに目を通す。(120分)	各回授業後にその内容を説明できるようにまとめる。(120分)
6	ミネラル・水分の栄養的意味を理解する	① ② ③ ④	久保	講義	資料及び教科書該当ページに目を通す。(120分)	各回授業後にその内容を説明できるようにまとめる。(120分)
7	基本的な栄養評価方法を理解する	① ② ③ ④	久保	講義	資料及び教科書該当ページに目を通す。(120分)	各回授業後にその内容を説明できるようにまとめる。(120分)
8	身体活動・エネルギーの栄養的意味を理解する	① ② ③ ④	久保	講義	資料及び教科書該当ページに目を通す。(120分)	各回授業後にその内容を説明できるようにまとめる。(120分)
	定期試験(筆記)					

評価基準・評価方法	
定期試験（100％）により評価する。	
使用教科書	
リハベリック 生化学・栄養学 / 内山靖、藤井浩美、立石雅子 編.--第2版--医歯薬出版, 2024年, 978-4-263-26756-1	
参考図書	
<p>いずれも閲覧・ダウンロード可</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日本人の食事摂取基準 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/eiyuu/syokuji_kijyun.html ●国民健康・栄養調査 http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kenkou_eiyuu_chousa.html ●日本食品標準成分表 https://www.mext.go.jp/a_menu/syokuhinseibun/index.htm 	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	提出された課題について、適宜、授業中に補足的な解説を行う
実務経験をいかした教育内容	
備考	教科書、プリントを中心に授業をすすめる。

授業科目名		担当教員				
薬理学		大塚智裕				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(15時間)	講義	PAR404		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		大塚智裕(薬剤師)				
授業概要						
薬物による人間の反応や作用機序の理解、投与方法、体内動態に関する基本的事項を理解した上で、対象疾患に関連した薬物療法の考え方について学ぶ。あわせて、薬物の副作用やその多剤服用(ポリファーマシー)症状についても学ぶ。これらを理解することにより、臨床講義や実習で必要とされる薬物治療の基礎を習得できることを目指す。各授業の最初には、前回の授業内容を復習する時間(質問形式)を設ける。各授業の最後には、その日の授業のまとめを行い、重要なポイントを確認する。						
学修の到達目標						
①薬物の使用目的や薬物の作用機序、体内動態について理解できる。 ②薬物の取扱い、投与方法、副作用について理解できる。 ③各種疾患に対する薬物療法について理解できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	薬理学総論	①	大塚	講義	指定教科書の該当ページに目を通す。(60分)	授業の内容について説明できるようにまとめる。教科書にある設問を解いてみる。(60分)
2	薬理学各論 抗感染症薬	① ②	大塚	講義	指定教科書の該当ページに目を通す。(90分)	授業の内容について説明できるようにまとめる。教科書にある設問を解いてみる。(150分)
3	薬理学各論 抗がん薬	① ② ③	大塚	講義	指定教科書の該当ページに目を通す。(90分)	授業の内容について説明できるようにまとめる。教科書にある設問を解いてみる。(150分)
4	薬理学各論 免疫治療薬・抗アレルギー薬・抗炎症薬	① ② ③	大塚	講義	指定教科書の該当ページに目を通す。(90分)	授業の内容について説明できるようにまとめる。教科書にある設問を解いてみる。(150分)
5	薬理学各論 末梢神経に作用する薬物	① ② ③	大塚	講義	指定教科書の該当ページに目を通す。(90分)	授業の内容について説明できるようにまとめる。教科書にある設問を解いてみる。(150分)
6	薬理学各論 中枢神経に作用する薬物	① ② ③	大塚	講義	指定教科書の該当ページに目を通す。(90分)	授業の内容について説明できるようにまとめる。教科書にある設問を解いてみる。(150分)
7	薬理学各論 心臓・血管系に作用する薬物	① ② ③	大塚	講義	指定教科書の該当ページに目を通す。(90分)	授業の内容について説明できるようにまとめる。教科書にある設問を解いてみる。(150分)
8	薬理学各論 呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物	① ② ③	大塚	講義	指定教科書の該当ページに目を通す。(90分)	授業の内容について説明できるようにまとめる。教科書にある設問を解いてみる。(150分)
	定期試験(筆記)					

評価基準・評価方法	
<p>期末試験の成績（100％）及び授業態度等を総合的に判断して評価する。</p>	
使用教科書	
<p>系統看護学講座専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進〔3〕薬理学 / 吉岡充弘ほか. --第15版--医学書院, 2022年, 978-4-260-04716-6</p>	
参考図書	
<p>はじめの一步の薬理学 第2版 / 石井邦雄、坂本謙司編. 羊土社, 2021年, ISBN978-4-7581-2094-4 リハに役立つ治療薬の知識とリスク管理 / 宮越浩一編. 羊土社, 2019年, ISBN978-4-7581-0243-8</p>	
<p>課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法</p>	<p>試験内容や勉強法は授業にて説明します。</p>
<p>実務経験をいかした教育内容</p>	<p>薬理研究の職務経験から、臨床で使用される薬剤の薬理作用の分子基盤を理解する上で必要な知識と思考力が身につけられるよう授業を展開します。</p>
<p>備考</p>	<p>質問は授業中及び授業の終わりに常時受け付けます。また、電子メールでの質問に随時対応します。 電子メールアドレス：otsuka-to@gifu-pu.ac.jp</p>

授業科目名		担当教員				
医療安全管理論		三品弘司・出口陸雄・林 宗典・三輪陽子 (代表教員 三品弘司)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	講義・演習	PAR205		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		三品弘司(看護師・保健師)、出口陸雄(看護師)、林宗典(看護師)、三輪陽子(看護師)				
授業概要						
医療の質と安全の確保は、患者、医療従事者をはじめとする多くの国民が願っていることである。近年、医療の安全確保に対する人々の関心が高くなり、医療安全は医療界の最優先課題となっている。理学療法の主要な業務である治療や指導及び援助は、障がいのある対象が主体的な生活の獲得の為に重要である一方、医療事故を起こすリスクを持ちながらの業務でもある。理学療法士にとって、医療安全や医療事故防止について修得することは必須である。まず医療安全管理を学ぶ意義を理解し、そのうえで人間がおこすエラーについての理解し、理学療法と医療事故との関連を学び、国、組織、個人における医療事故防止対策について学ぶ。医療事故やインシデントの分析手法を理解し、理学療法におけるKYTを行うことで、医療事故防止の感性を養う。また、多くの理学療法に関連した医療事故やインシデントを知ることで、臨場感のある医療事故防止について学ぶ。また、感染防止対策も医療事故防止の一つとして学ぶ。						
学修の到達目標						
知識：①医療安全の基本的考え方と医療事故防止について述べるができる。 技術：②医療事故の分析手法やKYTを活用し、安全について考察することができる。 態度：③医療安全に興味を持ち、積極的に演習に取り組むことができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	医療事故と医療安全の定義	① ②	三品	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること(60分)
2	日本の医療安全対策	① ②	三品	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること(60分)
3	組織的な安全管理体制	① ②	三品	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること(60分)
4	法的責任と賠償責任 実際に起こっている医療事故	① ②	三品	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること(60分)
5	リスクの種類による医療安全対策 (患者誤認・薬剤関連・転倒など)	① ②	三品	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること(60分)
6	ヒューマンエラーについて	① ②	三品	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること(60分)
7	多職種連携と安全管理 事故要因分析	① ②	三輪	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること(60分)
8	医療現場におけるマネジメントの実践	① ②	林	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること(60分)
9	医療安全とコミュニケーション	① ②	出口	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること(60分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	多職種連携	① ②	三品	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること (60分)
11	KYTについて	② ③	三品	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること (60分)
12	医療安全-演習①	② ③	三品	講義 演習		KYTをまとめる (60分)
13	医療安全-演習②	② ③	三品	講義 演習		KYTをまとめる (60分)
14	医療安全-演習③	② ③	三品	講義 演習		KYTをまとめる (60分)
15	医療安全-演習④	② ③	三品	講義 演習		KYTをまとめる (60分)
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
提出レポート (20%)、履修態度 (10%)、筆記試験 (70%) での総合評価						
使用教科書						
なし						
参考図書						
系統看護学講座 総合分野 医療安全 (医学書院) 医療安全とリスクマネジメント (ヌーヴェルヒロカワ)						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	レポートは、次回講義にて返却します。 質問等は、講義中や講義後にするようにしてください。					
実務経験をいかした教育内容	看護学科の教員がその実務経験を活かし、医療安全に必要な知識および技術を体験的に学修する授業を行うことで、受講学生は既知の危険要因とその対策に関する基礎的知識および未知の危険要因とそれが引き起こす事故を予測する力を身に付けることができる。					
備考	教科書は特別使用しないが、必要時書籍紹介する。授業は毎回、パワーポイント使用して進める。関連する教科と結び付けて学習し、単に知識に止まらず実践的能力として身につけてほしい。よって、積極的に学び取る姿勢で臨んでほしい。グループワークなどの演習も取り入れ出来るだけ参加型授業形態をとる。					

授業科目名		担当教員				
保健医療論		加藤清人				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	1単位(15時間)	講義	PCH101		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		加藤清人(作業療法士)				
授業概要						
この授業では、保健医療の全体像とリハビリテーション医療における理学(作業)療法の役割について学修する。保健医療サービスの提供体制、法的根拠、倫理的側面、政策課題など、理学(作業)療法士として関連の深い分野を中心に履修する。保健医療の歴史の変遷と現代の体制、病院や診療所などの医療機関に加え、保健所や市町村が実施する地域保健活動などの理解を深める。また、リハビリテーション医療における理学(作業)療法の位置づけや、他職種と連携する重要性について学ぶ。さらに、医療安全や感染対策、医療の質向上への取り組みについても触れ、将来の実践に活かせる知識を身につける。生命倫理や医療倫理の基本原則、インフォームド・コンセントの重要性なども学修する。少子高齢化の進展や地域包括ケアシステムなど、保健医療をめぐる政策課題についても理解を深める。						
学修の到達目標						
①保健医療の概念と体制、関連する法制度を説明できる。 ②リハビリテーション医療における理学療法の役割と重要性を説明できる。 ③保健所や市町村が実施する地域保健活動などの概要と意義を説明できる。 ④医療安全や医療の質向上への取り組みについて自己の考えを説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	イントロダクションと保健医療の概念と歴史	①	加藤	講義	予防医学に関して考えておく(120分)	講義内容の概要と自身の見解をまとめる(120分)
2	高齢社会と健康寿命の延伸	①	加藤	講義	高齢社会について調べておく(120分)	講義内容の概要と自身の見解をまとめる(120分)
3	日本の社会保障制度におけるリハビリテーションの位置づけ	① ②	加藤	講義	配布した資料を事前に目を通す(120分)	講義内容の概要と自身の見解をまとめる(120分)
4	地域医療の重要性(1)	② ③	加藤	講義	配布した資料を事前に目を通す(120分)	講義内容の概要と自身の見解をまとめる(120分)
5	地域医療の重要性(2)	② ③	加藤	講義	配布した資料を事前に目を通す(120分)	講義内容の概要と自身の見解をまとめる(120分)
6	予防的アプローチ	② ③	加藤	講義	配布した資料を事前に目を通す(120分)	講義内容の概要と自身の見解をまとめる(120分)
7	医療安全、感染対策、リスクマネジメント	④	加藤	講義	配布した資料を事前に目を通す(120分)	講義内容の概要と自身の見解をまとめる(120分)
8	医療倫理とリハビリテーション	④	加藤	講義	配布した資料を事前に目を通す(120分)	講義内容の概要と自身の見解をまとめる(120分)
	定期試験(筆記)					

評価基準・評価方法	
定期試験（100％）により評価する。	
使用教科書	
教科書は使用しない。	
参考図書	
シラバスに掲げている関係事項に関する資料を活用する。	
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	最終講義日に全体にむけてフィードバックを行う。
実務経験をいかした教育内容	保健・医療・福祉分野の多岐にわたる臨床経験（10年）ならびに地域における生活支援に関する介護予防分野の研究（13年）から保健医療に求められるリハビリテーション職の役割や今後の期待について触れながら授業を展開していく。
備考	毎回、授業開始時に資料を配布する。 主体的に取り組むこと。 質問は随時受け付ける。

授業科目名		担当教員				
社会福祉学		竹内章郎				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(15時間)	講義	PCH202		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。						
授業概要						
現在、社会福祉を含む社会保障全体が、大きな転換点にある。それは、社会保障を支える福祉国家体制それ自体の「危機」という大きな問題からくるものであるが、同時に、社会保障の基盤である社会権（法）の基本的理解の問題や資本主義市場と社会保障との関係などにも及ぶ問題から生じていることもある。この講義ではそうした大きな問題を、社会福祉の現場実践と関係づけて捉えることを通じて、社会福祉・社会保障の本質を解明したい。事前学習については、毎回、次回講義のための事前学習の範囲を指定する。						
学修の到達目標						
①社会福祉を含む社会保障の現実を、その基礎に立ち返って理解する。 ②大きな制度的問題と社会福祉実践の現実とを結び付けて理解する。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	ガイダンス（全体の進行について）、社会福祉と社会保障との関連について（善き生存としての福祉を中心に）、翻訳の問題など	①	竹内	講義	既配布の資料全体に目を通しておく（120分）	左記の講義内容とこれに関わる資料の再読（120分）
2	日本の社会保障・社会福祉の基礎：憲法25条（13条との関連）：プログラム規定・義務規定/行政裁量の理解、措置と契約、福祉の民営化・市場化など	②	竹内	講義	予め指定する左記の内容に関わる範囲の資料の熟読（120分）	講義内容とこれに関わる左記の範囲資料の再読（120分）
3	権利としての社会保障（1）：権利理解の初発、市民権と社会権との相違、私的所有と市民権、社会保障の権利としての社会権など	②	竹内	講義	予め指定する左記の内容に関わる範囲の資料の熟読（120分）	講義内容とこれに関わる左記の範囲資料の再読（120分）
4	権利としての社会保障（2）：社会権の基礎、憲法14条との関連、社会権実現のための市民権の一定の制限など	①	竹内	講義	予め指定する左記の内容に関わる範囲の資料の熟読（120分）	講義内容とこれに関わる左記の範囲資料の再読（120分）
5	優生思想・優生学と社会保障・社会福祉との関連：社会保障制度の中に優生思想、社会福祉創始達の優生思想など	①	竹内	講義	予め指定する左記の内容に関わる範囲の資料の熟読（120分）	講義内容とこれに関わる左記の範囲資料の再読（120分）
6	貧困問題の大きさと生活保護制度、社会保障・社会福祉の財源問題	②	竹内	講義	予め指定する左記の内容に関わる範囲の資料の熟読（120分）	講義内容とこれに関わる左記の範囲資料の再読（120分）
7	障がい者福祉（障害者総合支援法を中心に、障害者差別解消法等との関連させて）、社会福祉事業法の「改正」としての社会福祉法	②	竹内	講義	予め指定する左記の内容に関わる範囲の資料の熟読（120分）	講義内容とこれに関わる左記の範囲資料の再読（120分）
8	高齢者「福祉」（公的介護保険法を中心に、老人福祉法及び高齢者雇用促進法などとも関連させて）	②	竹内	講義	予め指定する左記の内容に関わる範囲の資料の熟読（120分）	講義内容とこれに関わる左記の範囲資料の再読（120分）

評価基準・評価方法	
最終のレポートによって評価する。講義内容の正確な理解に加えて、内容を表現する文章力も評価の対象とする。	
使用教科書	
教科書は使用せず、竹内が作成したレジюме及び資料にそって講義を行う。	
参考図書	
必要に応じて、講義中に紹介する。	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	講義中に、適宜、質疑応答を行う。
実務経験をいかした教育内容	
備考	資料及びレジюмеは、すべて、最初の講義時に配布する。

授業科目名		担当教員				
数理データサイエンス		古松山建吾・福岡大輔 (代表教員 古松山建吾)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(15時間)	講義・演習	PCH404		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		古松山建吾 (作業療法士)				
授業概要						
PCの使用が必須です。Excelをベースにして動く統計ソフトウェアHADを使用して、実際のデータを使い、基礎的な統計解析を学びます。リハビリテーション分野、社会心理学分野で扱われることの多い基礎的な分析手法を学びます。						
学修の到達目標						
①統計ソフトを使用して実際のデータを読み込ませて、記述統計(平均値、標準偏差、中央値)を行うことが出来るようになる。 ②統計ソフトを使用してt検定、相関分析、クラスター分析を出来るようになる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	データ読み込み及び記述統計(1)	① ②	古松山	演習	事前配布資料、教科書の精読(120分)	講義で学んだデータ分析の復習(120分)
2	データ読み込み及び記述統計(2)	① ②	古松山	演習	事前配布資料、教科書の精読(120分)	講義で学んだデータ分析の復習(120分)
3	データ分析(t検定、相関分析)	① ②	古松山	演習	事前配布資料、教科書の精読(120分)	講義で学んだデータ分析の復習(120分)
4	データ分析(クラスター分析)	① ②	古松山	演習	事前配布資料、教科書の精読(120分)	講義で学んだデータ分析の復習(120分)
5	統計的仮設検定について①	① ②	福岡	講義	事前配布資料、教科書の精読(120分)	講義で学んだデータ分析の復習(120分)
6	統計的仮設検定について②	① ②	福岡	演習	事前配布資料、教科書の精読(120分)	講義で学んだデータ分析の復習(120分)
7	主要な検定と選択方法について①	① ②	福岡	講義	事前配布資料、教科書の精読(120分)	講義で学んだデータ分析の復習(120分)
8	主要な検定と選択方法について②	① ②	福岡	演習	事前配布資料、教科書の精読(120分)	講義で学んだデータ分析の復習(120分)

評価基準・評価方法	
レポート課題で評価します。	
使用教科書	
フリー統計分析ツールHADのトリセツ：心理学データの分析から結果のまとめ方まで / 横田 晋大 . --ナカニシヤ出版, 9784779518409	
参考図書	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	演習中にフィードバックを行います。
実務経験をいかした教育内容	臨床経験10年以上の教員が、それぞれの分野で求められる作業療法士の視点より研究及び分析する教育を行う。
備考	インターネットに接続の出来るPCが必須となります。

授業科目名		担当教員				
多職種連携演習 (IPE)		田島嘉人・亀山咲子・他 (代表教員 田島嘉人)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 後学期	2単位(30時間)	講義・演習	PCH503		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		田島嘉人(理学療法士)、亀山咲子(理学療法士)				
授業概要						
<p>地域包括ケアを実践する上で、医学的な視点のみならず、対象者の心理的・社会的な視点にも配慮した医療が求められる中でチーム医療は必須の手段であり、より良いサービスを実践するためには多職種との有機的な連携と協業は欠かせない。この授業では、専門職間の有機的な連携と協業についての基礎知識や理論、連携のためのマネジメントの実際についてそれぞれの専門的な立場から考察し、多職種連携が果たす役割や機能について学ぶ。また、学科専攻を越えたグループワーク演習を通じて、コミュニケーションやディスカッションの実践力を身につける。</p>						
学修の到達目標						
<p>①多職種連携の意義について説明できる。 ②他の職種の役割を説明できる。 ③保健・医療・福祉における多職種連携の在り方を具体的に説明できる。 ④様々な職種の人々との共同を通して、保健・医療・福祉の諸課題に対処できる。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション 多職種連携とは	①	田島 亀山	講義	配布資料にて事前学習(120分)	配布資料にてレポート(120分)
2	多職種連携の意義 医療・福祉の中での理学療法士の役割 チームビルディング	① ②	田島 亀山	講義	配布資料にて事前学習(120分)	配布資料にてレポート(120分)
3	多職種の役割を知る(1)	②	医療 職教員	講義	配布資料にて事前学習(120分)	今回学んだ職種について自己学習(120分)
4	多職種の役割を知る(2)	②	医療 職教員	講義	配布資料にて事前学習(120分)	今回学んだ職種について自己学習(120分)
5	多職種の役割を知る(3)	②	医療 職教員	講義	配布資料にて事前学習(120分)	今回学んだ職種について自己学習(120分)
6	多職種の役割を知る(4)	②	医療 職教員	講義	配布資料にて事前学習(120分)	今回学んだ職種について自己学習(120分)
7	多職種の役割を知る(5)	②	医療 職教員	講義	配布資料にて事前学習(120分)	今回学んだ職種について自己学習(120分)
8	多職種の役割を知る(6)	②	医療 職教員	講義	配布資料にて事前学習(120分)	今回学んだ職種について自己学習(120分)
9	多職種の役割を知る(7)	②	医療 職教員	講義	配布資料にて事前学習(120分)	今回学んだ職種について自己学習(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	多職種連携演習 (1)	③ ④	田島 亀山	演習	配布資料にて事前学習 (120分)	配布資料にてレポート (120分)
11	多職種連携演習 (2)	③ ④	田島 亀山	演習	配布資料にて事前学習 (120分)	配布資料にてレポート (120分)
12	多職種連携演習 (3)	③ ④	田島 亀山	演習	配布資料にて事前学習 (120分)	配布資料にてレポート (120分)
13	多職種連携演習 (4)	③ ④	田島 亀山	演習	配布資料にて事前学習 (120分)	配布資料にてレポート (120分)
14	多職種連携演習 (5)	③ ④	田島 亀山	演習	配布資料にて事前学習 (120分)	配布資料にてレポート (120分)
15	多職種連携で必要とされる知識・技術の整理	③ ④	田島 亀山	演習	配布資料にて事前学習 (120分)	配布資料にてレポート (120分)
	課題					
評価基準・評価方法						
グループディスカッション参加度 (50%)、レポート (期限提出) (50%)						
使用教科書						
参考図書						
配布資料						
	課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	各講義の講義終了時に全体に向けてフィードバックを行う。				
	実務経験をいかした教育内容	各教員の整形外科病院、総合病院、訪問リハ、デイサービスにおける理学療法の経験から、他職種連携の実際とその効果について講義を行う。				
	備考					

授業科目名		担当教員				
理学療法総論		藤橋雄一郎				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義	PBP101		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		藤橋雄一郎(理学療法士)				
授業概要						
この講義では、理学療法関連の歴史や法律を学び、理学療法士の業務や役割、理学療法の考え方や対象者の生活の捉え方について学びます。講義を通じて、理学療法に関する理解が深まるとともに、理学療法士を目指す動機やが更に高まることを期待します。講義内では、グループワークを実施することがあります。自身の意見を述べるがあります。自身の考えをまとめ、伝えるように準備しましょう。						
学修の到達目標						
①理学療法士の業務や役割りを説明できる ②理学療法士の職域を説明できる ③リハビリテーション関連職種について説明できる ④自身の目指す理学療法士像を述べるができる ⑤疾病と障害分類について説明できる						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	これから学ぶ理学療法とは	④	藤橋	講義	今までの経験(学生生活・部活動など)を振り返り、苦労や成功体験を述べるができるよう準備しましょう(30分)。	目指す理学療法士像について再考しましょう(30分)。
2	理学療法士に求められる要素	① ③	藤橋	講義	理学療法士を目指す理由が述べられるよう準備しましょう(30分)	3年間の大学生活で身につけたい社会性・態度・知識を獲得するために、「何をする必要があるのか」を考えましょう。また、獲得するために必要な行動について再考しましょう(30分)。
3	リハビリテーション、理学療法の歴史	②	藤橋	講義	教科書第1章1, 2を読みましょう(20分)。	理学療法の歴史、Nomalization、Independent Livingの説明ができるよう復習しましょう(40分)。
4	理学療法士法および作業療法士法、理学療法士の職域	① ②	藤橋	講義	教科書第1章3, 4及びP.194-200を読みましょう(30分)。	理学療法士法の内容が説明できるよう復習しましょう(30分)。
5	理学療法士の職能団体	① ② ③	藤橋	講義	教科書第1章5を読みましょう(20分)。	日本理学療法士協会、理学療法士の協同職種について再確認しましょう(40分)。
6	理学療法士の卒前・卒後教育	① ②	藤橋	講義	教科書第1章6を読みましょう(20分)。	理学療法士養成に係る科目、免許取得後の生涯学習について再確認しましょう(40分)。
7	世界の理学療法	① ②	藤橋	講義	教科書第2章を読み、我が国とその他の国における理学療法士養成の違いや、混合診療や理学療法士の起業について、自身の意見を述べられるようにしましょう(30分)。	本邦と世界各国の理学療法養成課程の違いについて説明できるよう確認しましょう(30分)。
8	疾病と障害の分類(ICD、ICIDH、ICF)	⑤	藤橋	講義	教科書第3章を読み不明な語句を調べましょう(30分)。	ICIDHとICFの違いについて説明できるよう復習しましょう(30分)。
9	理学療法対象疾患について	① ②	藤橋	講義	脳血管障害、大腿骨頸部骨折について疾患の特徴を調べましょう(30分)。	脳血管障害、大腿骨頸部骨折の症状をまとめ、理解を深めましょう(30分)。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	理学療法の分野について	① ②	藤橋	講義	内部障害理学療法、地域理学療法、スポーツ理学療法について調べましょう (30分)。	理学療法の分野が説明できるよう復習しましょう (30分)。
11	理学療法に必要な対象者評価について	① ②	藤橋	講義	教科書第4章1を読み、不明な語句を調べましょう (30分)。	対象者評価の手順が説明できるよう復習しましょう (30)。
12	理学療法における治療	① ②	藤橋	講義	教科書第4章2を読み不明な語句を調べましょう (30分)。	運動療法と物理療法が説明できるよう復習しましょう (30分)。
13	義肢装具・福祉用具の活用	① ②	藤橋	講義	どんな種類の義肢装具・福祉用具があるのか調べてみましょう (30分)。	義肢装具・福祉用具の特徴をまとめ理解を深めましょう (30分)。
14	医療保険制度と介護保険制度	① ②	藤橋	講義	教科書P.37-38を読みましょう。またインターネットを用い、2つの制度の概要について調べましょう (20分)。	医療保険制度と介護保険制度の概要が説明できるように復習しましょう (40分)。
15	当事者 (頸髄損傷者) から学ぶ	① ② ⑤	藤橋	講義	頸髄損傷について、その特徴などを調べましょう。また、疑問点は当事者に質問できるように準備しましょう (20分)。	当事者の話を聞き、課題レポートを完成させましょう (40分)。
	期末試験					
評価基準・評価方法						
定期試験 (70~80%)、課題レポート (20~30%) にて判定します。						
使用教科書						
PT・OTビジュアルテキスト 理学療法概論 第2版 / 庄本康治--羊土社, 978-4-7581-1439-4 必要に応じて、追加資料を配布します。 自身の意見を発表する機会があります。相手に自身の考えが伝えられるよう発表準備をして講義に臨んでください。						
参考図書						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	課題レポートは必要に応じ講義内で紹介します。					
実務経験をいかした教育内容	回復期リハビリテーション病棟、ホスピス病、パラスポーツチーム帯同等の経験から理学療法士として必要な知識、技術、態度が身につけられるよう展開していく。また、理学療法を受けた当事者をゲスト講師とし招聘し体験談等を聴講する機会を提供する。					
備考	質問等は来室等で随時受け付けます。					

授業科目名		担当教員				
運動療法総論		長谷部武久				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	講義・演習	PBP202		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		長谷部武久(理学療法士)				
授業概要						
1学年前期科目「理学療法総論」や1学年後期科目「リハビリテーション医学」で修得した知識や考え方にに基づき、身体に障害を持つ人に対する運動療法、その理論的背景や障害の原因である各種の病態とその具体的治療について学ぶ。この授業は2学年の専門科目、特に「脳・神経機能障害学」「骨・関節機能障害学」「内部機能障害学」の基礎となる重要科目である。						
学修の到達目標						
①理学療法の対象である障害について説明できる ②運動生理学の見地から、運動療法の理論的背景について説明できる ③症例を通じて、理学療法・運動療法の具体的内容を説明できる						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	運動療法の対象 (障害について)	①	長谷部	講義	シラバスを確認すること(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
2	随意運動を可能にするシステム (機能障害 拘縮・筋力低下・麻痺・運動耐容能低下)	① ②	長谷部	講義	配布資料に目を通すこと(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
3	運動機能障害の原因疾患	①	長谷部	演習	配布資料に目を通すこと(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
4	運動機能障害の原因疾患と廃用症候群 (その具体的障害像)	① ②	長谷部	講義	配布資料に目を通すこと(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
5	運動機能障害の回復過程 (リハビリテーション医療の過程と運動療法の目的・手段)	① ③	長谷部	講義	配布資料に目を通すこと(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
6	エネルギー代謝 (特に運動に必要なATPとその生成方法)	②	長谷部	講義	配布資料に目を通すこと(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
7	運動の分類化 (有酸素運動と無酸素運動・筋の収縮様式と種類)	②	長谷部	講義	配布資料に目を通すこと(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
8	運動強度と酸素摂取量① (代謝当量)	②	長谷部	講義	配布資料に目を通すこと(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
9	運動強度と酸素摂取量② (効果的な運動負荷)	②	長谷部	講義	配布資料に目を通すこと(30分)	授業内容の復習をすること(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	身体に対する運動療法の効果	① ②	長谷部	講義	配布資料に目を通すこと (30分)	授業内容の復習をすること (30分)
11	トレーニングの原理・原則と運動療法のリスク管理	① ②	長谷部	講義	トレーニングの原理・原則について調べること (30分)	授業内容の復習をすること (30分)
12	運動処方箋の作成手順と考え方	① ② ③	長谷部	講義	配布資料に目を通すこと (30分)	授業内容の復習をすること (30分)
13	理学療法の流れと臨床思考	① ② ③	長谷部	講義	配布資料に目を通すこと (30分)	授業内容の復習をすること (30分)
14	下肢の運動器疾患に対する理学療法①	① ② ③	長谷部	演習	配布資料に目を通すこと (30分)	課題に取り組むこと (30分)
15	下肢の運動器疾患に対する理学療法②	① ② ③	長谷部	演習	課題に取り組むこと (30分)	運動療法の具体的進め方について復習すること (30分)
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
定期試験 (90%) 小テスト (10%)						
使用教科書						
資料を配布する						
参考図書						
基礎運動学 第6版 医歯薬出版 パワーズ運動生理学 メディカル・サイエンス・インターナショナル 運動療法学 総論 第5版 医学書院						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	小テストの正答と結果は、終了直後に即時提示する					
実務経験をいかした教育内容	この授業では、総合病院や訪問リハビリテーションにて30年間にわたりリハビリテーション (理学療法) に携わってきた職務経験に基づき、運動療法の理論的背景と障害に対する具体的実践に関する講義を行う。					
備考	授業終了後やメールにて質問を受け付ける。 t.hasebe@heisei-iryuu.ac.jp					

授業科目名		担当教員				
理学療法特論		河合克尚・辻 圭一・大場かおり・石田裕保・藤橋雄一郎 (代表教員河合克尚)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	3年 後学期	1単位(30時間)	講義	PBP803		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		河合克尚(理学療法士)・辻圭一(理学療法士)・大場かおり(理学療法士)・石田裕保(理学療法士)・藤橋雄一郎(理学療法士)				
授業概要						
理学療法特論では、専門基礎および専門知識に関する各科目で習得した知識の定着を図り、これらの知識を応用して理学療法と関連付けて考える。そのために、提示された学習課題について、学習内容のプレゼンテーションとグループワークを通して専門基礎および専門知識の理解を深める。						
学修の到達目標						
①基本的理学療法検査および疾患に即した評価について説明できる。②内部障害に対する理学療法を説明できる。③基本的運動療法と物理療法を説明できる。④病気を引き起こす原因と各種病態を説明できる。⑤義肢装具の基礎と疾患に即した義肢装具療法を説明できる。⑥ADL評価と指導、生活環境支援について説明できる。⑦精神障害に対する検査と治療を説明できる。⑧脳・神経障害に対する理学療法を説明できる。⑨介護保険制度や理学療法研究の基礎を説明できる。⑩骨関節障害に対する理学療法を説明できる。⑪小児・発達機能障害に対する理学療法を説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	理学療法評価学	①	河合	講義	理学療法評価について復習しておくこと(30分)	学習課題の復習をすること(30分)
2	内部機能障害学(循環器系)	②	河合	講義	循環器疾患の理学療法について復習しておくこと(30分)	学習課題の復習をすること(30分)
3	内部機能障害学(代謝・呼吸器系)	②	河合	講義	呼吸器疾患、代謝系疾患の理学療法について復習しておくこと(30分)	学習課題の復習をすること(30分)
4	運動療法(基本介入手段)	③	大場	講義	基本的な介入方法について確認しておくこと(30分)	学習課題の復習をすること(30分)
5	物理療法学	③	大場	講義	適応と禁忌、生理学的作用について確認しておくこと(30分)	学習課題の復習をすること(30分)
6	一般臨床医学	④	大場	講義	病理学、老年医学、リハビリテーション医学について確認しておくこと(30分)	学習課題の復習をすること(30分)
7	義肢装具学	⑤	石田	講義	各種義肢装具について学習しておくこと(30分)	学習課題の復習をすること(30分)
8	日常生活動作学、生活環境論	⑥	石田	講義	BIやFIMなど日常生活を評価する検査、車椅子の採寸やスロープなどについて学習しておくこと(30分)	学習課題の復習をすること(30分)
9	精神医学、臨床心理学	⑦	石田	講義	精神疾患や心理療法について学習しておくこと(30分)	学習課題の復習をすること(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	脳・神経機能障害学	⑧	藤橋	講義	脳血管障害および脊髄損傷の理学療法について確認しておくこと (30分)	学習課題の復習をすること (30分)
11	神経筋系障害学	⑧	藤橋	講義	パーキンソン病、多発性硬化症などの理学療法について確認しておくこと (30分)	学習課題の復習をすること (30分)
12	基礎理学療法学	⑨	藤橋	講義	介護保険制度や研究の基礎知識について復習しておくこと (30分)	学習課題の復習をすること (30分)
13	運動機能学	⑩	辻	講義	臨床運動学、運動生理学について復習しておくこと (30分)	学習課題の復習をすること (30分)
14	骨・関節機能障害学	⑩	辻	講義	整形外科疾患について復習しておくこと (30分)	学習課題の復習をすること (30分)
15	発達機能障害学	⑪	辻	講義	正常発達や脳性麻痺について復習しておくこと (30分)	学習課題の復習をすること (30分)
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
評価方法は、定期試験 (90%) と小テスト (10%) から総合的に判断する。						
使用教科書						
毎授業において学習課題を提示する						
参考図書						
適宜紹介する						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	学習課題に対するフィードバック (解説) は授業内に行う。					
実務経験をいかした教育内容	医療機関での職務経験をもとに、理学療法の対象となる様々な疾患に対して、理学療法を実践するための思考力・判断力が身に付けられるように授業を展開していく。					
備考	授業ではグループワークとプレゼンテーションを行います。グループ内で協同して取り組んで下さい。質問等がある場合は、授業中やオフィスアワー等を活用して下さい。					

授業科目名		担当教員				
理学療法研究方法論		長谷部武久・福岡大輔 (代表教員 長谷部武久)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義・演習	PBP404		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		長谷部武久(理学療法士)				
授業概要						
必修科目「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」を見据えて、研究計画の立案及び研究を進める上で必要となる基礎的知識について学ぶ。研究の意義、研究における客観性・信頼性・妥当性の意味、計測値の意味と統計学的重要性、研究倫理などの研究基本概念について理解する。また、研究を行う上で重要である文献検索については、タブレット端末やPCの使用を推奨する。						
学修の到達目標						
①研究を行う意義について述べることができる ②論文・文献を検索することができる ③研究デザインについて述べることができる ④研究の進め方と研究倫理について述べることができる						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション、研究を行う意味や科学的根拠に基づいた医療について	①	長谷部	講義	シラバスを熟読すること(30分)	科学的根拠に基づいた医療を理解すること(30分)
2	論文の種類	① ②	長谷部	講義	配布資料の当該箇所 に目を通すこと (30分)	論文の種類を理解すること(30分)
3	論文・文献検索の方法①	②	長谷部	講義	配布資料の当該箇所 に目を通すこと (30分)	インターネットを用いて論文を検索してみること(30分)
4	論文・文献検索の方法②	②	長谷部	演習	配布資料の当該箇所 に目を通すこと (30分)	興味のある論文を抽出すること(30分)
5	原著論文の構成	② ③ ④	長谷部	講義	配布資料の当該箇所 に目を通すこと (30分)	選択した論文を読んでその構成を理解すること(30分)
6	質の高い論文と科学的根拠に基づく理学療法の実践①	① ③	長谷部	講義	配布資料の当該箇所 に目を通すこと (30分)	RCTや系統的総説、ガイドラインの違いを理解すること(30分)
7	質の高い論文と科学的根拠に基づく理学療法の実践②	① ③	長谷部	演習	配布資料の当該箇所 に目を通すこと (30分)	臨床上の疑問を「問題点の定式化」できること(30分)
8	研究デザイン	③	長谷部	講義	配布資料の当該箇所 に目を通すこと (30分)	研究の種類を理解すること(30分)
9	論文・研究の妥当性	③	長谷部	講義	配布資料の当該箇所 に目を通すこと (30分)	バイアスを理解すること(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	統計的仮説検定①	①	福岡	講義	配布資料の当該箇所 に目を通すこと (30分)	配布資料を復習する こと (30分)
11	統計的仮説検定②	① ② ③ ④	福岡	演習	配布資料の当該箇所 に目を通すこと (30分)	配布資料を復習する こと (30分)
12	主要な検定とその選択方法①	① ③	福岡	講義	配布資料の当該箇所 に目を通すこと (30分)	配布資料を復習する こと (30分)
13	主要な検定とその選択方法②	① ② ③ ④	福岡	演習	配布資料の当該箇所 に目を通すこと (30分)	配布資料を復習する こと (30分)
14	研究計画	① ② ③ ④	長谷部	講義	配布資料の当該箇所 に目を通すこと (30分)	配布資料を復習する こと (30分)
15	研究倫理・生成AI	④	長谷部	講義	配布資料の当該箇所 と研究倫理に関する 論文に目を通すこと (30分)	配布資料を復習する こと (30分)
評価基準・評価方法						
小テスト（課題レポートを含む）100%						
使用教科書						
資料を配布する 原著論文を紹介する						
参考図書						
内山靖 編集 標準理学療法学 専門分野 理学療法研究法 第3版 医学書院 日本理学療法士協会 理学療法ガイドライン(第1版)						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	毎回、理解度確認の小テストを実施する。その直後にフィードバックを行う。 課題レポートはメールにて提出。提出後、速やかにメールにて返却する。					
実務経験をいかした教育内容	この授業では、総合病院や訪問リハビリテーション、大学院での臨床研究に携わってきた経験に基づき、基本的な研究手法（研究デザイン）とその実践について講義を行う。					
備考	インターネットに接続できる携帯電話、タブレット端末、PC等のいずれかを持参すること。 E-mail; t.hasebe@heisei-iryuu.ac.jp					

授業科目名		担当教員				
理学療法研究方法論		長谷部武久				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(15時間)	講義	PBP404		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		長谷部武久(理学療法士)				
授業概要						
必修科目「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」を見据えて、研究計画の立案及び研究を進める上で必要となる基礎的知識について学ぶ。研究計画及び方法、研究における客観性・信頼性・妥当性の意味、研究倫理などの研究基本概念について理解する。また、研究を行う上で重要である文献検索については、タブレット端末やPCの使用を推奨する。						
学修の到達目標						
①研究を行う意義について述べることができる ②論文・文献を検索することができる ③研究デザインについて述べることができる ④研究の進め方と研究倫理について述べることができる						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション 研究を行う意味や科学的根拠に基づいた医療について	①	長谷部	講義	シラバスを熟読すること(120分)	科学的根拠に基づいた医療を理解すること(120分)
2	論文の種類	① ②	長谷部	講義	配布資料の当該箇所に目を通すこと(120分)	論文の種類を識別すること(120分)
3	論文・文献検索の方法	②	長谷部	講義	配布資料の当該箇所に目を通すこと(120分)	インターネットを用いて論文を検索できること(120分)
4	原著論文の構成	② ③ ④	長谷部	演習	配布資料の当該箇所に目を通すこと(120分)	原著論文を読んでその構成を理解すること(120分)
5	質の高い論文と科学的根拠に基づく理学療法の実践①	① ③	長谷部	講義	配布資料の当該箇所に目を通すこと(120分)	RCTや系統的総説、ガイドラインの違いを理解すること(120分)
6	質の高い論文と科学的根拠に基づく理学療法の実践②	① ③	長谷部	講義	配布資料の当該箇所に目を通すこと(120分)	科学的根拠に基づく理学療法の実践手順を理解すること(120分)
7	研究デザイン	③ ④	長谷部	演習	配布資料の当該箇所に目を通すこと(120分)	研究の種類を理解すること(120分)
8	研究計画と研究倫理	① ③ ④	長谷部	講義	研究倫理に関する総説論文に目を通すこと(120分)	配布資料を復習すること(120分)

評価基準・評価方法	
小テスト（課題レポートを含む）100%	
使用教科書	
資料を配布する 原著論文を紹介する	
参考図書	
内山靖 編集 標準理学療法学 専門分野 理学療法研究法 第3版 医学書院 日本理学療法士協会 理学療法ガイドライン（第1版）	
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	毎回、理解度確認の小テストを実施する。その直後にフィードバックを行う。 課題レポートはメールにて提出。提出後、速やかにメールにて返却する。
実務経験をいかした教育内容	この授業では、総合病院や訪問リハビリテーション、大学院での臨床研究に携わってきた経験に基づき、基本的な研究手法（研究デザイン）とその実践について講義を行う。
備考	インターネットに接続できる携帯電話、タブレット端末、PC等のいずれかを持参すること。 E-mail; t.hasebe@heisei-iryuu.ac.jp

授業科目名		担当教員				
卒業研究Ⅰ		曾田直樹・長谷部武久・他 (代表教員 曾田直樹)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 後学期	1単位(30時間)	演習	PBP505		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		曾田直樹 長谷部武久 堀信宏 河合克尚 辻圭一 田島嘉人 大場かおり 石田裕保 藤橋雄一郎 植木努 亀山咲子 (全て理学療法士)				
授業概要						
「理学療法研究方法論」を基礎とする。ゼミ形式にて各領域における最新の知見について文献検索と批判的吟味を行う。自己の興味ある領域を明らかにするとともに「卒業研究Ⅱ」へ繋げる。						
学修の到達目標						
①研究計画を立案することができる						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション(卒業研究の概要、研究活動の意義、論文の書き方について)	①	各指 導 当 教 員	演習	「研究方法論」の授業内容を復習する(30分)	オリエンテーションの内容を復習する(30分)
2	研究に必要な機器について	①	各指 導 当 教 員	演習	「研究方法論」の授業内容を復習する(30分)	授業の内容を復習する(30分)
3	研究分野を考える①	①	各指 導 当 教 員	演習	「研究方法論」の授業内容を復習する(30分)	授業の内容を復習する(30分)
4	研究分野を考える②	①	各指 導 当 教 員	演習	「研究方法論」の授業内容を復習する(30分)	授業の内容を復習する(30分)
5	研究分野を考える③	①	各指 導 当 教 員	演習	「研究方法論」の授業内容を復習する(30分)	授業の内容を復習する(30分)
6	文献検索について①	①	各指 導 当 教 員	演習	「研究方法論」の授業内容を復習する(30分)	授業の内容を復習する(30分)
7	文献検索について②	①	各指 導 当 教 員	演習	「研究方法論」の授業内容を復習する(30分)	授業の内容を復習する(30分)
8	統計手法について①	①	各指 導 当 教 員	演習	「研究方法論」の授業内容を復習する(30分)	授業の内容を復習する(30分)
9	統計手法について②	①	各指 導 当 教 員	演習	「研究方法論」の授業内容を復習する(30分)	授業の内容を復習する(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	予備実験・文献収集①	①	各指 導当 員	演習	「研究方法論」の授 業内容を復習する (30分)	予備実験、文献収集 の結果をまとめる (30分)
11	予備実験・文献収集②	①	各指 導当 員	演習	予備実験・文献収集 について復習する (30分)	予備実験、文献収集 の結果をまとめる (30分)
12	予備実験・文献収集③	①	各指 導当 員	演習	予備実験・文献収集 について復習する (30分)	予備実験、文献収集 の結果をまとめる (30分)
13	研究計画書の作成①	①	各指 導当 員	演習	研究計画を立案する (30分)	研究計画を立案する (30分)
14	研究計画書の作成②	①	各指 導当 員	演習	研究計画を立案する (30分)	研究計画を立案する (30分)
15	研究計画書の作成③	①	各指 導当 員	演習	研究計画を立案する (30分)	研究計画を立案する (30分)
	研究計画書を提出する					
評価基準・評価方法						
課題レポート（研究計画書）100%						
使用教科書						
なし						
参考図書						
適宜紹介する。						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	研究計画書作成の進捗に応じて、その都度フィードバックを行います。					
実務経験をいかした教育内容	医療機関での臨床経験をもとに、理学療法に必要な疾病の知識や評価、治療の理論を研究を通して教授する。					
備考	担当教員の指導のもと、計画的・主体的に取り組んで下さい。					

授業科目名		担当教員				
卒業研究Ⅱ		曾田直樹・長谷部武久・他 (代表教員 曾田直樹)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	3年 前学期	1単位(30時間)	演習	PBP706		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		曾田直樹 長谷部武久 堀信宏 河合克尚 辻圭一 田島嘉人 大場かおり 石田裕保 藤橋雄一郎 植木努 亀山咲子 (全て理学療法士)				
授業概要						
「理学療法研究方法論」「卒業研究Ⅰ」を基礎とする。研究に関わる一連の過程(研究テーマ、研究仮説の設定、先行研究資料・文献からの情報収集、批判的吟味、実験および調査の実施、データ解析、その結果の整理と解釈・考察)を実践し、根拠に基づいた課題解決能力と理論的思考を身につける。ゼミ形式にて実施し、選択した領域のスペシャリストを養成する。また、研究に関わる一連の過程を通じて、生涯に渡って自己研鑽を続ける意義について学ぶ。						
学修の到達目標						
①研究計画に基づいて実験および調査を実施し、その結果を整理できる ②論文作成を行い、研究成果をまとめることができる						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション	①	各指 導担 当教 員	演習	研究計画書を確認する(30分)	オリエンテーションの内容を復習する(30分)
2	実験・調査の実施①	①	各指 導担 当教 員	演習	研究計画書を確認する(30分)	結果を確認する(30分)
3	実験・調査の実施②	①	各指 導担 当教 員	演習	方法・手順を確認する(30分)	結果を確認する(30分)
4	実験・調査の実施③	①	各指 導担 当教 員	演習	方法・手順を確認する(30分)	結果を確認する(30分)
5	実験・調査の実施④	①	各指 導担 当教 員	演習	方法・手順を確認する(30分)	結果を確認する(30分)
6	実験・調査の実施⑤	①	各指 導担 当教 員	演習	方法・手順を確認する(30分)	結果を確認する(30分)
7	結果の処理①	①	各指 導担 当教 員	演習	結果を確認する(30分)	統計処理をする(30分)
8	結果の処理②	①	各指 導担 当教 員	演習	統計処理をする(30分)	統計処理をする(30分)
9	結果の処理③	①	各指 導担 当教 員	演習	統計処理をする(30分)	結果を確認する(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	論文執筆①	②	各指 導当 員	演習	統計処理後の結果を確認する (30分)	論文執筆 (30分)
11	論文執筆②	②	各指 導当 員	演習	論文執筆 (30分)	論文執筆 (30分)
12	論文執筆③	②	各指 導当 員	演習	論文執筆 (30分)	論文執筆 (30分)
13	論文執筆④	②	各指 導当 員	演習	論文執筆 (30分)	論文執筆 (30分)
14	論文執筆⑤	②	各指 導当 員	演習	論文執筆 (30分)	論文執筆 (30分)
15	論文執筆⑥	②	各指 導当 員	演習	論文執筆 (30分)	論文執筆 (30分)
	研究論文を提出する					
評価基準・評価方法						
研究論文100%						
使用教科書						
なし						
参考図書						
適宜紹介する。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	論文作成の進捗に応じて、その都度フィードバックを行います。					
実務経験をいかした教育内容	医療機関での臨床経験をもとに、理学療法に必要な疾病の知識や評価、治療の理論を研究を通して教授する。					
備考	担当教員の指導のもと、計画的・主体的に取り組んで下さい。					

授業科目名		担当教員				
理学療法管理学 I		岸本泰樹				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 後学期	1単位(15時間)	講義	PPM501		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		岸本 泰樹 (理学療法士)				
授業概要						
理学療法管理学 I では、理学療法の職場管理において求められる管理業務の基本について学ぶ。さらに、その管理業務に必要な多職種連携の重要性や法制度などを理解し、業務の中でどのように実践するかを考察・検討する。						
学修の到達目標						
①理学療法管理学の概要について理解する ②医療機関の分類と組織の能力について理解する ③リハビリテーションに関わる専門職と事務職の役割、チーム医療の実例を学びチームケアを理解する ④社会保障の構成要素と役割を学ぶ ⑤理学療法業務に必要な医療保険制度の概要を理解する ⑥理学療法業務に必要な介護保険制度の概要を理解する ⑦診療報酬・介護報酬とそのコスト、背景を学びリハビリテーション分野における収益構造を理解する						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	理学療法管理学総論	①	岸本	講義	教科書 p 1～p 10に目を通しておく(120分)	授業内容を復習すること(120分)
2	病院の分類と組織	②	岸本	講義	教科書 p 11～p 22に目を通しておく(120分)	授業内容を復習すること(120分)
3	専門職とチームケア	③	岸本	講義	教科書 p 23～p 34に目を通しておく(120分)	授業内容を復習すること(120分)
4	社会保障のしくみ	④	岸本	講義	教科書 p 35～p 44に目を通しておく(120分)	授業内容を復習すること(120分)
5	医療保険制度	⑤	岸本	講義	教科書 p 45～p 54に目を通しておく(120分)	授業内容を復習すること(120分)
6	介護保険制度 I	⑥	岸本	講義	教科書 p 55～p 64に目を通しておく(120分)	授業内容を復習すること(120分)
7	介護保険制度 II	⑥	岸本	講義	教科書 p 55～p 64に目を通しておく(120分)	授業内容を復習すること(120分)
8	診療・介護報酬と収益構造	⑦	岸本	講義	教科書 p 65～p 76に目を通しておく(120分)	授業内容を復習すること(120分)

評価基準・評価方法	
レポートによって評価する（100%）	
使用教科書	
「15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 理学療法管理学」 / 石川朗・長野聖--中山書店, 978-4-521-74813-9 地域で活かす理学療法 介護予防体操指導ガイド / 岸本泰樹.--リハの木出版,	
参考図書	
適宜紹介する	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	最終授業時に全体にむけてフィードバックを行う
実務経験をいかした教育内容	医療機関退院後の患者が地域においてどのように日常を取り戻していくのか、またそのために理学療法士ができることは何なのか。専門理学療法士（地域・予防・支援工学）としての保険外領域での動きを含めた実際の様子も紹介しながら講義を進める。
備考	本講義では理学療法のスキルとは別に、医療職を生業とする上で身につけるべき様々な知識を学ぶ。医療人としての興味の視点が広がることを期待する。

授業科目名		担当教員				
理学療法管理学Ⅱ		岸本泰樹				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	3年 前学期	1単位(15時間)	講義	PPM702		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		岸本 泰樹 (理学療法士)				
授業概要						
理学療法士は、病院をはじめ老人施設等の各種サービス機関で働いている。組織のなかで働くためには、所属部門の管理運営に携わり、責任をもった対応が求められる。理学療法管理学Ⅱでは、組織人としての役割を全うするために必要な業務管理・リスクマネジメント・理学療法教育など、実践をイメージしながら学習する。						
学修の到達目標						
①理学療法士が携わる保健・医療の連携と、介護・福祉の関わりについて理解する ②業務管理の視点から理学療法業務の概要を理解する ③臨床業務に不可欠な情報収集、記録の意義と管理、コミュニケーション技術について理解する ④医療安全とリスク管理の概要について理解する ⑤医療・介護施設における感染管理について理解する ⑥理学療法士として必要な患者の権利擁護と職業倫理について理解する ⑦臨床実習から国家試験、生涯学習に至る教育体制について理解する ⑧医療・介護と政治・政策との関係を学び、これらが理学療法士の報酬や給与に寄与することを理解する						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	保健・医療・介護・福祉の連携	①	岸本	講義	教科書 p 77～p 88に目を通しておく (120分)	授業内容を復習すること (120分)
2	業務管理	②	岸本	講義	教科書 p 89～p 98に目を通しておく (120分)	授業内容を復習すること (120分)
3	情報管理	③	岸本	講義	教科書 p 99～p 108に目を通しておく (120分)	授業内容を復習すること (120分)
4	リスク管理	④	岸本	講義	教科書 p 109～p 118に目を通しておく (120分)	授業内容を復習すること (120分)
5	感染症管理	⑤	岸本	講義	教科書 p 119～p 128に目を通しておく (120分)	授業内容を復習すること (120分)
6	権利擁護と職業倫理	⑥	岸本	講義	教科書 p 129～p 138に目を通しておく (120分)	授業内容を復習すること (120分)
7	教育管理	⑦	岸本	講義	教科書 p 139～p 148に目を通しておく (120分)	授業内容を復習すること (120分)
8	理学療法士の政治・政策への関与	⑧	岸本	講義	教科書 p 149～p 158に目を通しておく (120分)	授業内容を復習すること (120分)

評価基準・評価方法	
レポートによって評価する（100%）	
使用教科書	
「15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 理学療法管理学」 / 石川朗・長野聖--中山書店, 978-4-521-74813-9	
参考図書	
適宜紹介する	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	最終授業時に全体にむけてフィードバックを行う
実務経験をいかした教育内容	病院や介護保険事業所の管理者、一般企業経営者としての20年以上の経験を踏まえ、組織のあり方やリスク管理について講義を進める。またグループワークも活用し、具体的なイメージにつながる内容とする。
備考	本講義では理学療法のスキルとは別に、医療職を生業とする上で身につけるべき様々な知識を学ぶ。医療人としての興味の視点が広がることを期待する。

授業科目名		担当教員				
理学療法評価学概論		曾田直樹・河合克尚・辻圭一・石田裕保・藤橋雄一郎・植木 努・亀山咲子 (代表教員 曾田直樹)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	講義・演習	PPE201		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)の達成に寄与している。		曾田直樹(理学療法士)、河合克尚(理学療法士)、辻圭一(理学療法士)、石田裕保(理学療法士)、藤橋雄一郎(理学療法士)、植木努(理学療法士)、亀山咲子(理学療法士)				
授業概要						
人間の生活は基本的な運動機能をベースに、必要な動作を用いて営まれている。その機能自体が障害されることは動作・活動の制限を生じ、社会生活が危ぶまれることにつながる。理学療法評価の基本的考え方を学ぶとともに、各領域における評価・検査法、結果の解釈について学び、技術を身につける。						
学修の到達目標						
① 上肢の関節可動域や徒手筋力検査の目的を理解し測定することができる。 ② 検査に必要な情報収集およびコミュニケーションをとることができる。 ③ 各種検査法の意義・原理を理解し、検査技術を身に付ける。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	関節可動域検査の目的、関節可動域検査：上肢(肘関節)	①	曾田 藤橋 植木	講義 演習	教科書P65-69にある、関節可動域測定の目的や留意事項を一読しましょう(30分)。	講義内容の再確認を行い、技術の向上に努めましょう(30分)。
2	関節可動域検査：上肢(肩関節)	① ②	曾田 藤橋 植木	演習	授業計画にある関節可動域測定に必要な基本・移動軸・参考可動域等を確認しましょう(30分)。	講義内容の再確認を行い、技術の向上に努めましょう(30分)。
3	関節可動域検査：上肢(前腕、手関節)	① ②	曾田 藤橋 植木	演習	授業計画にある関節可動域測定に必要な基本・移動軸・参考可動域等を確認しましょう(30分)。	講義内容の再確認を行い、技術の向上に努めましょう(30分)。
4	関節可動域検査：上肢(肩甲帯)	① ②	曾田 藤橋 植木	演習	授業計画にある関節可動域測定に必要な基本・移動軸・参考可動域等を確認しましょう(30分)。	講義内容の再確認を行い、技術の向上に努めましょう(30分)。
5	形態測定	① ②	辻	演習	教科書の該当の章を確認しておくこと(30分)。	講義内容の再確認を行い、技術の向上に努めましょう(30分)。
6	感覚検査講義；上行性伝導路の解剖・生理学・検査の目的を理解する。	③	藤橋	講義	上行性神経路についての、解剖生理を再確認しましょう(30分)。	上行性神経路の役割り、経路について説明できるようにしましょう(30分)。
7	感覚検査法(表在感覚)	② ③	辻	演習	教科書の該当の章を確認しておくこと(30分)。	講義内容の再確認を行い、技術の向上に努めましょう(30分)。
8	感覚検査法(深部感覚)	② ③	辻	演習	教科書の該当の章を確認しておくこと(30分)。	講義内容の再確認を行い、技術の向上に努めましょう(30分)。
9	医療面接・問診	②	亀山	講義 演習	教科書の該当の章を確認しておくこと(30分)。	講義内容の再確認を行い、技術の向上に努めましょう(30分)。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	徒手筋力検査概論・上肢	① ② ③	河合 辻	講義 演習	教科書の該当ページに目を通しておくこと(30分)。	授業で行った検査測定 の復習をすること(30分)。
11	徒手筋力検査(上肢)	① ② ③	河合 辻	演習	教科書の該当ページに目を通しておくこと(30分)。	授業で行った検査測定 の復習をすること(30分)。
12	徒手筋力検査(上肢)	① ② ③	河合 辻	演習	教科書の該当ページに目を通しておくこと(30分)。	授業で行った検査測定 の復習をすること(30分)。
13	徒手筋力検査(上肢)	① ② ③	河合 辻	演習	教科書の該当ページに目を通しておくこと(30分)。	授業で行った検査測定 の復習をすること(30分)。
14	脳神経検査	② ③	辻	演習	脳神経の各機能を復習しておくこと(30分)。	講義内容の内、重要項目を覚えておくこと(30分)。
15	反射検査	② ③	石田	演習	教科書の該当ページ(第8章)に目を通しておくこと(30分)。	授業で行った検査測定 の理解し、実技を習得するよう復習を すること(30分)。
	定期試験					
評価基準・評価方法						
定期試験(各種実技および筆記)						
使用教科書						
理学療法評価学 第6版補訂版 / 松澤 正/江口 勝彦--金原出版株式会社, 978-4-307-75068-4 新・徒手筋力検査法 / Dale Avers, Marybeth Brown.--津山直一、中村耕三 訳--共同医書出版社, 978-4-7639-0041-8						
参考図書						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	授業内で提示する課題に対しては、その都度解説を行います。					
実務経験をいかした教育内容	医療機関での臨床経験に基づいて、リハビリに必要な評価方法及びその考え方を実技を通して教授する。					
備考	演習では動きやすい服装で受講して下さい。					

授業科目名		担当教員				
理学療法検査法演習		曾田直樹・河合克尚・辻 圭一・石田裕保・藤橋雄一郎・植木 努・亀山咲子 (代表教員 曾田直樹)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	演習	PPE402		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)の達成に寄与している。		曾田直樹(理学療法士)、河合克尚(理学療法士)、辻圭一(理学療法士)、石田裕保(理学療法士)、藤橋雄一郎(理学療法士)、植木努(理学療法士)、亀山咲子(理学療法士)				
授業概要						
人間の生活は基本的な運動機能をベースに、必要な動作を用いて営まれている。その運動は神経系の働きによって調整・制御されている。理学療法評価学概論を基礎とし、関節可動域測定、徒手筋力検査、形態測定(四肢長、周径)に加え、筋緊張、反射、感覚、脳卒中、高次脳機能などの検査技術を修得する。						
学修の到達目標						
①下肢・体幹の関節可動域や徒手筋力検査の目的を理解し測定することができる。 ②検査に必要な情報収集およびコミュニケーションをとることができる。 ③各種検査法の意義・原理を理解し、検査技術を身に付ける。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	関節可動域；下肢(膝関節、股関節)	① ②	曾田 藤橋 植木	演習	基本軸・移動軸・参考可動域などを確認しましょう(30分)。	講義内容の再確認を行い、技術の向上に努めましょう(30分)。
2	関節可動域；下肢(股関節)	① ②	曾田 藤橋 植木	演習	基本軸・移動軸・参考可動域などを確認しましょう(30分)。	講義内容の再確認を行い、技術の向上に努めましょう(30分)。
3	関節可動域；下肢(足関節)	① ②	曾田 藤橋 植木	演習	基本軸・移動軸・参考可動域などを確認しましょう(30分)。	講義内容の再確認を行い、技術の向上に努めましょう(30分)。
4	関節可動域；体幹、別法	① ②	曾田 藤橋 植木	演習	基本軸・移動軸・参考可動域などを確認しましょう(30分)。	講義内容の再確認を行い、技術の向上に努めましょう(30分)。
5	整形外科検査	② ③	曾田 藤橋 植木	演習	教科書の該当の章を確認しておくこと(30分)。	講義内容の再確認を行い、技術の向上に努めましょう(30分)。
6	整形外科検査	② ③	曾田 藤橋 植木	演習	教科書の該当の章を確認しておくこと(30分)。	講義内容の再確認を行い、技術の向上に努めましょう(30分)。
7	徒手筋力検査法；下肢	① ②	河合 辻	演習	教科書の該当ページに目を通しておくこと(30分)。	授業で行った検査測定の復習をすること(30分)。
8	徒手筋力検査法；下肢	① ②	河合 辻	演習	教科書の該当ページに目を通しておくこと(30分)。	授業で行った検査測定の復習をすること(30分)。
9	徒手筋力検査法；下肢	① ②	河合 辻	演習	教科書の該当ページに目を通しておくこと(30分)。	授業で行った検査測定の復習をすること(30分)。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	徒手筋力検査法；体幹	① ②	河合 辻	演習	教科書の該当ページに目を通しておくこと（30分）。	授業で行った検査測定 の復習をすること （30分）。
11	徒手筋力検査法；肩甲帯	① ②	河合 辻	演習	教科書の該当ページに目を通しておくこと（30分）。	授業で行った検査測定 の復習をすること （30分）。
12	脳卒中検査	② ③	辻	演習	脳卒中の回復過程、 片麻痺の復習をして おくこと（30分）。	検査法を確実に覚える こと（30分）。
13	高次脳機能検査	② ③	辻 亀山	演習	高次脳機能障害の種 類を復習しておくこ と（30分）。	講義で扱った名称を 覚えること（30分 ）。
14	筋緊張検査	② ③	石田	演習	教科書の該当ページ に目を通しておくこ と（30分）。	授業で行った検査測定 の復習をすること （30分）。
15	バランス検査、病的反射検査	② ③	石田	演習	教科書の該当ページ に目を通しておくこ と（30分）。	授業で行った検査測定 の復習をすること （30分）。
	定期試験					

評価基準・評価方法

定期試験は実技を行う。

使用教科書

理学療法評価学 第6版補訂版 / 松澤 正/江口 勝彦--金原出版株式会社, 978-4-307-75068-4
新・徒手筋力検査法 第10版 / Dale Avers, Marybeth Brown.--津山直一、中村耕三 訳--共同医書出版社, 978-4-7639-0041-8

参考図書

課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	講義内で提示する課題は、その都度解説を行う。
実務経験をいかした教育内容	医療機関での臨床経験に基づいて、リハビリに必要な評価方法及びその考え方を実技を通して教授する。
備考	

授業科目名		担当教員				
動作・画像解析学		堀 信宏・石田裕保 (代表教員 堀 信宏)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義・演習	PPE403		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		堀信宏(理学療法士)、石田裕保(理学療法士)				
授業概要						
本講義では姿勢分析, バランス検査, 動作分析, 歩行分析などグループワークを実施する。姿勢, 動作, 歩行の分析は理学療法評価の一手段として位置づけられている。その為, 運動学的視点で人における動きを観察し分析できるようになることが目的である。また, 運動器疾患や中枢疾患の代表的なレントゲン, CT, MRI画像の見方や解説を教授する。						
学修の到達目標						
①筋収縮と身体活動の力学的結びつきを理解する。バランス能力評価方法を理解・実施できるようになること。(堀担当分)						
②基本動作の成り立ちを理解することが出来るようになること。X-pやMRI画像を診ることが出来るようになること。(石田担当分)						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	運動学的動作解析: 固定筋と動筋, 長座位における筋活動	①	堀	講義	運動学総論で学んだ筋活動について再確認をしておいてください(30分)	講義内で解いた問題を理解できるようにまとめておきましょう(30分)
2	運動学的動作解析: 筋活動とモーメント, スクワット動作における筋活動	①	堀	講義	運動学総論で学んだモーメントと支持基底面, 重心について再確認をしておいてください(30分)	講義内で解いた問題を理解できるようにまとめておきましょう(30分)
3	運動学的動作解析: 立ち上がり, 介助時の筋活動	①	堀	講義	運動学総論で学んだモーメントと支持基底面, 重心について再確認をしておいてください(30分)	講義内で解いた問題を理解できるようにまとめておきましょう(30分)
4	バランス機能の見方: TUG/FRT/姿勢反射/BBS	①	堀	演習	運動学総論で学んだ支持基底面, 重心, バランスについて再確認をしておいてください(30分)	各種バランス評価法を整理しておいてください(30分)
5	観察による動作分析の仕方: 基礎	②	石田	演習	本日举行予定の教科書の範囲を一読して下さい(30分)	本日举行したことを復習し, まとめてください(30分)
6	観察による動作解析の仕方: レポートの書き方とデモンストレーション	②	石田	演習	本日举行予定の教科書の範囲を一読して下さい(30分)	本日举行したことを復習し, まとめてください(120分)
7	「寝返り」動作分析・レポート作成	②	石田	演習	本日举行予定の教科書の範囲を一読して下さい(30分)	本日举行したことを復習し, まとめてください(30分)
8	「寝返り」触診・レポート作成	②	石田	演習	本日举行予定の教科書の範囲を一読して下さい(30分)	本日举行したことを復習し, まとめてください(30分)
9	「起き上がり」動作分析・レポート作成	②	石田	演習	本日举行予定の教科書の範囲を一読して下さい(30分)	本日举行したことを復習し, まとめてください(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	「起き上がり」触診・レポート作成	②	石田	演習	本日举行予定の教科書の範囲を一読して下さい (30分)	本日行ったことを復習し、まとめてください (30分)
11	「起き上がり」動作分析・レポート作成	②	石田	演習	本日举行予定の教科書の範囲を一読して下さい (30分)	本日行ったことを復習し、まとめてください (30分)
12	「椅子からの立ち上がり」動作分析・レポート作成	②	石田	演習	本日举行予定の教科書の範囲を一読して下さい (30分)	本日行ったことを復習し、まとめてください (30分)
13	「椅子からの立ち上がり」触診・レポート作成	②	石田	演習	本日举行予定の教科書の範囲を一読して下さい (30分)	本日行ったことを復習し、まとめてください (30分)
14	「椅子からの立ち上がり」動作分析・レポート作成	②	石田	演習	本日举行予定の教科書の範囲を一読して下さい (30分)	本日行ったことを復習し、まとめてください (30分)
15	CT/MRIの見方：整形疾患のレントゲンの見方	②	石田	講義	本日举行予定の教科書の範囲を一読して下さい (30分)	本日行ったことを復習し、まとめてください (30分)
	期末試験					
評価基準・評価方法						
本試験は課題レポート (50%) , 筆記試験 (50%) を総合的に判断する。再試験は筆記試験 (100%)						
使用教科書						
運動・からだ図解 リハビリで役立つ動作分析の基本 / 石井慎一郎。--マイナビ出版, 2024年, 978-4-839-98847-0						
参考図書						
動作分析 臨床活用講座—バイオメカニクスに基づく臨床推論の実践 (Medical view), 臨床評価指標入門 適応と解釈のポイント (協同医書), 観察による歩行分析 (医学書院), 筋骨格系のキネシオロジー (医歯薬出版株式会社)						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	講義 ③はワークシートを用いて, 筋収縮と身体活動の力学的結びつきを設題を解きながら進みます。見直した際に, 理解できる様にワークシート作成に努めましょう。講義④は主に安静時と動作時のバランス評価法を学びます。実技が含まれます。(堀) 共通する訂正・修正箇所等をまとめて講義で伝達する(石田)。					
実務経験をいかした教育内容	各教員、総合病院、訪問リハ、デイサービスなどの施設での勤務経験があります。また、医学教育に長く携わっており、工夫した学習方法を取り入れています。これまでの経験から、学修の到達目標を達成できるよう教授していきます。					
備考	動作分析は臨床実習(卒後は臨床)で日常的に必要なとされる評価能力です。そのことを意識して取り組んでください。日常生活動作や歩行といった動作を診る専門職として、「人の動作を説明できる力」を養いましょう。					

授業科目名		担当教員				
理学療法評価学演習		河合克尚・大場かおり・長谷部武久・曾田直樹・堀 信宏・田島嘉人・藤橋雄一郎・植木 努・辻 圭一・石田裕保・亀山咲子 (代表教員 河合克尚)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態		科目ナンバリング	
必修	2年 後学期	2単位(60時間)	演習		PPE504	
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		河合克尚(理学療法士)・大場かおり(理学療法士)・長谷部武久(理学療法士)・曾田直樹(理学療法士)・堀信宏(理学療法士)・田島嘉人(理学療法士)・藤橋雄一郎(理学療法士)・植木努(理学療法士)・辻圭一(理学療法士)・石田裕保(理学療法士)・亀山咲子(理学療法士)				
授業概要						
理学療法評価学演習では、前学期までに習得した各評価(検査)項目を中心に実技練習を行い、理学療法評価(検査)に関する知識・技術の定着と向上に努める。また、症例検討を通してトップダウンおよびボトムアップ方式による評価の流れについて理解を深める。グループワークやディスカッションを通して、コミュニケーション技術や課題解決能力を高める。						
学修の到達目標						
①健康者に対して基本的な理学療法評価(検査)が実施できる。 ②疾患に即した評価(検査)を列挙し、その目的や意義を説明できる。 ③コミュニケーション能力の向上を図る。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	理学療法評価について(総論)	① ②	河合 大場	講義	教科書1の「総論」 、「各論第1章」に 目を通しておくこと (30分)	授業内容の復習をす ること(30分)
2	実技演習(触診、形態測定、ROM-T、MMT、感覚 検査) 症例検討(歩行観察)	① ② ③	担当 教員	演習	実技チェックシートをもと に検査方法の確認をする。 運動学で学習した正常歩行 について復習しておくこと (30分)	各種検査測定の復習 、症例検討の振り返 り(30分)
3	実技演習(触診、形態測定、ROM-T、MMT、感覚 検査) 症例検討(歩行観察)	① ② ③	担当 教員	演習	実技チェックシートをもと に検査方法の確認をする。 運動学で学習した正常歩行 について復習しておくこと (30分)	各種検査測定の復習 、症例検討の振り返 り(30分)
4	実技演習(触診、形態測定、ROM-T、MMT、感覚 検査) 症例検討(歩行観察)	① ② ③	担当 教員	演習	実技チェックシートをもと に検査方法の確認をする。 運動学で学習した正常歩行 について復習しておくこと (30分)	各種検査測定の復習 、症例検討の振り返 り(30分)
5	実技演習(触診、形態測定、ROM-T、MMT、感覚 検査) 症例検討(片麻痺症例：歩行観察)	① ② ③	担当 教員	演習	実技チェックシートをもと に検査方法の確認をする。 運動学で学習した正常歩行 について復習しておくこと (30分)	各種検査測定の復習 、症例検討の振り返 り(30分)
6	実技演習(触診、形態測定、ROM-T、MMT、感覚 検査) 症例検討(歩行観察)	① ② ③	担当 教員	演習	実技チェックシートをもと に検査方法の確認をする。 運動学で学習した正常歩行 について復習しておくこと (30分)	各種検査測定の復習 、症例検討の振り返 り(30分)
7	実技演習(触診、形態測定、ROM-T、MMT、感覚 検査) 症例検討(異常歩行に対する仮説の検討)	① ② ③	担当 教員	演習	実技チェックシートをもと に検査方法の確認をする。 運動学で学習した正常歩行 について復習しておくこと (30分)	各種検査測定の復習 、症例検討の振り返 り(30分)
8	実技演習(触診、形態測定、ROM-T、MMT、感覚 検査) 症例検討(異常歩行に対する仮説の検討)	① ② ③	担当 教員	演習	実技チェックシートをもと に検査方法の確認をする。 運動学で学習した正常歩行 について復習しておくこと (30分)	各種検査測定の復習 、症例検討の振り返 り(30分)
9	実技演習(触診、形態測定、ROM-T、MMT、感覚 検査) 症例検討(片麻痺症例：異常歩行に対する仮説)	① ② ③	担当 教員	演習	実技チェックシートをもと に検査方法の確認をする。 運動学で学習した正常歩行 について復習しておくこと (30分)	各種検査測定の復習 、症例検討の振り返 り(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	実技演習（触診、形態測定、ROM-T、MMT、感覚検査） 症例検討（異常歩行に対する仮説の検討）	① ② ③	担当 教員	演習	実技チェックシートをもとに検査方法の確認をする。運動学で学習した正常歩行について復習しておくこと（30分）	各種検査測定の復習、症例検討の振り返り（30分）
11	実技演習（触診、形態測定、ROM-T、MMT、感覚検査） 症例検討（評価・検査項目の選定）	① ② ③	担当 教員	演習	実技チェックシートをもとに検査方法の確認をする。と提示された症例情報をもとに必要な検査項目を考える（30分）	各種検査測定の復習、症例検討の振り返り（30分）
12	実技演習（触診、形態測定、ROM-T、MMT、感覚検査） 症例検討（評価・検査項目の選定）	① ② ③	担当 教員	演習	実技チェックシートをもとに検査方法の確認をする。と提示された症例情報をもとに必要な検査項目を考える（30分）	各種検査測定の復習、症例検討の振り返り（30分）
13	実技演習（触診、形態測定、ROM-T、MMT、感覚検査） 症例検討（検査結果に対する考察と問題点の抽出）	① ② ③	担当 教員	演習	実技チェックシートをもとに検査方法の確認をする。理学療法の各種検査の目的・意義を確認しておくこと（30分）	各種検査測定の復習、症例検討の振り返り（30分）
14	実技演習（触診、形態測定、ROM-T、MMT、感覚検査） 症例検討（検査結果に対する考察と問題点の抽出）	① ② ③	担当 教員	演習	実技チェックシートをもとに検査方法の確認をする。理学療法の各種検査の目的・意義を確認しておくこと（30分）	各種検査測定の復習、症例検討の振り返り（30分）
15	実技演習（反射、バランス、筋緊張、BRS-T、移乗介助） 症例検討（検査結果に対する考察と問題点の抽出）	① ② ③	担当 教員	演習	実技チェックシートをもとに検査方法の確認をする。理学療法の各種検査の目的・意義を確認しておくこと（30分）	各種検査測定の復習、症例検討の振り返り（30分）
16	実技演習（反射、バランス、筋緊張、BRS-T、移乗介助） 症例検討（検査結果に対する考察と問題点の抽出）	① ② ③	担当 教員	演習	実技チェックシートをもとに検査方法の確認をする。理学療法の各種検査の目的・意義を確認しておくこと（30分）	各種検査測定の復習、症例検討の振り返り（30分）
17	実技演習（反射、バランス、筋緊張、BRS-T、移乗介助） 症例検討（検査結果に対する考察と問題点の抽出）	① ② ③	担当 教員	演習	実技チェックシートをもとに検査方法の確認をする。理学療法の各種検査の目的・意義を確認しておくこと（30分）	各種検査測定の復習、症例検討の振り返り（30分）
18	実技演習（反射、バランス、筋緊張、BRS-T、移乗介助） 症例検討（検査結果に対する考察と問題点の抽出）	① ② ③	担当 教員	演習	実技チェックシートをもとに検査方法の確認をする。理学療法の各種検査の目的・意義を確認しておくこと（30分）	各種検査測定の復習、症例検討の振り返り（30分）
19	実技演習（反射、バランス、筋緊張、BRS-T、移乗介助） 症例検討（問題点の整理：ICF）	① ② ③	担当 教員	演習	実技チェックシートをもとに検査方法の確認をする。ICFの構成要素について確認する（30分）	各種検査測定の復習、症例検討の振り返り（30分）
20	実技演習（反射、バランス、筋緊張、BRS-T、移乗介助） 症例検討（問題点の整理：ICF）	① ② ③	担当 教員	演習	実技チェックシートをもとに検査方法の確認をする。ICFの構成要素について確認する（30分）	各種検査測定の復習、症例検討の振り返り（30分）
21	実技演習（反射、バランス、筋緊張、BRS-T、移乗介助） 症例検討（問題点の整理：関連図）	① ② ③	担当 教員	演習	実技チェックシートをもとに検査方法の確認をする。（30分）	各種検査測定の復習、症例検討の振り返り（30分）
22	実技演習（反射、バランス、筋緊張、BRS-T、移乗介助） 症例検討（問題点の整理：関連図）	① ② ③	担当 教員	演習	実技チェックシートをもとに検査方法の確認をする。（30分）	各種検査測定の復習、症例検討の振り返り（30分）
23	実技演習（反射、バランス、筋緊張、BRS-T、移乗介助） 症例検討（問題点の整理：関連図）	① ② ③	担当 教員	演習	実技チェックシートをもとに検査方法の確認をする。（30分）	各種検査測定の復習、症例検討の振り返り（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
24	実技演習（反射、バランス、筋緊張、BRS-T、移乗介助） 症例検討（問題点の整理：関連図）	① ② ③	担当 教員	演習	実技チェックシートをもとに検査方法の確認をする。（30分）	各種検査測定のリハビリ、症例検討の振り返り（30分）
25	実技演習（反射、バランス、筋緊張、BRS-T、移乗介助） 症例検討（問題点の整理：関連図）	① ② ③	担当 教員	演習	実技チェックシートをもとに検査方法の確認をする。（30分）	各種検査測定のリハビリ、症例検討の振り返り（30分）
26	実技演習（反射、バランス、筋緊張、BRS-T、移乗介助） 症例検討（問題点の整理：関連図）	① ② ③	担当 教員	演習	実技チェックシートをもとに検査方法の確認をする。（30分）	各種検査測定のリハビリ、症例検討の振り返り（30分）
27	実技演習（反射、バランス、筋緊張、BRS-T、移乗介助） 症例検討（FIMスコアリング）	① ② ③	担当 教員	演習	実技チェックシートをもとに検査方法の確認をする。FIMの各項目と評価基準を確認する（30分）	各種検査測定のリハビリ、ADLの評価方法を復習する（30分）
28	実技演習（反射、バランス、筋緊張、BRS-T、移乗介助） 症例検討（FIMスコアリング）	① ② ③	担当 教員	演習	実技チェックシートをもとに検査方法の確認をする。FIMの各項目と評価基準を確認する（30分）	各種検査測定のリハビリ、ADLの評価方法を復習する（30分）
29	実技演習（反射、バランス、筋緊張、BRS-T、移乗介助） 症例検討（FIMスコアリング）	① ② ③	担当 教員	演習	実技チェックシートをもとに検査方法の確認をする。FIMの各項目と評価基準を確認する（30分）	各種検査測定のリハビリ、ADLの評価方法を復習する（30分）
30	実技演習（反射、バランス、筋緊張、BRS-T、移乗介助） 症例検討（FIMスコアリング）	① ② ③	担当 教員	演習	実技チェックシートをもとに検査方法の確認をする。FIMの各項目と評価基準を確認する（30分）	各種検査測定のリハビリ、ADLの評価方法を復習する（30分）
評価基準・評価方法						
評価方法は、実技テスト（50%）、レポート（50%）とする。						
使用教科書						
理学療法評価学 第6版補訂版 / 松澤正／江口勝彦、--金原出版、2022年、ISBN978-4-307-75068-4						
参考図書						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	演習課題に対するフィードバックは、授業内で担当教員から行います。					
実務経験をいかした教育内容	医療機関での職務経験をもとに、理学療法評価の実践力が身に付けられるように授業を展開していく。					
備考	グループ演習が中心の授業です。各々が主体的に取り組みましょう。 実技演習の時間は、臨床実習に臨む際と同様、服装や身だしなみを整えるようにして下さい。 質問等がある場合は、演習中や授業終了後、オフィスアワーを積極的に活用して下さい。					

授業科目名		担当教員				
総合実習前セミナー		堀 信宏・曾田直樹・亀山咲子・他 (代表教員 堀 信宏)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	3年 前学期	1単位(30時間)	演習	PPE705		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		曾田直樹 堀信宏 亀山咲子 (全て理学療法士)				
授業概要						
情報収集や理学療法評価結果から導き出した問題点の分析を行うための臨床的・論理的思考を身につける。脳・神経系疾患、骨・関節系疾患、内部系疾患によって起きる様々な症状から心身機能・身体構造レベルの低下、活動・参加レベルの低下について考え、それらの情報を統合し患者像を明確にするための知識と能力の獲得を目指す。また、客観的臨床評価能力試験(OSCE)を通じて、臨床実習Ⅱ(評価)で習得した理学療法評価・測定技術の確認を行う。						
学修の到達目標						
①脳・神経系疾患に対する理学療法における臨床推論の過程を理解できる ②骨・関節系疾患に対する理学療法における臨床推論の過程を理解できる ③内部系疾患に対する理学療法における臨床推論の過程を理解できる ④基本的な理学療法評価・測定が実施できる						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	脳・神経系疾患に対する臨床推論①		全担当教員	演習	シラバスを確認すること(30分)	授業の内容を復習すること(30分)
2	脳・神経系疾患に対する臨床推論②	①	全担当教員	演習	脳・神経機能障害学の復習をすること(30分)	授業の内容を復習すること(30分)
3	脳・神経系疾患に対する臨床推論③	①	全担当教員	演習	脳・神経機能障害学の復習をすること(30分)	授業の内容を復習すること(30分)
4	脳・神経系疾患に対する臨床推論④	①	全担当教員	演習	脳・神経機能障害学の復習をすること(30分)	授業の内容を復習すること(30分)
5	脳・神経系疾患に対する臨床推論⑤	①	全担当教員	演習	脳・神経機能障害学の復習をすること(30分)	授業の内容を復習すること(30分)
6	骨・関節系疾患に対する臨床推論	②	全担当教員	演習	骨・関節機能障害学の復習をすること(30分)	授業の内容を復習すること(30分)
7	骨・関節系疾患に対する臨床推論②	②	全担当教員	演習	骨・関節機能障害学の復習をすること(30分)	授業の内容を復習すること(30分)
8	骨・関節系疾患に対する臨床推論③	②	全担当教員	演習	骨・関節機能障害学の復習をすること(30分)	授業の内容を復習すること(30分)
9	骨・関節系疾患に対する臨床推論④	②	全担当教員	演習	骨・関節機能障害学の復習をすること(30分)	授業の内容を復習すること(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	骨・関節系疾患に対する臨床推論⑤	③	全担当教員	演習	内部機能障害学の復習をすること (30分)	授業の内容を復習すること (30分)
11	内部系疾患に対する臨床推論	③	全担当教員	演習	内部機能障害学の復習をすること (30分)	授業の内容を復習すること (30分)
12	内部系疾患に対する臨床推論②	③	全担当教員	演習	内部機能障害学の復習をすること (30分)	授業の内容を復習すること (30分)
13	内部系疾患に対する臨床推論③	③	全担当教員	演習	内部機能障害学の復習をすること (30分)	授業の内容を復習すること (30分)
14	内部系疾患に対する臨床推論④	④	全担当教員	演習	検査・測定方法の復習をすること (30分)	検査・測定方法の復習をすること (30分)
15	内部系疾患に対する臨床推論⑤	④	全担当教員	演習	検査・測定方法の復習をすること (30分)	検査・測定方法の復習をすること (30分)
	定期試験					
評価基準・評価方法						
定期試験100%						
使用教科書						
参考図書						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	課題レポートは添削後、速やかに返却する。OSCEの結果は速やかに開示する。					
実務経験をいかした教育内容	実務家教員の医療機関での職務経験をもとに、各疾患の臨床思考能力と理学療法評価の実践力が身に付けられるように演習を展開していく。					
備考						

授業科目名		担当教員				
脳・神経機能障害学		大場かおり				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義	PPT401		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		大場かおり(理学療法士)				
授業概要						
脳・神経機能障害学では、基本的な脳、脊髄神経系の解剖学・生理学について復習するとともに、主な神経疾患の病理と臨床症状を学習し、主要な疾患の全体像把握に努める。特に脳血管障害は国家試験の出題頻度が高いほか、実習・臨床においても主要な対象疾患であることから、小テストを取り入れて知識の整理・確認を行う。						
学修の到達目標						
①神経疾患の病理や症状を学ぶための基礎(中枢神経の解剖・生理学の知識)を定着させること。 ②様々な中枢神経系疾患の病理、臨床症状の関係について理解すること。 ③脳血管障害片麻痺の病態を修得すること。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	神経障害理学療法総論	①	大場	講義	解剖学Ⅲで学習した内容を復習しておきましょう。(30分)	配布資料、テキストを確認しておきましょう。(30分)
2	脳の機能と構造①運動	①	大場	講義	解剖学Ⅲで学習した内容を復習しておきましょう。(30分)	配布資料、テキストを確認しておきましょう。(30分)
3	脳の機能と構造②感覚	①	大場	講義	解剖学Ⅲで学習した内容を復習しておきましょう。(30分)	配布資料、テキストを確認しておきましょう。(30分)
4	脳血管障害	② ③	大場	講義	テキストのLECTURE 4を読み内容の確認をしておきましょう。(30分)	脳血管障害(脳出血、脳梗塞)の特徴と違いについて再確認しましょう(30分)。
5	その他の脳損傷疾患	② ③	大場	講義	テキストの該当箇所を一読しておきましょう(30分)。	配布資料、テキストを確認しておきましょう。(30分)
6	中枢性運動麻痺の病態	② ③	大場	講義	テキストの該当箇所を一読しておきましょう。(30分)	配布資料、テキストを確認しておきましょう。(30分)
7	中枢性運動障害に対する評価(機能障害)	②	大場	講義	テキストの該当箇所を一読しておきましょう。(30分)	配布資料、テキストを確認しておきましょう。(30分)
8	中枢性運動障害に対する評価(活動・参加)	② ③	大場	講義	テキストの該当箇所を一読しておきましょう。(30分)	配布資料、テキストを確認しておきましょう。(30分)
9	脳卒中片麻痺に対する理学療法①	② ③	大場	講義	テキストの該当箇所を一読しておきましょう。(30分)	配布資料、テキストを確認しておきましょう。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	脳卒中片麻痺に対する理学療法②	② ③	大場	講義	テキストの該当箇所を一読しておきましょう。(30分)	配布資料、テキストを確認しておきましょう。(30分)
11	脳卒中片麻痺に対する理学療法③	② ③	大場	講義	テキストの該当箇所を一読しておきましょう。(30分)	配布資料、テキストを確認しておきましょう。(30分)
12	脳卒中後片麻痺に対する急性期の介入	② ③	大場	講義	テキストの該当箇所を一読しておきましょう。(30分)	配布資料、テキストを確認しておきましょう。(30分)
13	脳卒中後片麻痺に対する回復期の介入	② ③	大場	講義	テキストのLECTURE13を読み内容の確認をしておきましょう(30分)。	脳血管障害者の回復期における理学療法の目的や実施内容を説明できるようにしましょう(30分)。
14	脳卒中後片麻痺に対する理学療法の実際①急性期	② ③	大場	講義	テキストの該当箇所を一読しておきましょう。(30分)	配布資料、テキストを確認しておきましょう。(30分)
15	脳卒中後片麻痺に対する理学療法の実際②回復期	② ③	大場	講義	テキストのLECTURE15の記載内容を確認しておきましょう。(30分)	配布資料、テキストを確認しておきましょう。(30分)
16	期末試験(筆記)					
評価基準・評価方法						
期末試験100% (各担当が行う小テストなどを基に出題する。提出物、授業への参加度を加味する)。						
使用教科書						
理学療法テキスト 神経障害理学療法学Ⅰ第2版 / 責任編集:大畑光司--中山書店, 2020, 978-4-521-74496-4 理学療法テキスト 神経障害理学療法学Ⅱ第2版 / 責任編集:大畑光司--中山書店, 2021, 978-4-521-74497-1 病気がみえる7 脳・神経 第2版 / 医療情報科学研究所--メディックメディア, 2017, 978-4-89632-686-4						
参考図書						
ベットサイドの神経のみかた (南山堂) 絵で見る脳と神経 (医学書院) 脳卒中-基礎知識から最新リハビリテーションまで- (医歯薬出版)						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	小テストは随時実施し回答する。					
実務経験をいかした教育内容	急性期総合勤務経験から、脳血管障害の特徴や理学療法評価の重要性、理学療法プログラムについて必要な思考力が身につけられるよう授業を展開していく。					
備考	脳血管障害は臨床で経験する頻度が高いです。機能障害は千差万別なので、障害増をつかむには基礎知識が必要です。解らない内容を後回しにせず、その都度整理につとめましょう。質問はメールでも受け付けます。					

授業科目名		担当教員				
脳・神経機能障害学演習		堀 信宏・大場かおり・藤橋雄一郎 (代表教員 堀 信宏)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 後学期	1単位(30時間)	講義・演習	PPT502		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		堀信宏(理学療法士)、大場かおり(理学療法士)、藤橋雄一郎(理学療法士)				
授業概要						
本講義では、理学療法士として臨床で向き合う機会の多い5つの重要疾患(パーキンソン病、運動失調、脊髄損傷、多発性硬化症、ALS)の病態生理と治療戦略を教授します。5つの疾患の神経解剖学的メカニズムから「なぜ特有の運動障害を引き起こすのか」を紐解きます。その上で、エビデンスに基づいた評価法と、機能維持・環境調整を含む包括的な理学療法介入を学びます。解剖・病態から患者の生活の質(QOL)を支えるための柔軟な臨床推論力を身に付けましょう。						
学修の到達目標						
①神経疾患の病理や症状を学ぶための基礎(中枢神経の解剖・生理学の知識)を定着させること。 ②中枢神経系疾患の特徴的な病態と評価、合併症を学習し、障害像を形成すること。 ③中枢神経系疾患の各時期に応じた介入について疾患の特徴を踏まえて修得すること。 ④中枢神経疾患についての自身の力で文献検索を行い、常に新しい知見や治療法についての理解を深めること。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	脳の構造と機能①大脳基底核	①	大場	講義演習	テキストの該当箇所を一読しておきましょう。(30分)	配布資料とテキストを照らし合わせながら復習しておきましょう。(30分)
2	脳の構造と機能②小脳	①	大場	講義演習	テキストの該当箇所を一読しておきましょう。(30分)	配布資料とテキストを照らし合わせながら復習しておきましょう。(30分)
3	脳の構造と機能③脳幹	①	大場	講義演習	テキストの該当箇所を一読しておきましょう。(30分)	配布資料とテキストを照らし合わせながら復習しておきましょう。(30分)
4	パーキンソン病の病態	②	堀	講義	テキストの該当箇所を一読しておきましょう。(30分)	配布資料とテキストを照らし合わせながら復習しておきましょう。(30分)
5	パーキンソン病に対する理学療法	③ ④	堀	講義演習	テキストの該当箇所を一読しておきましょう。(30分)	配布資料とテキストを照らし合わせながら復習しておきましょう。(30分)
6	運動失調の病態	②	堀	講義演習	テキストの該当箇所を一読しておきましょう。(30分)	配布資料とテキストを照らし合わせながら復習しておきましょう。(30分)
7	運動失調に対する理学療法	③ ④	堀	講義	テキストの該当箇所を一読しておきましょう。(30分)	配布資料とテキストを照らし合わせながら復習しておきましょう。(30分)
8	脊髄損傷の病態	②	藤橋	講義演習	テキストのLECTURE23を読み内容を確認しておきましょう(30分)。	脊髄損傷の疫学、病態、随伴症状が説明できるようにしましょう(30分)。
9	脊髄損傷の評価	③ ④	藤橋	講義演習	テキストのLECTURE24を読み内容を確認しましょう(30分)。	脊髄損傷の神経学的評価、神経損傷レベルが理解できるようにしましょう(30分)。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	脊髄損傷に対する理学療法	③ ④	藤橋	講義 演習	テキストのLECTURE25を読み内容を確認しておきましょう (30分)。	脊髄損傷者の理学療法の進め方(急性期、回復期)と動作獲得の必要性を説明できるようにしましょう (30分)。
11	脊髄損傷に対する理学療法	③ ④	藤橋	講義 演習	テキストのLECTURE26を読み内容を確認しましょう (30分)。	損傷レベルに必要な獲得動作が述べられるようにしましょう (30分)。
12	多発性硬化症/重症筋無力症の病態	②	堀	講義 演習	テキストの該当箇所を一読しておきましょう。(30分)	配布資料とテキストを照らし合わせながら復習しておきましょう。(30分)
13	多発性硬化症/重症筋無力症に対する理学療法	③ ④	堀	講義 演習	テキストの該当箇所を一読しておきましょう。(30分)	配布資料とテキストを照らし合わせながら復習しておきましょう。(30分)
14	筋萎縮性側索硬化症の病態	②	堀	講義 演習	テキストの該当箇所を一読しておきましょう。(30分)	配布資料とテキストを照らし合わせながら復習しておきましょう。(30分)
15	筋萎縮性側索硬化症に対する理学療法	③ ④	堀	演習	事前に提示する「課題」に取り組む (30分)	文献から得られた知識・情報をまとめる (30分)
16	期末試験(筆記)					
評価基準・評価方法						
期末試験100%。各担当が行う小テストなどを基に出題する。提出物、授業への参加度を加味する。						
使用教科書						
理学療法テキスト 神経障害理学療法学Ⅰ第2版 / 責任編集：大畑光司—中山書店, 2020, 978-4-521-74496-4 理学療法テキスト 神経障害理学療法学Ⅱ第2版 / 責任編集：大畑光司—中山書店, 2021, 978-4-521-74497-1 病気がみえる7 脳・神経 第2版 / 医療情報科学研究所—メディックメディア, 2017, 978-4-89632-686-4						
参考図書						
ベットサイドの神経のみかた (南山堂) ビジュアル実践リハ 脳神経系リハビリテーション第2版 (羊土社)						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	小テストは随時返却/回答する					
実務経験をいかした教育内容	回復期リハビリテーション病棟勤務経験から、脊髄損傷の評価、理学療法プログラム立案と動作獲得の必要性についての思考力・実践力がみにつけられるよう授業を展開していく。					
備考	神経疾患は国家試験の出題が多い疾患です。障害像を掴むように努めてください。解らない内容を後回しにせずコツコツ理解するように努めてください。質問はメールでも受け付けます。					

授業科目名		担当教員				
骨・関節機能障害学		曾田直樹・植木 努 (代表教員 曾田直樹)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義・演習	PPT403		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		曾田直樹(理学療法士)、植木努(理学療法士)				
授業概要						
骨・関節機能障害学演習では、主に上肢の機能解剖学(運動学・解剖学)等基礎知識の確認を行うと共に、主要な整形外科、外科疾患である上肢の関節の骨折及び軟部組織損傷、変形性関節症などの病態理解を深める。また、各整形外科的検査法をはじめとする評価結果を踏まえ、結果をどのように解釈するのか、理学療法をどのような流れで展開させるのかなどを学ぶ。						
学修の到達目標						
①上肢の疾患についての病態を理解し、その理学療法を理論的に説明することができる。 ②臨床推論→評価項目抽出→検査→考察→問題点の抽出の流れを把握することができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	肩関節の疾患【基礎】 1. 肩甲骨の触診とアライメント評価 2. 肩甲骨腕リズムの評価	①	植木	演習	解剖学・運動学の復習(30分)	講義の復習(30分)
2	肩の疾患:肩関節周囲炎①	①	曾田	講義	解剖学・運動学の復習(30分)	講義の復習(30分)
3	肩の疾患:肩関節周囲炎②	①	曾田	講義	解剖学・運動学の復習(30分)	講義の復習(30分)
4	肩の疾患:骨折①	①	曾田 植木	講義	解剖学・運動学の復習(30分)	講義の復習(30分)
5	肩の疾患:骨折②	①	曾田	講義	解剖学・運動学の復習(30分)	講義の復習(30分)
6	肩関節の疾患【応用】 1. 肩甲骨周囲筋のストレッチ 2. 肩甲骨周囲筋の運動療法 3. 関節包靭帯の評価と治療 4. インピンジメント症候群の治療	①	植木	演習	解剖学・運動学の復習(30分)	講義の復習(30分)
7	肘関節・手関節の疾患【基礎】 1. 上腕骨遠位端、橈骨、尺骨、手根骨の触診 2. 肘関節の靭帯の触診	①	植木	演習	解剖学・運動学の復習(30分)	講義の復習(30分)
8	肘の疾患①内側側副靭帯損傷など	①	曾田	講義	解剖学・運動学の復習(30分)	講義の復習(30分)
9	肘の疾患②外側上顆炎など	①	曾田	講義	解剖学・運動学の復習(30分)	講義の復習(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	手の疾患①手根管症候群、TFCCなど	①	曾田	講義	解剖学・運動学の復習 (30分)	講義の復習 (30分)
11	手(指)の疾患②CM関節症、ドゥケルバン症候群など	①	曾田	講義	解剖学・運動学の復習 (30分)	講義の復習 (30分)
12	肘関節、手関節の疾患【応用】 1. 肘関節拘縮の治療 2. 手関節拘縮の治療	①	植木	演習	解剖学・運動学の復習 (30分)	講義の復習 (30分)
13	頸部の機能解剖および運動学	①	植木	講義	解剖学・運動学の復習 (30分)	講義の復習 (30分)
14	頸部の疾患：頸椎症性神経根症など	①	曾田	講義	解剖学・運動学の復習 (30分)	講義の復習 (30分)
15	頸部の疾患【基礎・応用】 1. 頸部の触診 2. 頸部筋のストレッチ	①	植木	演習	解剖学・運動学の復習 (30分)	講義の復習 (30分)
	定期試験 筆記					
評価基準・評価方法						
<p>評価基準：知識・理解、学修態度・意欲を重視 評価方法：定期試験（90%）、態度意欲（10%）にて総合的に判断する。</p>						
使用教科書						
<p>関節機能解剖学に基づく整形外科運動療法ナビゲーション 上肢・体幹 --改訂第2版-- / 整形外科リハビリテーション学会--メジカルビュー, 2014年, 978-4-7583-1478-7</p>						
参考図書						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	講義の中で解説					
実務経験をいかした教育内容	整形外科分野での臨床経験をもとに、理学療法に必要な疾病の知識や評価、治療の理論を教授する。					
備考						

授業科目名		担当教員				
骨・関節機能障害学演習		曾田直樹・植木 努 (代表教員 曾田直樹)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 後学期	1単位(30時間)	演習	PPT504		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		曾田直樹(理学療法士)、植木努(理学療法士)				
授業概要						
骨・関節機能障害学(下肢・体幹)では、理学療法を実施する機会の多い下肢・体幹の運動学、歩行における役割を学ぶ。また各関節に生じやすい疾病(大腿骨頸部骨折、T H Aなど)を中心に、運動学的見地を交えて障害を捉える方法について学ぶ。臨床運動学や骨関節治療技術と関連する。講義ではディスカッションなどを通して知識や動作の理解を深める。						
学修の到達目標						
①下肢、体幹の疾患についての病態を理解し、その理学療法を理論的に説明することができる。 ②臨床推論→評価項目抽出→検査→考察→問題点の抽出の流れを把握することができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	股関節の疾患【基礎】 1. 股関節周囲筋の触診とストレッチ	①	曾田 植木	演習	股関節の解剖学・運動学の復習(30分)	実技の復習(30分)
2	股関節の疾患：大腿骨頸部骨折	①	曾田 植木	演習	配布資料を熟読し、理解する(30分)	レポートおよび配布資料の復習(30分)
3	股関節の疾患：変形性股関節症①	①	曾田 植木	講義	配布資料を熟読し、理解する(30分)	レポートおよび配布資料の復習(30分)
4	股関節の疾患：変形性股関節症②	① ② ③	曾田 植木	演習	配布資料を熟読し、理解する(30分)	レポートおよび配布資料の復習(30分)
5	股関節の疾患【応用】 1. 大腿骨頸部骨折の理学療法 2. 変形性股関節症の理学療法	① ② ③	曾田 植木	演習	股関節講義の復習(30分)	実技の復習(30分)
6	膝関節・足関節の疾患【基礎】 1. 膝関節の触診と評価	① ② ③	曾田 植木	演習	膝関節・足関節の解剖学・運動学の復習(30分)	実技の復習(30分)
7	膝の疾患：変形性膝関節症	① ② ③	曾田 植木	演習	配布資料を熟読し、理解する(30分)	レポートおよび配布資料の復習(30分)
8	膝の疾患：変形性膝関節症	① ② ③	曾田 植木	演習	配布資料を熟読し、理解する(30分)	レポートおよび配布資料の復習(30分)
9	膝の疾患：半月板損傷、靭帯損傷	① ② ③	曾田 植木	演習	配布資料を熟読し、理解する(30分)	レポートおよび配布資料の復習(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	膝の疾患：骨折	① ② ③	曾田 植木	演習	配布資料を熟読し、 理解する（30分）	レポートおよび配布 資料の復習（30分）
11	足の疾患：捻挫、アキレス腱断裂など	① ② ③	曾田 植木	演習	配布資料を熟読し、 理解する（30分）	レポートおよび配布 資料の復習（30分）
12	膝関節・足関節の疾患【応用】 1. TKA術後の理学療法 2. 変形性膝関節症の理学療法 3. 足関節可動域制限の理学療法	① ② ③	曾田 植木	演習	膝関節・足関節の講 義の復習（30分）	実技の復習（30分）
13	腰椎の機能解剖と運動学	① ② ③	曾田 植木	演習	配布資料を熟読し、 理解する（30分）	レポートおよび配布 資料の復習（30分）
14	腰椎の疾患	① ② ③	曾田 植木	演習	配布資料を熟読し、 理解する（30分）	レポートおよび配布 資料の復習（30分）
15	腰部の疾患【基礎・応用】 1. 腰部の触診 2. 腰背部筋の理学療法	① ② ③	曾田 植木	演習	腰部の講義の復習 （30分）	実技の復習（30分）
	定期試験 筆記					
評価基準・評価方法						
<p>評価基準：知識・理解、学修態度・意欲を重視 評価方法：グループディスカッション参加度（20%）、レポート（期限提出）（30%）、期末試験（50%）</p>						
使用教科書						
<p>関節機能解剖学に基づく整形外科運動療法ナビゲーション 下肢 改訂第2版 / 林 典雄 浅野昭裕. --整形外科リハビリテーション学会--(株)メジカルビュー社, 2014年, 978-4-7583-1479-4</p>						
参考図書						
<p>プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論／運動器系 第3版 ISBN978-4-260-02534-8</p>						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	レポートの返却					
実務経験をいかした教育内容	整形外科分野での臨床経験をもとに、理学療法に必要な疾病の知識や評価、治療の理論を教授する。					
備考	骨関節機能障害の理解に必要な解剖学、運動学、疾患学などの知識の応用と実習に必要な臨床推論から問題点の抽出までの臨床における理学療法の考え方を学びます。分からないこと、理解できないことがあれば、すぐに質問してください。					

授業科目名		担当教員				
内部機能障害学		長谷部武久・河合克尚・亀山咲子 (代表教員 長谷部武久)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義	PPT405		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		長谷部武久(理学療法士)・河合克尚(理学療法士)・亀山咲子(理学療法士)				
授業概要						
循環器・呼吸器・代謝系疾患に対する理学療法について学習する。循環器に関しては、虚血性心疾患、心不全に対する理学療法、呼吸器は慢性閉塞性肺疾患に対する理学療法、代謝系では糖尿病に対する理学療法について、その理論的背景から評価、治療までを中心に学習する。						
学修の到達目標						
<small>①循環器系の解剖と生理について説明できる。 ②虚血性心疾患、心不全の病態について説明できる。 ③循環器疾患に対する理学療法評価と理学療法プログラムを列挙できる。 ④運動時の呼吸器系の適応について説明できる。 ⑤酸素化能障害と換気障害の概念を理解し、その評価および理学療法との関連を説明できる。 ⑥慢性閉塞性肺疾患と間質性肺炎の病態および呼吸機能を説明できる。 ⑦呼吸器疾患に対する理学療法評価と理学療法プログラムを列挙できる。 ⑧代謝系を理解し、メタボリックシンドロームとの関連を説明できる。 ⑨糖尿病の病態と検査、治療について説明できる。 ⑩糖尿病の合併症の評価結果の解釈とリスク管理について説明できる。 ⑪糖尿病に対する理学(運動)療法の評価とプログラムを列挙できる。</small>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	循環器系の解剖と生理	①	長谷部	講義	教科書p.11-20に目を通すこと(30分)	授業の内容を復習すること(30分)
2	虚血性心疾患の病態と治療	②	長谷部	講義	教科書p.21-25に目を通すこと(30分)	授業の内容を復習すること(30分)
3	心不全の病態と治療	②	長谷部	講義	教科書p.25-28に目を通すこと(30分)	授業の内容を復習すること(30分)
4	虚血性心疾患に対する理学療法評価と運動療法	③	長谷部	講義	教科書p.57-80に目を通すこと(30分)	授業の内容を復習すること(30分)
5	心不全に対する理学療法評価と運動療法	③	長谷部	講義	教科書p.81-92に目を通すこと(30分)	授業の内容を復習すること(30分)
6	運動と呼吸	④	河合	講義	教科書p.2-4、p.155-162に目を通す(30分)	授業の復習をする(30分)
7	酸素化能と換気能力	⑤	河合	講義	教科書p.179-188に目を通す(30分)	授業の復習をする(30分)
8	代表的な呼吸器疾患	⑥	河合	講義	教科書p.163-177から「COPD」と「間質性肺炎」に目を通す(30分)	授業の復習をする(30分)
9	呼吸器疾患に対する理学療法評価	⑦	河合	講義	教科書p.195-203、218-219に目を通す(30分)	授業の復習をする(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	慢性閉塞性肺疾患の理学療法	⑦	河合	講義	教科書p.220-238に目を通す (30分)	授業の復習をする (30分)
11	代謝系疾患 (メタボリックシンドローム) の病態 代謝系の役割 (p.203p.307-316)	⑧	亀山	講義	教科 (p.203p.307-316) に目を通しておこくこと (30分)	授業内容の復習をすること (30分)
12	糖尿病の病態 (p.317-320)	⑨	亀山	講義	教科書 (p.317-320) に目を通しておこくこと (30分)	授業内容の復習をすること (30分)
13	糖尿病の治療 (p.321-329)	⑨	亀山	講義	教科書 (p.321-329) に目を通しておこくこと (30分)	授業内容の復習をすること (30分)
14	糖尿病の障害理解 (p.321,333-344)	⑩	亀山	講義	教科書 (p.321,333-344) に目を通しておこくこと (30分)	授業内容の復習をすること (30分)
15	糖尿病の理学 (運動) 療法 (p.345-363)	⑪	亀山	講義	教科書 (p.345-363) に目を通しておこくこと (30分)	授業内容の復習をすること (30分)
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
定期試験 (100%)						
使用教科書						
内部障害理学療法学テキスト / 山崎裕司ほか.--南江堂, 改訂第4版, 978-4-524-23117-1						
参考図書						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	授業の理解度を確保するための小テストを実施します。その直後に解説を行います。					
実務経験をいかした教育内容	各教員は総合病院、訪問リハ、介護老人保健施設、クリニックで培った知識を基に、虚血性心疾患、心不全、慢性閉塞性肺疾患、糖尿病に対する理学療法の理論的背景から評価、治療までを学び、臨床に必要な知識・思考力を育みます。					
備考	授業終了後やメールにて質問を受け付けます。 長谷部：t.hasebe@heisei-iryuu.ac.jp 河合：k.kawai@heisei-iryuu.ac.jp 亀山：s.kameyama@heisei-iryuu.ac.jp					

授業科目名		担当教員				
内部機能障害学演習		長谷部武久・河合克尚・亀山咲子 (代表教員 長谷部武久)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 後学期	1単位(30時間)	演習	PPT506		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		長谷部武久(理学療法士)・河合克尚(理学療法士)・亀山咲子(理学療法士)				
授業概要						
「内部機能障害学」で学習した循環器・呼吸器・代謝の各理学療法に関する知識をもとに、内部疾患に対する理学療法における問題解決型学習を中心に実践する。具体的には解剖学的・症候学的視点から治療アプローチの関連性について理解を深めること、グループワーク形式を用いてコミュニケーション能力や問題解決能力の向上を図る。						
学修の到達目標						
①臨床検査や理学療法評価から循環器疾患の問題点と理学療法プログラムを列挙できる。 ②循環器疾患に対する理学療法評価の方法を説明できる。 ③臨床検査や理学療法評価から慢性閉塞性肺疾患の問題点と理学療法プログラムを列挙できる。 ④呼吸器疾患に対する理学療法評価の方法を説明できる。 ⑤臨床検査や理学療法評価から糖尿病における理学(運動療法)療法の問題点とプログラムを列挙できる。 ⑥糖尿病足病変に対する理学療法評価の方法を説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	症例検討(虚血性心疾患・心不全) PBLグループワーク	①	長谷部	演習	内部機能障害学の復習をする(30分)	グループ討論の内容を整理する(30分)
2	症例検討(虚血性心疾患・心不全) PBLグループワーク	①	長谷部	演習	症例情報をもとに調べ学習をする(30分)	グループ討論の内容を整理する(30分)
3	症例検討(慢性閉塞性肺疾患) グループ発表	①	長谷部	演習	発表資料をまとめる(30分)	症例検討から学んだことを整理する(30分)
4	症例検討(慢性閉塞性肺疾患) PBLグループワーク	③	河合	演習	内部機能障害学の復習をする(30分)	グループ討論の内容を整理する(30分)
5	症例検討(慢性閉塞性肺疾患) PBLグループワーク	③	河合	演習	症例情報をもとに調べ学習をする(30分)	グループ討論の内容を整理する(30分)
6	症例検討(慢性閉塞性肺疾患) グループ発表	③	河合	演習	発表資料をまとめる(30分)	症例検討から学んだことを整理する(30分)
7	症例検討(糖尿病) PBLグループワーク	⑤	亀山	演習	内部機能障害学の復習をする(30分)	グループ討論の内容を整理する(30分)
8	症例検討(糖尿病) PBLグループワーク	⑤	亀山	演習	症例情報をもとに調べ学習をする(30分)	症例検討から学んだことを整理する(30分)
9	症例検討(糖尿病) PBLグループワーク	⑤	亀山	演習	発表資料をまとめる(30分)	症例検討から学んだことを整理する(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	循環器疾患に対する理学療法評価（運動耐容能）	②	長谷部	演習	教科書p.39-46に目を通すこと（30分）	演習内容の復習をすること（30分）
11	循環器疾患に対する理学療法評価（運動耐容能）	②	長谷部	演習	教科書p.39-46に目を通すこと（30分）	演習内容の復習をすること（30分）
12	呼吸器疾患に対する理学療法評価	④	河合	演習	内部機能障害学の復習をする（30分）	実技練習を行う（30分）
13	呼吸器疾患に対する理学療法評価	④	河合	演習	内部機能障害学の復習をする（30分）	実技練習を行う（30分）
14	糖尿病足病変に対する理学療法評価	⑥	亀山	演習	教科書（p.364-374）に目を通しておこくこと（30分）	授業内容の復習をすること（30分）
15	糖尿病足病変に対する理学療法評価	⑥	亀山	演習	内部機能障害学の復習をする（30分）	実技練習を行う（30分）
	定期試験（筆記）					
評価基準・評価方法						
筆記試験（90%） 課題レポート（10%）						
使用教科書						
内部障害理学療法学テキスト / 山崎裕司ほか. --南江堂, 978-4-524-25479-8						
参考図書						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	課題レポートはコメントして即時返却します。					
実務経験をいかした教育内容	各教員が総合病院、訪問リハ、介護老人保健施設、クリニックで培った理学療法の実務経験を基に、臨床ケーススタディを通じて、学生は病態生理学や評価項目の選定、患者に対する効果的な治療計画の立案に必要なスキルを身につけます。専門知識が、臨床実践力の向上に繋がるように授業を展開します。					
備考	授業終了後やメールにて質問を受け付けます。 長谷部：t.hasebe@heisei-iryuu.ac.jp 河合：k.kawai@heisei-iryuu.ac.jp 亀山：s.kameyama@heisei-iryuu.ac.jp					

授業科目名		担当教員				
発達機能障害学		松田充弘・伊達文香（代表教員 松田充弘）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 後学期	1単位(30時間)	講義	PPT507		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		松田充弘(理学療法士)、伊達文香(理学療法士)				
授業概要						
成人の障害は、一度獲得した機能の回復となるが、小児での障害に対しては、障害に応じて発達を築き上げていく必要がある。発達を促していくために必要な正常発達について、主に運動に注目して学習する。小児特有の疾患である脳性麻痺・二分脊椎・筋ジストロフィー症について、障害の特徴・評価・治療について学習する。特に脳性麻痺については、タイプによる特徴・問題点・治療方法について詳しく学習する。						
学修の到達目標						
①姿勢・運動の障害の分析が質的に行うことができる。 ②正常運動発達を理解し、肢体不自由児の発達、運動の問題点を理解できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	発達障害学概論・正常発達概論（小児期で理学療法の対象になる疾患について）	②	松田	講義	資料が事前に配布されていれば、正常発達まで目を通しておく。(30分)	解剖学の再確認、講義資料の復習(30分)
2	正常発達 新生児期～6ヶ月（出生してから、どのようにして頸が座るのか？どのようにして座れるようになるのか？）	②	松田	講義	You tubeで正常発達（新生児期～歩き始めまで）の動画を見ておく。(30分)	講義資料の復習、板書のまとめ(30分)
3	正常発達 7ヶ月～12ヶ月（どのようにして歩行を獲得するのか？）	②	松田	講義	You tubeで正常発達（新生児期～歩き始めまで）の動画を見ておく。(30分)	講義資料の復習、板書のまとめ(30分)
4	脳性麻痺概論（脳性麻痺の原因・特徴・問題点について）評価概論	②	松田	講義	該当する講義資料部分を目を通して予習しておく。(30分)	講義資料の復習、板書のまとめ(30分)
5	評価（姿勢筋緊張・姿勢・動作分析など）	①	松田	講義	運動学を復習し姿勢保持に必要な筋活動を確認しておく。(30分)	講義資料の復習、板書のまとめ(30分)
6	評価（日常生活動作の評価について）	①	松田	講義	運動学を復習し姿勢保持に必要な筋活動を確認しておく。(30分)	自分の食事動作、更衣動作を講義の内容を復習しながら分析してみてください。(30分)
7	脳性麻痺類型別痙直型両麻痺（障害の特徴について）	①	松田	講義	該当する講義資料部分を目を通して予習しておく。(30分)	講義資料の復習、板書のまとめ、線図で姿勢を描けるようにしておきましょう。(30分)
8	脳性麻痺類型別痙直型両麻痺（問題点、理学療法について）	②	松田	講義	該当する講義資料部分を目を通して予習しておく。(30分)	講義資料の復習、板書のまとめ、線図で姿勢を描けるようにしておきましょう。(30分)
9	脳性麻痺類型別痙直型四肢麻痺（障害・問題点・理学療法について）	②	松田	講義	該当する講義資料部分を目を通して予習しておく。(30分)	講義資料の復習、板書のまとめ(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	脳性麻痺類型別片麻痺（障害の特徴・問題点・治療について）	②	松田	講義	該当する講義資料部分を目を通して予習しておく。（30分）	講義資料の復習、板書のまとめ、線図で姿勢を描けるようにしておきましょう。（30分）
11	脳性麻痺類型別アテトーゼ（障害の特徴について）	②	松田	講義	該当する講義資料部分を目を通して予習しておく。（30分）	講義資料の復習、板書のまとめ、線図で姿勢を描けるようにしておきましょう。（30分）
12	脳性麻痺類型別アテトーゼ（問題点・治療）	②	松田	講義	該当する講義資料部分を目を通して予習しておく。（30分）	講義資料の復習、板書のまとめ（30分）
13	二分脊椎・筋ジストロフィー症（障害・問題点・理学療法について）	②	伊達	講義	対象疾患の基礎的特徴について事前に予習しておく。（30分）	講義資料の復習と要点の整理を行い、理解を深める。（30分）
14	染色体異常症（障害・問題点・理学療法について）	②	伊達	講義	対象疾患の基礎的特徴について事前に予習しておく。（30分）	講義資料の復習と要点の整理を行い、理解を深める。（30分）
15	発達障害（障害・問題点・理学療法について）	②	伊達	講義	対象疾患の基礎的特徴について事前に予習しておく。（30分）	講義資料の復習と要点の整理を行い、理解を深める。（30分）
	定期試験（筆記）					
評価基準・評価方法						
筆記試験100%						
使用教科書						
プリントを配布します。						
参考図書						
講義の際に紹介します。						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	講義のみで課題の提出はありません。					
実務経験をいかした教育内容	脳血管障害、脳性麻痺の専門病院で4年勤務後、一般病院の外来で脳性麻痺を主とした小児疾患の理学療法を30年経験している。20年以上担当している症例も複数例あり、乳児期から成人になるまでの障害の状態の変化についても経験している。治療介入する為に必要な運動分析、問題点・治療の介入が出来るように進める。					
備考	板書を多くしますので、ノートなどを準備して下さい。					

授業科目名		担当教員				
物理療法学		辻 圭一・大場かおり (代表教員 辻 圭一)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義・演習	PPT408		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)の達成に寄与している。		辻圭一(理学療法士) 大場かおり(理学療法士)				
授業概要						
物理療法は物理的手段で生体の自然治癒力を高めるものである。理学療法の治療体系での位置づけを学び、各種エネルギーが生体に与える生理学的作用・治療効果・治療目的・適応と禁忌について学習する。さらに物理療法機器を実際に用いてグループで演習を行ない、治療効果、使用方法、使用上の注意、安全確保についてグループでディスカッションしてレポートを作成する。						
学修の到達目標						
①温熱や寒冷が人体にもたらす生理学的、物理的影響を理解すること。 ②疾患の特性、患部の状況に応じた治療方法の選択ができること。 ③使用機器の特性を理解し、対象者に適切に説明し安全に配慮してできること。 ④効果的かつ安全な物理療法技術について理解し習得すること。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	物理療法の総説：定義、歴史、効果、リスク管理	①	大場	講義	テキストの該当箇所を読んでおきましょう。(30分)	配布プリントを用いて講義内容の振り返りをしておきましょう。(30分)
2	温熱の物理学・生理学	①	大場	講義	テキストの該当箇所を読んでおきましょう。(30分)	配布プリントを用いて講義内容の振り返りをしておきましょう。(30分)
3	ホットパック療法 パラフィン療法	① ② ③	大場	講義	テキストの該当箇所を読んでおきましょう。(30分)	講義内容(各療法の 特徴、適応、禁忌事項)の振り返りをしておきましょう。(30分)
4	電磁波療法の概要 超短波、極超短波療法	① ② ③	大場	講義	テキストの該当箇所を読んでおきましょう。(30分)	講義内容(各療法の 特徴、適応、禁忌事項)の振り返りをしておきましょう。(30分)
5	超音波療法の概要	① ②	大場	講義	テキストの該当箇所を読んでおきましょう。(30分)	講義内容(各療法の 特徴、適応、禁忌事項)の振り返りをしておきましょう。数値を覚えましょう。(30分)
6	超音波療法の実際	① ② ③	大場	講義	テキストの該当箇所を読んでおきましょう。(30分)	講義内容(各療法の 特徴、適応、禁忌事項)の振り返りをしておきましょう。数値を覚えましょう。30分)
7	寒冷の生理学 寒冷療法の概要	① ② ③	大場	講義	テキストの該当箇所を読んでおきましょう。(30分)	配布プリントを用いて講義内容の振り返りをしておきましょう。(30分)
8	電気刺激療法Ⅰ(総論)	① ② ③	辻	講義	テキストの該当箇所を読んでおきましょう。(30分)	講義内に出てきた専門用語について覚える。(30分)
9	電気刺激療法Ⅱ(各種療法)	① ② ③	辻	講義	テキストの該当箇所を読んでおきましょう。(30分)	講義内に出てきた専門用語について覚える。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	光線療法総論（概要と治療原理）	① ② ③	辻	講義	テキストの該当箇所を読んでおきましょう。（30分）	講義内に出てきた専門用語について覚える。（30分）
11	光線療法各論（紫外線、レーザー、赤外線）	① ② ③	辻	講義	テキストの該当箇所を読んでおきましょう。（30分）	講義内に出てきた専門用語について覚える。（30分）
12	牽引療法	① ② ③	辻	講義	テキストの該当箇所を読んでおきましょう。（30分）	講義内に出てきた専門用語について覚える。（30分）
13	水治療法	① ② ③	辻	講義	テキストの該当箇所を読んでおきましょう。（30分）	講義内に出てきた専門用語について覚える。（30分）
14	物理療法演習	① ② ③	辻 大場	演習	各モダリティの特徴、禁忌、実施上の注意点を確認しておきましょう（30分）	グループワークの内容を振りかえりレポートを完成させましょう。（30分）
15	物理療法演習	① ② ③	辻 大場	演習	各モダリティの特徴、禁忌、実施上の注意点を確認しておきましょう（30分）	グループワークの内容を振りかえりレポートを完成させましょう。（30分）
	期末試験					
評価基準・評価方法						
期末試験および演習時の態度、課題レポートも評価対象とする。						
使用教科書						
最新理学療法学講座 物理療法学 / 烏野大 川村博文 編著. -- 医歯薬出版株式会社, 978-4-263-26737-0						
参考図書						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	講義内で提示した課題について、適宜解説する。					
実務経験をいかした教育内容	医療機関勤務の経験により、物理療法の原理だけではなく、治療における工夫や配慮すべき機器の操作方法を教授する。					
備考						

授業科目名		担当教員				
スポーツ理学療法学		澤村彰吾				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義・演習	PPT409		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		澤村彰吾(理学療法士)				
授業概要						
<p>スポーツ理学療法とは、様々な目的をもってスポーツに取り組む対象者が、効率よく安全にスポーツ活動を実践できるよう、理学療法士の知識や技能を活用していくものである。本講義では、スポーツ外傷・障害を中心に、その概要・発生メカニズムなどについて講義し、それらに対する基本的な理学療法を学ぶ。講義の中ではグループディスカッションやテーピング演習などの実技演習も行い、より実践的な知識・技術の習得を目指していく。</p>						
学修の到達目標						
<p>①基本的なスポーツ理学療法・外傷を説明できる ②基本的なスポーツ理学療法が実践できる ③スポーツ現場における理学療法士の役割を説明できる</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	スポーツ理学療法概論	① ③	澤村	講義	「スポーツ医学」の内容を復習しておく(30分)	小テスト及び配布資料の復習(30分)
2	肩関節の基本的な解剖とスポーツ疾患	① ② ③	澤村	講義演習	前回の配布資料を熟読する(30分)	小テスト及び配布資料の復習(30分)
3	腱板損傷	① ② ③	澤村	講義演習	前回の配布資料を熟読する(30分)	小テスト及び配布資料の復習(30分)
4	肩関節前方脱臼(反復性肩関節脱臼)	②	澤村	講義演習	前回の配布資料を熟読する(30分)	小テスト及び配布資料の復習(30分)
5	肘関節の基本的な解剖とスポーツ疾患	②	澤村	講義演習	前回の配布資料を熟読する(30分)	小テスト及び配布資料の復習(30分)
6	投球障害①	① ②	澤村	講義演習	前回の配布資料を熟読する(30分)	小テスト及び配布資料の復習(30分)
7	投球障害②	① ②	澤村	講義演習	前回の配布資料を熟読する(30分)	小テスト及び配布資料の復習(30分)
8	股関節の基本的な解剖とスポーツ疾患	① ②	澤村	講義演習	前回の配布資料を熟読する(60分)	小テスト及び配布資料の復習(60分)
9	大腿部疾患	① ②	澤村	講義演習	前回の配布資料を熟読する(30分)	小テスト及び配布資料の復習(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	膝・足関節の基本的な解剖とスポーツ疾患	① ②	澤村	講義 演習	前回の配布資料を熟読する (30分)	小テスト及び配布資料の復習 (30分)
11	前十字靭帯損傷①	① ②	澤村	講義 演習	前回の配布資料を熟読する (30分)	小テスト及び配布資料の復習 (30分)
12	前十字靭帯損傷②	① ②	澤村	講義 演習	前回の配布資料を熟読する (30分)	小テスト及び配布資料の復習 (30分)
13	足関節捻挫	① ②	澤村	講義 演習	前回の配布資料を熟読する (30分)	小テスト及び配布資料の復習 (30分)
14	テーピング演習① (膝関節)	① ②	澤村	講義 演習	前回の配布資料を熟読する (30分)	小テスト及び配布資料の復習 (30分)
15	テーピング演習② (足関節)	① ②	澤村	講義 演習	前回の配布資料を熟読する (30分)	小テスト及び配布資料の復習 (30分)
	定期テスト (筆記)					
評価基準・評価方法						
小テストおよび定期試験を合算し100% 詳細は初回講義にて説明する。						
使用教科書						
「運動療法のための機能解剖学的触診技術上肢・下肢」、「プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論・運動器系」、 「サブブック」を持参すること。						
参考図書						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	小テスト後に問題の解説を行う。また、授業後やメールなどに質問を受け付ける。					
実務経験をいかした教育内容	医療機関やスポーツ現場での職務経験をもとに、スポーツ理学療法の実践力が身に付けられるように授業を展開していく。					
備考	授業では講義に加えグループ学習やディスカッションを行う。また、各講義にて小テストを実施する。質問等がある場合は、授業後やメール等を積極的に活用すること。					

授業科目名		担当教員				
義肢学		篠田信之・石田裕保 (代表教員 篠田信之)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義・演習	PPT410		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		篠田信之(義肢装具士)、石田裕保(理学療法士)				
授業概要						
義肢装具学では、切断者の術前評価・術後管理から各義肢の目的・機能等を学ぶ。義肢装着時の歩行のチェックアウト(異常歩行の問題点を抽出)が行えるようにする。						
学修の到達目標						
①基本的構造と機能を理解する。 ②病態を理解し、適切な義肢を処方出来るようにする。 ③チェックアウトを理解する						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	義肢学総論；義肢全般の考え方・ヒストリー	①	篠田	講義	講義前に授業計画内容と教科書を照らし合わせて該当範囲を一読して下さい。(30分)	学んだ知識を整理しノートにまとめるようにして下さい。講義で習った義肢の名称、機能、使用目的をしっかりと覚えてください。(30分)
2	切断術について①；切断の原因及び切断部位、切断部位の選択、切断術	① ②	篠田	講義	講義前に授業計画内容と教科書を照らし合わせて該当範囲を一読して下さい。(30分)	学んだ知識を整理しノートにまとめるようにして下さい。講義で習った切断原因、切断名称、切断術などをしっかりと覚えてください。(30分)
3	切断術について②；切断の原因及び切断部位、切断部位の選択、切断術	① ②	篠田	講義	講義前に授業計画内容と教科書を照らし合わせて該当範囲を一読して下さい。(30分)	学んだ知識を整理しノートにまとめるようにして下さい。講義で習った切断原因、切断名称、切断術などをしっかりと覚えてください。(30分)
4	断端ケアと訓練①；各ドレッシング方法について(実技、幻肢、幻肢痛、浮腫)	① ②	篠田	講義	講義前に授業計画内容と教科書を照らし合わせて該当範囲を一読して下さい。(30分)	学んだ知識を整理しノートにまとめるようにして下さい。講義で習った綺麗な断端を作るための方法、切断したときに起こる現象をしっかりと覚えてください。(30分)
5	断端ケアと訓練②；各ドレッシング方法について(実技、幻肢、幻肢痛、浮腫)、弾性包帯の巻き方	① ②	篠田 石田	演習	講義前に授業計画内容と教科書を照らし合わせて該当範囲を一読して下さい。(30分)	学んだ知識を整理しノートにまとめるようにして下さい。講義で習った綺麗な断端を作るための方法、切断したときに起こる現象をしっかりと覚えてください。(30分)
6	義肢各パーツ①；ソケット・継手など義肢の基本事項、義足	①	篠田	講義	講義前に授業計画内容と教科書を照らし合わせて該当範囲を一読して下さい。(30分)	学んだ知識を整理しノートにまとめるようにして下さい。講義で習った義肢の名称、機能、使用目的をしっかりと覚えてください。(30分)
7	義肢各パーツ②；ソケット・継手など義肢の基本事項、義足	①	篠田	講義	講義前に授業計画内容と教科書を照らし合わせて該当範囲を一読して下さい。(30分)	学んだ知識を整理しノートにまとめるようにして下さい。講義で習った義肢の名称、機能、使用目的をしっかりと覚えてください。(30分)
8	義肢①；膝・足及びアライメント、継手の機能と種類	①	篠田	講義	講義前に授業計画内容と教科書を照らし合わせて該当範囲を一読して下さい。(30分)	学んだ知識を整理しノートにまとめるようにして下さい。講義で習った義肢の名称、機能、使用目的をしっかりと覚えてください。(30分)
9	義肢②；膝・足及びアライメント、継手の機能と種類	①	篠田	講義	講義前に授業計画内容と教科書を照らし合わせて該当範囲を一読して下さい。(30分)	学んだ知識を整理しノートにまとめるようにして下さい。講義で習った義肢の名称、機能、使用目的をしっかりと覚えてください。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	義肢①；大腿義足・下腿義足チェックアウト 大腿・下腿、膝継手の立脚相、遊脚相の役目、足部	① ③	篠田	講義	講義前に授業計画内容と教科書を照らし合わせて該当範囲を一読して下さい。(30分)	学んだ知識を整理しノートにまとめるようにして下さい。講義で習った義肢の名称、機能、使用目的をしっかりと覚えてください。(30分)
11	義肢②；大腿義足・下腿義足チェックアウト 大腿・下腿、膝継手の立脚相、遊脚相の役目、足部	① ③	篠田	講義	講義前に授業計画内容と教科書を照らし合わせて該当範囲を一読して下さい。(30分)	学んだ知識を整理しノートにまとめるようにして下さい。講義で習った義肢の名称、機能、使用目的をしっかりと覚えてください。(30分)
12	異常歩行①；大腿義足、下腿義足（膝・サイム足）、義手	① ② ③	篠田	講義	講義前に授業計画内容と教科書を照らし合わせて該当範囲を一読して下さい。(30分)	講義で習った異常歩行の特長と改善策をまとめるようにしましょう。(30分)
13	異常歩行②；大腿義足、下腿義足（膝・サイム足）、義手	① ② ③	篠田	講義	講義前に授業計画内容と教科書を照らし合わせて該当範囲を一読して下さい。(30分)	講義で習った異常歩行の特長と改善策をまとめるようにしましょう。(30分)
14	異常歩行③；大腿義足、下腿義足（膝・サイム足）、義手	① ② ③	篠田	講義	講義前に授業計画内容と教科書を照らし合わせて該当範囲を一読して下さい。(30分)	講義で習った異常歩行の特長と改善策をまとめるようにしましょう。(30分)
15	義足の異常歩行・解決策について	① ② ③	篠田	講義	1回から14回までの講義を復習してください。(30分)	学んだ知識を整理しノートにまとめるようにして下さい。(30分)
	期末試験					

評価基準・評価方法

期末試験（記述）にて判断する。

使用教科書

15 レクチャーシリーズ理学療法テキスト 義肢学 / 石川朗、永富史子。--中山書店、2022年、978-4-521-74490-2

参考図書

課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	期末試験によって発表する。
実務経験をいかした教育内容	現在は、名光ブレースという会社を立ち上げ、義肢装具を製作しています。多くの病院と契約を結び患者様により良いものを提供できるようにしています。また、リハビリテーション教育に長く携わっており、学修の到達目標を達成できるよう教授していきます。
備考	

授業科目名		担当教員				
装具学		石田裕保				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 後学期	1単位(30時間)	講義	PPT511		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		石田裕保(理学療法士)				
授業概要						
装具の種類・機能・使用目的などを学ぶ。動作に必要な運動機能と装具の物理的特性との関連を理解することにより、障害に応じた装具の選択、チェックアウトを確認できるようにする。						
学修の到達目標						
①基本的構造と機能を理解する。 ②病態を理解し、適切な装具を処方出来るようにする。 ③チェックアウトを理解する						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	装具学総論;歴史・定義・目的・種類・分類・材料・制作過程(法制度)・E B M	①	石田	講義	講義前に授業計画内容と教科書を照らし合わせて該当範囲を一読して下さい。(30分)	学んだ知識を整理しノートにまとめるようにして下さい。講義で習った装具の名称、機能、使用目的をしっかりと覚えてください。(30分)
2	下肢装具について①;種類と機能、継手	①	石田	講義	講義前に授業計画内容と教科書を照らし合わせて該当範囲を一読して下さい。(30分)	学んだ知識を整理しノートにまとめるようにして下さい。講義で習った装具の名称、機能、使用目的をしっかりと覚えてください。(30分)
3	下肢装具について②;種類と機能、継手	①	石田	講義	講義前に授業計画内容と教科書を照らし合わせて該当範囲を一読して下さい。(30分)	学んだ知識を整理しノートにまとめるようにして下さい。講義で習った装具の名称、機能、使用目的をしっかりと覚えてください。(30分)
4	短下肢装具;種類と機能	①	石田	講義	講義前に授業計画内容と教科書を照らし合わせて該当範囲を一読して下さい。(30分)	学んだ知識を整理しノートにまとめるようにして下さい。講義で習った装具の名称、機能、使用目的をしっかりと覚えてください。(30分)
5	長下肢装具、杖;種類と機能	①	石田	講義	講義前に授業計画内容と教科書を照らし合わせて該当範囲を一読して下さい。(30分)	学んだ知識を整理しノートにまとめるようにして下さい。講義で習った装具の名称、機能、使用目的をしっかりと覚えてください。(30分)
6	下肢装具の作成について	②	石田	講義	講義前に授業計画内容と教科書を照らし合わせて該当範囲を一読して下さい。(30分)	学んだ知識を整理しノートにまとめるようにして下さい。講義で習った装具の名称、機能、使用目的をしっかりと覚えてください。(30分)
7	靴型装具①;種類と各種補正	①	石田	講義	講義前に授業計画内容と教科書を照らし合わせて該当範囲を一読して下さい。(30分)	学んだ知識を整理しノートにまとめるようにして下さい。講義で習った装具の名称、機能、使用目的をしっかりと覚えてください。(30分)
8	靴型装具②;種類と各種補正	①	石田	講義	講義前に授業計画内容と教科書を照らし合わせて該当範囲を一読して下さい。(30分)	学んだ知識を整理しノートにまとめるようにして下さい。講義で習った装具の名称、機能、使用目的をしっかりと覚えてください。(30分)
9	下肢装具のチェックアウト①;支柱付き長下肢装具・短下肢装具、プラスチック製短下肢装具	②	石田	講義	講義前に授業計画内容と教科書を照らし合わせて該当範囲を一読して下さい。(30分)	学んだ知識を整理しノートにまとめるようにして下さい。講義で習った装具の名称、機能、使用目的をしっかりと覚えてください。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	下肢装具のチェックアウト②;支柱付き長下肢装具・短下肢装具、プラスチック製短下肢装具	②	石田	講義	講義前に授業計画内容と教科書を照らし合わせて該当範囲を一読して下さい。(30分)	学んだ知識を整理しノートにまとめるようにして下さい。講義で習った装具の名称、機能、使用目的をしっかりと覚えてください。(30分)
11	①各体幹装具、側彎症装具;頸椎、胸椎、腰椎、仙椎装具及び特殊装具、コブ角計測方法について	③	石田	講義	講義前に授業計画内容と教科書を照らし合わせて該当範囲を一読して下さい。(30分)	学んだ知識を整理しノートにまとめるようにして下さい。講義で習った装具の名称、機能、使用目的をしっかりと覚えてください。(30分)
12	②各体幹装具、側彎症装具;頸椎、胸椎、腰椎、仙椎装具及び特殊装具、コブ角計測方法について	③	石田	講義	講義前に授業計画内容と教科書を照らし合わせて該当範囲を一読して下さい。(30分)	学んだ知識を整理しノートにまとめるようにして下さい。講義で習った装具の名称、機能、使用目的をしっかりと覚えてください。(30分)
13	①手の装具、特殊装具(ペルテス病、先天性股関節脱臼、先天性内反足、脳性麻痺など)	③	石田	講義	講義前に授業計画内容と教科書を照らし合わせて該当範囲を一読して下さい。(30分)	学んだ知識を整理しノートにまとめるようにして下さい。講義で習った装具の名称、機能、使用目的をしっかりと覚えてください。(30分)
14	②手の装具、特殊装具(ペルテス病、先天性股関節脱臼、先天性内反足、脳性麻痺など)	③	石田	講義	講義前に授業計画内容と教科書を照らし合わせて該当範囲を一読して下さい。(30分)	学んだ知識を整理しノートにまとめるようにして下さい。講義で習った装具の名称、機能、使用目的をしっかりと覚えてください。(30分)
15	高次脳機能障害、整形疾患、脊髄損傷に対する装具	① ② ③	石田	講義	1回から14回の講義の復習を行って下さい。(30分)	学んだ知識を整理しノートにまとめるようにして下さい。(30分)
	期末試験					
評価基準・評価方法						
期末試験(80%)、小テスト(20%)にて判断する。						
使用教科書						
15 レクチャーシリーズ理学療法テキスト 装具学 / 石川朗、佐竹将宏。--中山書店、2020年、978-4-521-74491-9						
参考図書						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	期末試験発表をもって伝える					
実務経験をいかした教育内容	総合病院、訪問リハ、デイサービスなどの施設での勤務経験を基に、学修の到達目標を達成できるよう工夫をして教授していきます。					
備考						

授業科目名		担当教員				
日常生活活動学		石田裕保・大場かおり・亀山咲子 (代表教員 石田裕保)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	講義・演習	PPT212		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		石田裕保、大場かおり、亀山咲子 (すべて理学療法士)				
授業概要						
理学療法では日常生活活動の改善を主要な治療目標としている。その基礎知識として概念、目標、範囲を整理し、障害構造(ICF)などを教授する。脳血管障害、脊髄損傷、慢性疼痛など日常生活に支障を生じる主要な疾患を想定し、動作分析の方法を教授する。臨床実習で直接的に患者様に関わる時に必要となる「動作介助」の実技を2人1組で行い、指導方法、介助技術〔言葉の使い方、介助の程度、介助の方法〕を教授する。又、生活範囲を広げていく為に必要な補装具や福祉用具の使用法についても教授する。主に車椅子、杖の使い方、段差・階段移動等を中心に指導を進める。						
学修の到達目標						
①動作介助の実技を習得する。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	動作介助総論	①	石田 大場 亀山	演習	講義前に授業計画内容と教科書(イラストによる安全な動作介助の手引き)を照らし合わせて範囲を一読して下さい。(30分)	講義時間以外の時間を確保し、教室の使用許可を得て、実技の練習を行って下さい。(30分)
2	歩行器、車椅子、車椅子の取り扱いについて	②	石田 大場 亀山	演習 オム ニバス	講義前に授業計画内容と教科書(イラストによる安全な動作介助の手引き)を照らし合わせて範囲を一読して下さい。(30分)	講義時間以外の時間を確保し、教室の使用許可を得て、実技の練習を行って下さい。(30分)
3	杖・松葉杖歩行・車椅子移動介助	①	石田 大場 亀山	演習 オム ニバス	講義前に授業計画内容と教科書(イラストによる安全な動作介助の手引き)を照らし合わせて範囲を一読して下さい。(30分)	講義時間以外の時間を確保し、教室の使用許可を得て、実技の練習を行って下さい。(30分)
4	片麻痺スーツ体験	①	石田 大場 亀山	演習 オム ニバス	講義前に授業計画内容と教科書(イラストによる安全な動作介助の手引き)を照らし合わせて範囲を一読して下さい。(30分)	講義時間以外の時間を確保し、教室の使用許可を得て、実技の練習を行って下さい。(30分)
5	いざり動作、背臥位からの動作介助	①	石田 大場 亀山	演習 オム ニバス	講義前に授業計画内容と教科書(イラストによる安全な動作介助の手引き)を照らし合わせて範囲を一読して下さい。(30分)	講義時間以外の時間を確保し、教室の使用許可を得て、実技の練習を行って下さい。(30分)
6	トランスファー(車椅子⇄ベッド)	①	石田 大場 亀山	演習	講義前に授業計画内容と教科書(イラストによる安全な動作介助の手引き)を照らし合わせて範囲を一読して下さい。(30分)	講義時間以外の時間を確保し、教室の使用許可を得て、実技の練習を行って下さい。(30分)
7	床と車椅子間の移乗動作介助	①	石田 大場 亀山	演習	講義前に授業計画内容と教科書(イラストによる安全な動作介助の手引き)を照らし合わせて範囲を一読して下さい。(30分)	講義時間以外の時間を確保し、教室の使用許可を得て、実技の練習を行って下さい。(30分)
8	脳卒中片麻痺患者に対する動作介助	①	石田 大場 亀山	演習	講義前に授業計画内容と教科書(イラストによる安全な動作介助の手引き)を照らし合わせて範囲を一読して下さい。(30分)	講義時間以外の時間を確保し、教室の使用許可を得て、実技の練習を行って下さい。(30分)
9	骨折患者に対する動作介助	①	石田 大場 亀山	演習	講義前に授業計画内容と教科書(イラストによる安全な動作介助の手引き)を照らし合わせて範囲を一読して下さい。(30分)	講義時間以外の時間を確保し、教室の使用許可を得て、実技の練習を行って下さい。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	床からの立ち上がり動作介助	①	石田 大場 亀山	演習	講義前に授業計画内容と教科書（イラストによる安全な動作介助の手引き）を照らし合わせて範囲を一読して下さい。（30分）	講義時間以外の時間を確保し、教室の使用許可を得て、実技の練習を行って下さい。（30分）
11	状況に応じた動作介助	①	石田 大場 亀山	演習 オムニバス	講義前に授業計画内容と教科書（イラストによる安全な動作介助の手引き）を照らし合わせて範囲を一読して下さい。（30分）	講義時間以外の時間を確保し、教室の使用許可を得て、実技の練習を行って下さい。（30分）
12	バーサルインデックス、FIM、SIAS	①	石田 大場 亀山	演習	表題の教科書の範囲を一読して下さい。（30分）	本日習ったことを復習しておいてください。（30分）
13	バーサルインデックス（BI）	①	石田 大場 亀山	講義	BIについて調べておいてください。（30分）	本日習ったことを復習してください。（30分）
14	ADL評価法（FIM・SIAS）	③	大場	講義	「脳卒中の機能評価」p40-43（SIASの特徴と概要）の内容を確認しておきましょう。検査内容を示す図を見てください。（30分）	教科書と配布資料を用いて概要を復習しましょう。（30分）
15	ADL評価法（FIM・SIAS）	③	大場	講義	「脳卒中の機能評価」p83-89（FIMの特徴と概要）を確認しておきましょう。（30分）	教科書をよく復習し、巻末の症例紹介を読みながら採点してみましょう。（30分）
	期末筆記試験					
評価基準・評価方法						
実技試験（60％）、記述試験（30％）、講義参加度（10％）をもって総合的に判断する。						
使用教科書						
標準理学療法学専門分野 日常生活活動学・生活環境学 / 鶴見隆正ほか、--第7版--医学書院、2021年、978-4-260-06188-9 脳卒中の機能評価SIASとFIM〔基礎編〕 / 千野直一ほか、--金原出版、2025年、978-4-307-75033-2 新 イラストによる安全な動作介助のてびき 第3版 / 飛松好子編著、--医歯薬出版社、2016年、978-4-263-21731-3						
参考図書						
講義の際、適宜紹介します。						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	希望者には発表や期末試験終了後、よかったところ、修正すべきところをフィードバックします。					
実務経験をいかした教育内容	各教員、総合病院、訪問リハ、デイサービスなどの施設での勤務経験を基に、工夫した学習方法で教授しています。また、これまでの経験から、学修の到達目標を達成できるよう教授していきます。					
備考	ADL評価方法（座学）と体験学習（演習）、プレゼンなどを行う時間もあります。演習の際は講義内で指定した場所・服装で行って下さい。 座学と演習の講義を行うため、講義によって使用教室が異なります。その場合、事前に連絡します。 適宜プリント資料を配付する。質問がある場合は、オフィスアワーなどに確認をして下さい。					

授業科目名		担当教員				
日常生活活動学演習		石田裕保・大場かおり・亀山咲子 (代表教員 石田裕保)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態		科目ナンバリング	
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義・演習		PPT413	
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		石田裕保、大場かおり、亀山咲子 (すべて理学療法士)				
授業概要						
理学療法では日常生活活動の改善を主要な治療目標としている。その基礎知識として概念、目標、範囲を整理し、障害構造(ICF)などを教授する。脳血管障害、脊髄損傷、慢性疼痛など日常生活に支障を生じる主要な疾患を想定し、日常生活障害を具体化し、グループワークなどを行い、治療目標を見つけ出すことができるよう教授する。また、様々なADL評価方法を教授する。						
学修の到達目標						
①ADLの概念について理解する。 ②障害者が日常生活において何が困るのかを知る ③評価について理解する						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	日常生活活動学概論 ADLとAPDL 生活にかかるお金	①	石田	講義	講義前に授業計画内容と教科書を照らし合わせて範囲を一読して下さい。また、生活費について調べてください。(30分)	その日に行った講義範囲の教科書、配布資料等見直しをし、学んだことを簡潔にまとめるなど、自分ノートづくりをしてください。(30分)
2	障がい者体験(屋内・屋外)	②	石田 大場 亀山	演習	講義前に授業計画内容と教科書を照らし合わせて範囲を一読して下さい。(30分)	その日に行った講義範囲の教科書、配布資料等見直しをし、学んだことを簡潔にまとめるなど、自分ノートづくりをしてください。(30分)
3	障がい者体験(屋内・屋外)	②	石田 大場 亀山	演習	講義前に授業計画内容と教科書を照らし合わせて範囲を一読して下さい。(30分)	その日に行った講義範囲の教科書、配布資料等見直しをし、学んだことを簡潔にまとめるなど、自分ノートづくりをしてください。(30分)
4	障がい者体験(発表資料作成)	②	石田 大場 亀山	演習 オムニバス	講義前にパワーポイントなどパソコンの使用方法について勉強して下さい。(30分)	その日に行った講義範囲の教科書、配布資料等見直しをし、学んだことを簡潔にまとめるなど、自分ノートづくりをしてください。(30分)
5	障がい者体験(発表)	②	石田 大場 亀山	演習 オムニバス	グループで発表準備、予行演習を行ってください。(30分)	その日に行った講義範囲の教科書、配布資料等見直しをし、学んだことを簡潔にまとめるなど、自分ノートづくりをしてください。(30分)
6	できるADL・しているADL、ICF、ICIDH	①	石田	講義	講義前に授業計画内容と教科書を照らし合わせて範囲を一読して下さい。(30分)	その日に行った講義範囲の教科書、配布資料等見直しをし、学んだことを簡潔にまとめるなど、自分ノートづくりをしてください。(30分)
7	更衣動作、浴槽への移乗、環境整備、座位保持装置	①	石田	講義	講義前に授業計画内容と教科書を照らし合わせて範囲を一読して下さい。(30分)	その日に行った講義範囲の教科書、配布資料等見直しをし、学んだことを簡潔にまとめるなど、自分ノートづくりをしてください。(30分)
8	更衣動作、浴槽への移乗、環境整備、座位保持装置	①	石田	講義	講義前に授業計画内容と教科書を照らし合わせて範囲を一読して下さい。(30分)	その日に行った講義範囲の教科書、配布資料等見直しをし、学んだことを簡潔にまとめるなど、自分ノートづくりをしてください。(30分)
9	脊髄損傷の評価方法 ASIA、Zancoli など	③	石田	講義	講義前に授業計画内容と教科書を照らし合わせて範囲を一読して下さい。(30分)	その日に行った講義範囲の教科書、配布資料等見直しをし、学んだことを簡潔にまとめるなど、自分ノートづくりをしてください。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	脊髄損傷の評価方法 ASIA、Zancoli など	③	石田	講義	講義前に授業計画内容と教科書を照らし合わせて範囲を一読してください。(30分)	その日に行った講義範囲の教科書、配布資料等見直しをし、学んだことを簡潔にまとめるなど、自分ノートづくりをしてください。(30分)
11	歩行の運動学的分析	③	石田	演習	講義前に授業計画内容と教科書を照らし合わせて範囲を一読してください。(30分)	その日に行った講義範囲の教科書、配布資料等見直しをし、学んだことを簡潔にまとめるなど、自分ノートづくりをしてください。(30分)
12	歩行の運動学的分析	③	石田	講義	講義前に授業計画内容と教科書を照らし合わせて範囲を一読してください。(30分)	その日に行った講義範囲の教科書、配布資料等見直しをし、学んだことを簡潔にまとめるなど、自分ノートづくりをしてください。(30分)
13	ADL評価法 (B I、カツツなど)	③	石田	講義	講義前に授業計画内容と教科書を照らし合わせて範囲を一読してください。(30分)	その日に行った講義範囲の教科書、配布資料等見直しをし、学んだことを簡潔にまとめるなど、自分ノートづくりをしてください。(30分)
14	疾患別トランスファー① 整形疾患	①	石田 大場 亀山	演習	講義前に整形疾患の病態について調べておいてください。(30分)	講義時間以外の時間を確保し、教室の使用許可を得て、実技の練習を行って下さい。(30分)
15	疾患別トランスファー② 中枢疾患	①	石田 大場 亀山	演習	講義前に中枢疾患の病態について調べておいてください。(30分)	講義時間以外の時間を確保し、教室の使用許可を得て、実技の練習を行って下さい。(30分)
	期末試験					
評価基準・評価方法						
<p>期末試験 (60%) ・課題 (40%) をもって総合的に判断する。 期末試験は実技と筆記を行う。</p>						
使用教科書						
<p>新 イラストによる安全な動作介助のてびき 第3版 / 飛松好子編著. --医歯薬出版社, 2016年, 978-4-263-21731-3 標準理学療法学専門分野 日常生活活動学・生活環境学 --第7版-- / 鶴見隆正ほか. --医学書院, 2025年, 978-4-260-06188-9</p>						
参考図書						
講義の際、適宜紹介します。						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	希望者には期末試験終了後、実技に関して、よかったところ、修正すべきところをフィードバックする。					
実務経験をいかした教育内容	各教員、総合病院、訪問リハ、デイサービスなどの施設での勤務経験から、学修の到達目標を達成できるよう教授していきます。					
備考	動作介助(演習)の他、障がい体験やプレゼンを行う時間もあります。演習の際は講義内で指定した場所・服装で行ってください。 座学と演習の講義を行うため、講義によって使用教室が異なります。その場合、事前に連絡します。 適宜プリント資料を配付する。質問がある場合は、オフィスアワーなどに確認をして下さい。					

授業科目名		担当教員				
脳・神経系理学療法治療技術		堀 信宏・藤橋雄一郎 (代表教員 堀 信宏)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	3年 前学期	1単位(30時間)	講義・演習	PPT714		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		堀信宏(理学療法士)、藤橋雄一郎(理学療法士)				
授業概要						
<p>脳・神経系理学療法治療技術では、主に脳血管障害、脊髄損傷に対する具体的な治療手技を学ぶ。動作介助をはじめ、CI療法、関節可動域訓練などについて学ぶ。中でも脳血管障害者は理学療法の対象疾患として臨床上非常に高い頻度で遭遇する。その為、体系化された様々な治療手技について学ぶだけでなく、脳の多様な機能を反映した様々な臨床症状、リスクを学ぶ。</p> <p>脊髄損傷に対する理学療法では、当事者(頸髄損傷者)をゲスト講師として招聘する。また、頸髄損傷者に対する理学療法評価を実施する。</p>						
学修の到達目標						
<p>①脳血管障害者・脊髄損傷患者の解剖学的理解と病理的变化について学ぶ ②評価、投薬、離床基準、可動域訓練、特殊な治療法など、実践的な内容を修得する ③頸髄損傷当事者に対し、理学療法評価を実施できる</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	脳梗塞/出血：急性期、回復期、維持期の病態と理学療法の考え方	①	堀	講義	脳血管障害の病期について、2年次の脳・神経機能障害学の内容を再確認しておきましょう(30分)	発症後、患部(脳)がどのような変化をするのか整理しましょう(30分)
2	脳梗塞/出血：急性期、回復期、維持期の病態と理学療法の考え方②	①	堀	講義	脳血管障害の病期について、2年次の脳・神経機能障害学の内容を再確認しておきましょう(30分)	発症後、患部(脳)がどのような変化をするのか整理しましょう(30分)
3	リスク管理	②	堀	講義	リ基準、アンダーソンなどのリスク管理法を再確認しておいてください(30分)	特に急性期は細かいリスク管理が求められるため整理しましょう(30分)
4	ガイドライン/課題指向型トレーニング		堀	講義	脳血管障害の病期について、2年次の脳・神経機能障害学の内容を再確認しておきましょう(30分)	運動学習と合わせて整理しておきましょう(30分)
5	実際の課題指向型トレーニング	②	堀	演習	2年次の脳・神経機能障害学テキストの内容を再確認しておきましょう(30分)	実際の動作を模倣し、特徴をつかみましょう(30分)
6	実際の課題指向型トレーニング②	②	堀	演習	2年次の脳・神経機能障害学テキストの内容を再確認しておきましょう(30分)	実際の動作を模倣し、特徴をつかみましょう(30分)
7	特殊な治療法 ：rTMS, tDCS, TES (TENS), FES, CI療法など	②	堀	講義	肩関節と股関節の解剖学を復習しておきましょう(30分)	最も2次障害を生じ易い関節をどのように管理すれば良いか整理しましょう(30分)
8	痙縮治療：ボツリヌス療法	②	堀	講義	ボツリヌス療法とはどのような治療法なのか様々なデバイスで調べてみましょう(30分)	ボツリヌス療法の超短所を整理しましょう(30分)
9	症例検討：Parkinson病の標準的治療	②	堀	実技	2年次の脳・神経機能障害学テキスト(症例)の内容を再確認しておきましょう(30分)	理学療法介入法と症例の変化を捉えましょう(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	脳血管障害者の装具療法	②	藤橋	講義	2年次に行った装具学（下肢装具）について、目的や特徴を再確認しましょう（30分）。	麻痺の程度に応じた装具の特徴・選定について再確認しましょう（30分）。
11	脳血管障害者の住環境整備	②	藤橋	講義	住環境整備に必要な家屋構造（生活環境論）や介護保険利用について調べておきましょう（30分）	住宅改修に必要な家屋構造について確認し、臨床実習に備えましょう（30分）。
12	脊髄損傷の理学療法	① ②	藤橋	講義	脊髄損傷の病態や障害の特徴、理学療法に必要な評価について調べましょう（30分）。	脊髄損傷者への病態、障害の特徴を復習しましょう（30分）。
13	脊髄損傷の理学療法評価	① ② ③	藤橋	講義 演習	脊髄損傷の理学療法評価方法について調べましょう（30分）。	次回の評価に向けて、技術の確認をしましょう（30分）
14	脊髄損傷の理学療法評価（頸髄損傷当事者参加）	① ② ③	藤橋	講義 演習	脊髄損傷の病態や障害の特徴、理学療法に必要な評価について調べ実施できるようにしましょう（40分）。	頸髄損傷当事者実施した理学療法評価を再確認しましょう（40分）。
15	脊髄損傷の理学療法評価（頸髄損傷当事者参加）	① ② ③	藤橋	講義 演習	脊髄損傷の病態や障害の特徴、理学療法に必要な評価について調べましょう（40分）。	頸髄損傷当事者に実施した理学療法評価結果から、臨床推論を実施しましょう（40分）。
	定期試験 筆記					
評価基準・評価方法						
筆記試験100%（実技などへの参加度を加味する）						
使用教科書						
病気がみえる7 脳・神経 / 医療情報科学研究所.--第2版--メディックメディア, 2017年, 978-4-89632-686-4 資料を配布する						
参考図書						
脳卒中理学療法の理論と技術 第3版（メディカルビュー），理学療法テキスト神経障害理学療法学Ⅰ/Ⅱ第2版（中山書店），実践編 理学療法臨床思考（文光堂）						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	授業内で随時実施する					
実務経験をいかした教育内容	回復期リハビリテーション病棟勤務経験から、脳血管障害や脊髄損傷の理学療法が理解できるよう授業を展開していく。					
備考	資料を基に、実際に身体を動かして実践も行います。また、ディスカッションも交えながら進めますので、積極的な参加を期待します。					

授業科目名		担当教員				
骨・関節系理学療法治療技術		曾田直樹・田島嘉人 (代表教員 曾田直樹)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	3年 前学期	1単位(30時間)	講義・演習	PPT715		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		曾田直樹(理学療法士)、田島嘉人(理学療法士)				
授業概要						
骨・関節系理学療法治療技術では、四肢・脊椎の基礎知識を基に臨床上遭遇しやすい骨・関節障害、理学療法の考え方および治療手技を体系的に学ぶ。具体的には解剖学、生理学の観点からの”痛み”に関する講義、臨床的体表解剖、ストレッチなどの基本的テクニックについてはデモンストレーションと実技体験を実施する。また講義では、グループワークを活用し学びを深めていく。						
学修の到達目標						
① 運動器疾患についてその病態、理学療法の考え方を説明することができる。 ② 運動器疾患について解剖、運動学を説明することができる。 ③ 運動器疾患についてその病態、理学療法の考え方を説明することができる。 ④ 臨床での評価、治療における体表解剖、ストレッチ、徒手療法の活用方法を説明することができる ⑤ ④における基本的な技術を対象者に実施することができる						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	運動器疾患の治療の実際	① ② ③	曾田 田島	講義	解剖学をはじめ骨関節機能障害学の資料を復習しておくこと(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
2	運動器疾患の評価の考え方	① ② ③	曾田 田島	講義	解剖学をはじめ骨関節機能障害学の資料を復習しておくこと(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
3	徒手療法の基礎 I	① ② ③	曾田 田島	講義 演習	解剖学をはじめ骨関節機能障害学の資料を復習しておくこと(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
4	肩関節周辺の運動器疾患の治療技術 I	① ② ③ ④ ⑤	曾田 田島	講義 演習	解剖学をはじめ骨関節機能障害学の資料を復習しておくこと(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
5	肩関節周辺の運動器疾患の治療技術 II	① ② ③ ④ ⑤	曾田 田島	講義 演習	解剖学をはじめ骨関節機能障害学の資料を復習しておくこと(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
6	肘関節の運動器疾患の治療技術	① ② ③ ④ ⑤	曾田 田島	講義 演習	解剖学をはじめ骨関節機能障害学の資料を復習しておくこと(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
7	手関節の運動器疾患の治療技術	① ② ③ ④ ⑤	曾田 田島	講義 演習	解剖学をはじめ骨関節機能障害学の資料を復習しておくこと(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
8	股関節の運動器疾患の治療技術	① ② ③ ④ ⑤	曾田 田島	講義 演習	解剖学をはじめ骨関節機能障害学の資料を復習しておくこと(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
9	膝関節の運動器疾患の治療技術	① ② ③ ④ ⑤	曾田 田島	講義 演習	解剖学をはじめ骨関節機能障害学の資料を復習しておくこと(30分)	授業内容の復習をすること(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	足関節の運動器疾患の治療技術	① ② ③ ④ ⑤	曾田島	講義 演習	解剖学をはじめ骨関節機能障害学の資料を復習しておくこと(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
11	脊椎の運動器疾患に必要な解剖学と触診	① ② ③ ④ ⑤	曾田島	講義 演習	解剖学をはじめ骨関節機能障害学の資料を復習しておくこと(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
12	腰部の運動器疾患の治療技術	① ② ③ ④ ⑤	曾田島	講義 演習	解剖学をはじめ骨関節機能障害学の資料を復習しておくこと(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
13	ストレッチⅠ	① ② ③ ④ ⑤	曾田島	講義 演習	解剖学をはじめ骨関節機能障害学の資料を復習しておくこと(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
14	ストレッチⅡ	① ② ③ ④ ⑤	曾田島	講義 演習	解剖学をはじめ骨関節機能障害学の資料を復習しておくこと(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
15	Fasciaを含む軟部組織に対する治療技術の基礎	① ② ③ ④ ⑤	曾田島	講義 演習	解剖学をはじめ骨関節機能障害学の資料を復習しておくこと(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
	定期試験(筆記)					
評価基準・評価方法						
<p>評価基準：知識・理解、授業参加度を重視 評価方法：定期試験(90%)、授業参加度(10% 小テストなど)にて総合的に判断する。</p>						
使用教科書						
<p>運動療法のための機能解剖学的触診技術 動画プラス(上肢) / 林則雄.--改訂第2版--メジカルビュー社, 2022年, 978-4-7583-2093-1 運動療法のための機能解剖学的触診技術 動画プラス(下肢・体幹) / 林則雄.--改訂第2版--メジカルビュー社, 2022年, 978-4-7583-2094-8 プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論・運動器系 / 坂井建雄ほか監訳.--第3版--医学書院, 2017年, 978-4-260-02534-8</p>						
参考図書						
<p>・関節機能解剖学に基づく整形外科運動療法ナビゲーション 上肢・体幹 改訂第2版 / 林 典雄 浅野昭裕.--整形外科リハビリテーション学会--(株)メジカルビュー社, 2014年, 978-4-7583-1478-7 ・関節機能解剖学に基づく整形外科運動療法ナビゲーション 下肢 --改訂第2版-- / 整形外科リハビリ学会--メジカルビュー社, 2014年, 978-4-7583-1479-4</p>						
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	知識の定着を確認するレポート 講義内で解説					
実務経験をいかした教育内容	各教員の整形外科病院、総合病院、訪問リハ、デイサービスにおける理学療法の経験から、理学療法士として必要な骨関節系の理学療法治療技術の知識・技術について講義、実技を行う。この講義、実技を通して実践力が身につけられるように展開していく。					
備考	オフィスアワーを活用してください。					

授業科目名		担当教員				
内部系理学療法治療技術		河合克尚・長谷部武久・亀山咲子 (代表教員 河合克尚)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	3年 前学期	1単位(30時間)	講義・演習	PPT716		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		長谷部武久 亀山咲子 河合克尚 (理学療法士)				
授業概要						
循環器疾患に対する運動療法と心電図読影、呼吸器疾患に対する理学療法、糖尿病や末梢循環障害に対する予防・改善プログラムなど、内部障害に対する理学療法を学ぶ。また、近年では慢性腎臓病やがんに対するリハビリテーションも行われるようになり、その概要についても説明する。						
学修の到達目標						
①循環器疾患に対する運動療法(コンディショニング、運動療法、ADLトレーニング)について説明できる ②正常心電図及び不整脈、心肺運動負荷試験について説明できる ③呼吸器疾患に対する理学療法(コンディショニング、運動療法、ADLトレーニング)について説明できる ④糖尿病、末梢循環障害、慢性腎臓病に対する運動療法について説明できる ⑤がんのリハビリテーションについて説明できる						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	内部障害の理解	① ③ ④ ⑤	長谷部	講義	教科書(p.1-9)に目を通しておくこと(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
2	心電図(正常心電図を中心に)	②	長谷部	講義	教科書(p.108-117)に目を通しておくこと(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
3	心電図(不整脈を中心に)	②	長谷部	講義	教科書(p.108-117)に目を通しておくこと(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
4	運動耐容能(心肺運動負荷試験)	②	長谷部	講義	教科書(p.39-51)に目を通しておくこと(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
5	循環器疾患の評価	①	長谷部	講義	教科書(p.65-106)に目を通しておくこと(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
6	循環器疾患の運動療法	①	長谷部	講義	教科書(p.65-106)に目を通しておくこと(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
7	呼吸器疾患の評価	③	長谷部	講義	教科書(p.179-240)に目を通しておくこと(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
8	呼吸器疾患の運動療法	③	長谷部	講義	教科書(p.241-284)に目を通しておくこと(30分)	授業内容の復習をすること(30分)
9	糖尿病の理学療法	④	亀山	講義	教科書(p.375-406)に目を通しておくこと(30分)	授業内容の復習をすること(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	糖尿病の理学療法	④	亀山	講義	教科書 (p.375-406) に目を通しておくこと (30分)	授業内容の復習をすること (30分)
11	末梢循環障害の理学療法	④	亀山	講義	教科書 (p.131-147) に目を通しておくこと (30分)	授業内容の復習をすること (30分)
12	慢性腎臓病に対するリハビリテーション	④	亀山	講義	教科書 (p.165-178) に目を通しておくこと (30分)	授業内容の復習をすること (30分)
13	がんのリハビリテーション	⑤	亀山	講義	教科書 (p.407-437) に目を通しておくこと (30分)	授業内容の復習をすること (30分)
14	気道内分泌物吸引法	③	河合	講義演習	教科書 (p.326-333) に目を通しておくこと (30分)	授業内容の復習をすること (30分)
15	救命処置の流れ (心肺蘇生法とAED)	① ② ③ ④ ⑤	河合	講義演習	教科書 (p.30) に目を通しておくこと (30分)	授業内容の復習をすること (30分)
	定期試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
定期試験 (80%) 小テスト (20%)						
使用教科書						
内部障害理学療法学テキスト / 細田多穂.--改訂第4版--南江堂, 2022年12月, 978-4-524-23117-1						
参考図書						
適宜紹介する						
課題 (試験やレポート) に対するフィードバック方法	小テストを実施し理解度を確認します。小テストの問題に対するフィードバックは授業内に行います。					
実務経験をいかした教育内容	各教員は、総合病院、訪問リハ、介護老人保健施設、クリニックでの理学療法の実務経験をもとに、学生が患者に対して有効な治療計画を策定するための専門知識、臨床実践力の向上を目指し、実際の臨床状況に対応できるよう展開します。					
備考	質問等がある場合は、授業終了後やオフィスアワーを積極的に活用して下さい。					

授業科目名		担当教員				
臨床バイオメカニクス		曾田直樹・植木 努 (代表教員 曾田直樹)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	3年 前学期	1単位(15時間)	講義・演習	PPT717		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)、理学ディプロマポリシー(2)(4)の達成に寄与している		曾田直樹(理学療法士) 植木努(理学療法士)				
授業概要						
歩行など人の動きを中心に扱う理学療法士にとってバイオメカニクスはなくてはならないものです。また力学は臨床現場で観察される現象と原因の因果関係を直接的に結びつけてくれる学問であり、解剖学や生理学、運動学と並んで必須の学問です。本講義では動作分析を行う上での基本的事項を理解し、歩行分析結果の解釈が行える能力を身につける。						
学修の到達目標						
①力学の基本的事項(力の合成と分解、テコの考え方、重心、床反力、関節モーメント、パワー)を理解し生体に応用できるようになる。 ②歩行動作における重心、床反力作用点について理解し、正常な歩行動作に重要な視点について理解することができる ③歩行動作のバイオメカニクスの分析ができるようになる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	歩行動作の見るべきポイントを知ろう	① ② ③	曾田 植木	講義	歩幅、歩行率、歩行速度、重心、床反力、支持基底面について学習しておく(180分)	講義内容を復習しておくこと。(60分)
2	歩行動作の安定性とはなんだろう	① ② ③	曾田 植木	講義	重心と支持基底面の関係について学習しておくこと。(180分)	講義内容を復習しておくこと。(60分)
3	歩行速度をコントロールしよう	① ② ③	曾田 植木	講義	歩行時の推進力、位置エネルギー、運動エネルギーについて学習しておくこと。(180分)	講義内容を復習しておくこと。(60分)
4	きれいな歩行について考える	① ② ③	曾田 植木	講義	歩行時の関節の動きについて学習しておくこと。(180分)	講義内容を復習しておくこと。(60分)
5	力の合成と分解	① ② ③	曾田 植木	演習	この原理について学習しておくこと(180分)	講義内容を復習しておくこと。(60分)
6	生体におけるテコ	① ② ③	曾田 植木	演習	関節モーメントについて学習しておくこと(180分)	講義内容を復習しておくこと。(60分)
7	重心の求め方	①	曾田 植木	演習	身体重心について学習しておくこと(180分)	講義内容を復習しておくこと。(60分)
8	床反力と重心加速度	①	曾田 植木	演習	床反力について学習しておくこと(180分)	講義内容を復習しておくこと。(60分)

評価基準・評価方法	
評価基準：知識・理解、学修態度・意欲を重視 評価方法：課題（90%）、態度・意欲（10%）にて総合的に判断する。	
使用教科書	
資料を配布します	
参考図書	
基礎バイオメカニクス第2版/山本澄子、石井慎一郎、江原義弘, 医歯薬出版, 2015, 978-4-263-21941-6	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	課題に対し口頭にてフィードバックを行います。
実務経験をいかした教育内容	医療機関の臨床経験に基づいて、歩行のバイオメカニクスを教授する。
備考	

授業科目名		担当教員				
徒手理学療法学		田島嘉人				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	3年 後学期	1単位(15時間)	講義	PPT818		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		田島嘉人(理学療法士)				
授業概要						
「骨・関節機能障害学」「骨・関節系理学療法治療技術」の内容を発展させ、徒手理学療法学の基礎理論、関節運動学、関節機能異常のメカニズムについて超音波診断装置を使用しながら学ぶ。四肢関節のモビライゼーションおよびトレーニング方法を理解する。また、Fasciaを含む軟部組織の基礎知識、治療技術について学ぶ。						
学修の到達目標						
①徒手理学療法学の基礎理論、関節運動学、関節機能異常のメカニズムについて説明できる ②関節機能異常のメカニズムなどについて超音波診断装置を用いて描出できる。 ③四肢関節のモビライゼーションおよびトレーニング方法を理解し、実践できる ④Fasciaを含む軟部組織の基礎知識を説明できる。また、その治療技術について実践できる						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	徒手理学療法学の基礎理論	①	田島	講義	筋の起始停止支配神経の復習(120分)	徒手理学療法学の基礎理論の復習(120分)
2	関節運動学、関節機能異常のメカニズム	①	田島	講義	臨床運動学の復習(120分)	関節運動学、関節機能異常のメカニズムの復習(120分)
3	超音波診断装置を用いた関節機能異常のメカニズム	②	田島	講義	各関節の構造の復習(120分)	関節機能異常のメカニズムの復習(120分)
4	徒手理学療法の評価	①	田島	講義	各関節の構造の復習(120分)	徒手理学療法の評価の復習(120分)
5	徒手理学療法の治療	①	田島	講義	徒手理学療法の評価の復習(120分)	徒手理学療法の治療の復習(120分)
6	四肢関節のモビライゼーションおよびトレーニング方法	③	田島	講義	関節運動学、関節機能異常のメカニズムの復習(120分)	四肢関節のモビライゼーションおよびトレーニング方法の復習(120分)
7	Fasciaを含む軟部組織の基礎知識	④	田島	講義	軟部組織の基礎知識の復習(120分)	Fasciaを含む軟部組織の復習(120分)
8	Fasciaを含む軟部組織を利用した治療技術	④	田島	講義	Fasciaを含む軟部組織の復習(120分)	Fasciaを含む軟部組織を利用した治療技術の復習(120分)
9	定期試験					

評価基準・評価方法	
各回試験（50％）グループディスカッション参加度（50％）	
使用教科書	
参考図書	
配布資料	
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	ディスカッション時に即時フィードバック
実務経験をいかした教育内容	整形外科病院、総合病院、訪問リハ、デイサービス（計20年）における理学療法の経験から、理学療法士として必要な運動器領域の知識を解剖学、運動学の視点で講義、実技を行う。この講義、実技を通して実践力が身につけられるように展開していく。
備考	

授業科目名		担当教員				
ニューロリハビリテーション		石田裕保・大場かおり (代表教員 石田裕保)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	3年 後学期	1単位(15時間)	講義・演習	PPT819		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		石田裕保(理学療法士), 大場かおり(理学療法士)				
授業概要						
「脳・神経機能障害学」「脳・神経生理学療法治療技術」の内容を発展させ、神経変性により出現した運動障害や高次脳機能障害の神経メカニズムについて学ぶ。また、運動障害の神経科学的・運動学的・運動力学的な分析方法と効果的なリハビリテーションについて理解する。						
学修の到達目標						
①中枢神経系の機能障害について理解する。 ②運動障害, 感覚障害, 高次脳機能障害のメカニズムについて理解する。 ③ケーススタディを通じ、障害の分析, 解釈, 治療意義について考える。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	脳の可塑性①	① ②	石田 大場	講義	脳・神経生理学療法治療技術の学習では、脳血管障害、脊髄損傷による障害に対する具体的な治療手技を学ぶ。(120分)	配布資料と講義内容を復習しましょう(120分)
2	脳の可塑性②	① ②	石田 大場	講義	脳・神経生理学療法治療技術の学習では、脳血管障害、脊髄損傷による障害に対する具体的な治療手技を学ぶ。(120分)	配布資料と講義内容を復習しましょう(120分)
3	障がいの神経メカニズム①	③	石田 大場	講義	脳・神経生理学療法治療技術の学習では、脳血管障害、脊髄損傷による障害に対する具体的な治療手技を学ぶ。(120分)	配布資料と講義内容を復習しましょう(120分)
4	障がいの神経メカニズム②	③	石田 大場	講義	脳・神経生理学療法治療技術の学習では、脳血管障害、脊髄損傷による障害に対する具体的な治療手技を学ぶ。(120分)	配布資料と講義内容を復習しましょう(120分)
5	治療方法 (CI療法、ロボット療法、電気刺激療法、免荷式トレッドミル、ボツリヌス菌など)	③	石田 大場	講義	事前に示された疾患について学習しておきましょう。(120分)	配布資料と講義内容を復習しましょう(120分)
6	治療方法 (反復経頭蓋磁気刺激法, 経頭蓋直流刺激法を用いたニューロリハビリテーション)	③	石田 大場	講義	事前に示された疾患について学習しておきましょう。(120分)	配布資料と講義内容を復習しましょう(120分)
7	症例紹介	③	石田 大場	演習	事前に示された疾患について学習しておきましょう。(120分)	配布資料と講義内容を復習しましょう(120分)
8	症例紹介	③	石田 大場	演習	事前に示された疾患について学習しておきましょう。(120分)	配布資料と講義内容を復習しましょう(120分)
	定期試験			試験		

評価基準・評価方法	
筆記試験 100%	
使用教科書	
ニューロリハビリテーション / 道免 和久.--医学書院, 2015年, 978-4260020091	
参考図書	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	講義内で提示する課題は、その都度解説を行う。 筆記試験に関しては期末試験成績発表にて行う。
実務経験をいかした教育内容	総合病院、訪問リハ、デイサービスなどの施設での勤務経験があり、多くの高次機能障害患者様の治療に携わってきました。これまでの経験から、学修の到達目標を達成できるよう臨床の話も交えながら教授していきます。
備考	

授業科目名		担当教員				
呼吸理学療法学		河合克尚・石原魁介 (代表教員 河合克尚)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	3年 前学期	1単位(15時間)	講義・演習	PPT720		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		河合克尚(理学療法士)、石原魁介(言語聴覚士)				
授業概要						
呼吸器疾患に対する評価ならびに理学療法の実践能力を修得する。具体的には、健常者に対してフィジカルアセスメントとコンディショニングを実践できるようにする。また、PBL(問題解決型学習)を通して症例に対する問題点の把握と理学療法プログラムを立案する。さらに、摂食嚥下機能の講義を通して、高齢者に多い誤嚥性肺炎についての理解を深める。						
学修の到達目標						
①呼吸器疾患に対する臨床検査と理学療法評価について説明できる。 ②呼吸理学療法(コンディショニング、運動療法、ADLトレーニング)について説明できる。 ③慢性閉塞性肺疾患ならびに間質性肺炎の理学療法プログラムを立案できる。 ④外科手術前後の理学療法と人工呼吸療法について説明できる。 ⑤フィジカルアセスメント(呼吸数、呼吸パターン、肺音の聴診など)を健常者に実施できる。 ⑥コンディショニング(呼吸練習、呼吸介助法など)を健常者に実施できる。 ⑦摂食嚥下機能障害について説明できる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	呼吸器疾患の臨床検査と理学療法評価	①	河合	講義	教科書p.217-219、p.242-245に目を通す(90分)	授業の復習をする(150分)
2	呼吸理学療法	②	河合	講義	教科書p.220-227、p.232-238に目を通す(90分)	授業の復習をする(150分)
3	呼吸器疾患に対する理学療法プログラムの立案	③	河合	演習	教科書p.220-227、p.232-238に目を通す(90分)	レポートをまとめる(150分)
4	呼吸器疾患に対する理学療法プログラムの立案	③	河合	演習	教科書p.239-249に目を通す(90分)	レポートをまとめる(150分)
5	外科手術前後の理学療法と人工呼吸療法	④	河合	講義	教科書p.285-310に目を通す(90分)	授業の復習をする(150分)
6	フィジカルアセスメント	⑤	河合	演習	教科書p.199-200、p.218-219に目を通す(90分)	実技練習を行う(150分)
7	コンディショニング	⑥	河合	演習	教科書p.232-235、p.285-297に目を通す(90分)	実技練習を行う(150分)
8	摂食嚥下障害のリハビリテーション	⑦	石原	講義	誤嚥性肺炎について教科書p.202-203に目を通す(90分)	授業の復習をする(150分)

評価基準・評価方法	
レポート（30%）、定期試験（70%）	
使用教科書	
内部障害理学療法学テキスト 改訂第4版 / 細田多穂.--南江堂, 2022年, 978-4-524-23117-1	
参考図書	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	課題レポートや技術演習に対するフィードバックを授業内で行う。
実務経験をいかした教育内容	医療機関における職務経験から、呼吸器疾患の患者評価と理学療法について必要な思考力・実践力が身に付けられるように授業を展開していく。
備考	質問や疑問がある場合は、積極的に聞いて知識・技術の向上に努めてください。

授業科目名		担当教員				
スポーツ理学療法学演習		川瀬広大・櫻井健司・苅谷賢二・野田圭佑・平田光太郎・中村浩輔 (代表教員 川瀬広大)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態		科目ナンバリング	
選択	2年 後学期	1単位(15時間)	講義・演習		PPT521	
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		川瀬広大(理学療法士)、櫻井健司(理学療法士)、苅谷賢二(理学療法士)、野田圭佑(理学療法士)、平田光太郎(理学療法士)、中村浩輔(理学療法士)				
授業概要						
スポーツ理学療法で学んだ内容を発展させ、より実践的なスポーツ理学療法を学んでいく。本講義では、前期に学んだスポーツ外傷・障害に対する理学療法に加え、アスリートのパフォーマンス向上に関する実践的な知識・技術の習得を目指す。講義の中では、各スポーツにおける理学療法的重要性や役割を学ぶ。						
学修の到達目標						
①基本的な体力要素について説明できる ②スポーツ外傷・障害に対する基本的な予防策を講じることができる ③基本的なトレーニング処方・指導ができる ④基本的なコンディショニングが実践できる						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	スポーツ後の回復戦略：生理学・栄養学から考える	①	川瀬	講義演習	スポーツ理学療法学の講義内容を復習しておく。(120分)	配布資料の復習(120分)
2	スポーツ栄養：アスリートの性差・成長期を考慮した栄養戦略	①	川瀬	講義演習	前回の配布資料を熟読する(120分)	配布資料の復習(120分)
3	スポーツ栄養実習：ケースに基づくマネジメント	①	川瀬	講義演習	前回の配布資料を熟読する(120分)	配布資料の復習(120分)
4	スポーツと理学療法(野球)	② ③ ④	桜井	講義演習	前回の配布資料を熟読する(120分)	配布資料の復習(120分)
5	スポーツと理学療法(バスケットボールなど)	② ③ ④	苅谷	講義演習	前回の配布資料を熟読する(120分)	配布資料の復習(120分)
6	スポーツと理学療法(陸上など)	② ③ ④	野田	講義演習	前回の配布資料を熟読する(120分)	配布資料の復習(120分)
7	スポーツと理学療法(すべり症など)	② ③ ④	平田	講義演習	スポーツ理学療法学の講義内容を復習しておく。(120分)	配布資料の復習(120分)
8	スポーツと理学療法(筋トレなど)	② ③ ④	中村	講義演習	スポーツ理学療法学の講義内容を復習しておく。(120分)	配布資料の復習(120分)
	レポート提出					

評価基準・評価方法	
グループワークへの参加度（40%）、最終レポート（60%）	
使用教科書	
プリント資料を配布する	
参考図書	
適宜紹介する	
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	適宜フィードバックを行う
実務経験をいかした教育内容	医療機関やスポーツ現場での職務経験をもとに、スポーツ理学療法の実践力が身に付けられるように授業を展開していく。
備考	実際に身体を動かす講義・演習が多くなります。動きやすい服装で参加してください。体育館や運動場で体力測定を行う際は室内シューズを用意してください。

授業科目名		担当教員				
パラスポーツ指導論		藤橋雄一郎				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	2年 後学期	1単位(15時間)	講義・演習	PPT522		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		藤橋雄一郎(理学療法士・中級パラスポーツ指導員)				
授業概要						
障がいのある人のスポーツ(歴史・施策・大会)について学びます。また、様々なパラスポーツを紹介し、パラスポーツ選手と一緒に実際のパラスポーツを体験します。						
学修の到達目標						
①パラスポーツの歴史を理解する ②パラスポーツに関する諸施策を理解する ③パラスポーツの競技特性・規則を理解する ④パラスポーツに使用する機器等について理解する ⑤パラスポーツに積極的に参加することができる						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	スポーツインテグリティと指導者に求められる資質	①	藤橋	講義	使用教科書第1章を読みましよう。自身が体験したスポーツについて(競技ルール、特徴)振り返りましよう(120分)。	スポーツ指導に必要な資質、加えてコーチングとティーチングの違いを理解し、再考ましよう(120分)。
2	パラスポーツの意義と理念	①	藤橋	講義	使用教科書第3章を読み、パラスポーツの意義を考ましよう(120分)。	スポーツにおけるインクルージョンについて再考ましよう(120分)。
3	スポーツ(パラスポーツ)に関する諸施策	②	藤橋	講義	使用教科書第6章を読み、各障がいにおける施策の変遷を理解ましよう(120分)。	スポーツ基本法とスポーツ基本計画、総合支援法、身体障害者福祉法について理解を深ましよう(120分)。
4	パラスポーツ推進の取り組み	① ②	藤橋	講義	使用教科書第7章を読みましよう。加えて岐阜県におけるパラスポーツの取り組みについて調べましよう(120分)。	パラスポーツ指導員制度について、種類と役割を理解ましよう(120分)。
5	全国障がい者スポーツ大会の概要	① ②	藤橋	講義	使用教科書第2章を読み、全国障がい者スポーツ大会の概要と実施競技について調べましよう(120分)。	過去の大会を含め、実施競技の特徴や参加資格について理解を深ましよう(120分)。
6	各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫	③ ④	藤橋	講義 演習	パラスポーツの種目や競技特性を調べ説明できるようにましよう。また新たなパラスポーツを考ましよう(120分)。	自身で考えた新たなパラスポーツをレポートにままとめましよう(120分)。
7	パラスポーツ体験(ボッチャ、陸上スラローム)	③ ④ ⑤	藤橋	演習	実施競技の特徴、競技ルールを調べましよう(120分)。	体験した競技を振り返りレポートを作成ましよう(120分)。
8	パラスポーツ体験(車椅子バスケットボール)	③ ④ ⑤	藤橋	演習	実施競技の特徴、競技ルールを調べましよう(120分)。	体験した競技を振り返りレポートを作成ましよう(120分)。
	レポート					

評価基準・評価方法	
課題レポート100%で評価します。	
使用教科書	
障がいのある人のスポーツ指導教本（初級・中級） / 日本パラスポーツ協会. --ぎょうせい, 2023年, 978-4-324-11250-2	
参考図書	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	必要に応じ講義内でフィードバックします。
実務経験をいかした教育内容	中級パラスポーツ指導員としてパラスポーツチーム帯同やクラス分類委員の経験から、パラスポーツをサポートするために必要な知識、技術、態度が身につけられるよう授業を展開していく。
備考	初級障がい者スポーツ指導員の取得には、下記科目の履修が必要です。 理学療法総論、リハビリテーション医学、コミュニケーション学、社会福祉学、医療安全管理論、精神医学、内部系理学療法治療技術 資格取得には別途申請料（約10,000円）等の費用がかかります。 質問等は来室等で随時受け付けます。

授業科目名		担当教員				
ヘルスプロモーションと理学療法		長谷部武久・堀 信宏・河合克尚・亀山咲子 (代表教員 長谷部武久)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
選択	2年 後学期	1単位(15時間)	講義・演習	PPT523		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		長谷部武久 堀信宏 河合克尚 亀山咲子 (全て理学療法士)				
授業概要						
健康寿命の延長や疾病を減少させる予防的リハビリテーション分野について、基本的知識とその具体的介入方法を学ぶ。健康維持、健康増進における理学療法士の役割を理解する。また産業理学療法における理学療法士の役割について学ぶ。仕事での動作・姿勢に由来する身体の損傷や健康被害の原因究明と、その具体的対策について理解する。						
学修の到達目標						
①高齢者における運動習慣の定着・認知症予防・うつ予防などの促進プログラムを計画できる ②産業理学療法において予防の基礎と理学療法士の関わりについて説明できる ③ウィメンズヘルス・メンズヘルスに関する疾病や障害予防について説明できる ④低栄養の病態と栄養評価について説明できる						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション ヘルスプロモーションの理念	①	長谷部	講義	シラバスに目を通しておくこと(120分)	授業の内容を復習すること(120分)
2	認知症予防：軽度認知障害MCI	①	堀	講義	配布資料を確認すること(120分)	授業の内容を復習すること(120分)
3	運動機能低下の予防：フレイル・サルコペニア・ロコモティブシンドローム	①	堀	講義	配布資料を確認すること(120分)	授業の内容を復習すること(120分)
4	認知・身体機能の評価とExercise	①	堀	実技	配布資料を確認すること(120分)	授業の内容を復習すること(120分)
5	産業と理学療法	②	河合	講義	産業理学療法に関する資料を読む(120分)	授業の内容を復習すること(120分)
6	メンタルヘルスと理学療法	①	長谷部	講義	メンタルヘルスに関する資料を読む(120分)	授業の内容を復習すること(120分)
7	ウィメンズヘルス・メンズヘルス	③	亀山	講義	ウィメンズヘルス・メンズヘルスの資料に目を通しておくこと(120分)	授業の内容を復習すること(120分)
8	理学療法と栄養	④	亀山	講義	理学療法と栄養の資料に目を通しておくこと(120分)	授業の内容を復習すること(120分)
	課題レポート					

評価基準・評価方法	
小テスト34% 課題レポート66%	
使用教科書	
資料を配布する	
参考図書	
課題(試験やレポート)に対するフィードバック方法	小テストは実施直後にフィードバックを行う 課題レポートは提出後、添削して返却する
実務経験をいかした教育内容	各教員が総合病院、訪問リハ、介護老人保健施設、クリニックにおける理学療法の経験に基づき、理学療法と健康維持、増進に関する知識を結びつけ、実践的な視点から学びを深める。
備考	

授業科目名		担当教員				
地域理学療法学		堀 信宏				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義	PCP401		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		堀信宏(理学療法士)				
授業概要						
地域で生活する障害者や高齢者は、身体機能だけでなく生活環境やキーパーソンの有無、医療・福祉サービスの可否などの要因により、生活の質(QOL)が異なってくる。地域理学療法学では各種サービスや保険、病院退院から在宅生活までの連携、QOL/IADLの評価、終末期の支援といった地域理学療法と関連する知識について学習する。						
学修の到達目標						
患者及び障害者、高齢者の地域における生活を支援していく為に必要な知識を習得する。後学期の「地域理学療法学演習」での「地域で支援するための問題解決能力」を培うための基礎を学ぶ。将来就職先としてどのような施設サービスがあり、実際にどのような業務内容を行うのかを理解する手がかりとする。 ①在宅生活に関わる法律・制度を理解する。 ②地域で生活する障害者の障害構造について理解する。 ③ヘルスプロモーションについて理解する						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	地域リハビリテーションの概念・定義と対象	①	堀	講義	教科書のp.2-20を読んでおきましょう(30分)	地域理学療法の推移・対象を整理しておきましょう(30分)
2	地域理学療法の変遷と地域包括ケアシステム	①	堀	講義	教科書p.6, 21-24までを読んでおきましょう(30分)	地域包括ケアシステムに関わる会議、マネジメントについて整理しておきましょう(30分)
3	理学療法士を取り巻く制度・法：介護保険法	①	堀	講義	教科書p.26-50までを読んでおきましょう(30分)	介護保険について整理しておきましょう(30分)
4	連携とケアマネジメント	①	堀	講義	教科書p.52-71までを読んでおきましょう(30分)	地域連携・多職種連携・ケアマネジメントを整理しておきましょう(30分)
5	高齢者の身体機能	②	堀	講義	教科書p.76-83までを読んでおきましょう(30分)	配布資料から身体機能の特徴を整理しておきましょう(30分)
6	高齢者の骨関節・中枢疾患(フレイル・サルコペニアなど)	②	堀	講義	教科書p.76-83までを読んでおきましょう(30分)	フレイル・サルコペニア・多発性病変について整理しておきましょう(30分)
7	高齢者の認知機能と認知症(アルツハイマー型, Lewy小体型など)	②	堀	講義	教科書p.90-97までを読んでおきましょう(30分)	認知症の症状・対応方法について整理しておきましょう(30分)
8	高齢者の認知症：症例検討	②	堀	講義	教科書p.90-97までを読んでおきましょう(30分)	認知症の症状・対応方法について整理しておきましょう(30分)
9	生活者を支援するために	②	堀	講義	教科書p.103-110までを読んでおきましょう(30分)	行動変容について整理しておきましょう(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	終末期の障害構造（終末期の理学療法）	②	堀	講義	教科書p.98-102までを読んでおきましょう（30分）	終末期の理学療法について整理しておきましょう（30分）
11	がんと理学療法	②	堀	講義	教科書p.98-102までを読んでおきましょう（30分）	がんの理学療法について整理しておきましょう（30分）
12	QOL・IADLの評価	②	堀	講義	教科書p.122-126までを読んでおきましょう（30分）	各評価方法を整理しておきましょう（30分）
13	要介護高齢者の理学療法の展開：高齢者施設	②	堀	講義	教科書p.166-171までを読んでおきましょう（30分）	介護保険施設の役割と機能を整理しましょう（30分）
14	要介護高齢者の理学療法の展開：訪問・通所	②	堀	講義	教科書p.152-165を読んでおきましょう（30分）	通所・訪問リハの役割と機能を整理しましょう（30分）
15	ヘルスプロモーション概論	③	堀	講義	教科書p.74-75.172-177までを読んでおきましょう（30分）	ポピュレーション・ハイリスクアプローチを整理しましょう（30分）
	期末試験（筆記）					
評価基準・評価方法						
期末試験100% 授業参加度・態度を加味する						
使用教科書						
標準理学療法学 地域理学療法学 第5版 / 監修：牧田光代、--金谷さとみ、原田和宏--医学書院、2022、978-4-260-05007-4						
参考図書						
理学療法テキスト高齢者理学療法学（Medicalview） シンプル理学療法シリーズ高齢者理学療法学テキスト第2版（南江堂） 最新理学療法講座地域理学療法学（医歯薬出版）						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	資料を配布する。小テストを適宜実施/解答する。授業内で行う小テストは期末試験を反映する内容です。ワークシートを確認しながら小テストを必ず取り組みましょう。					
実務経験をいかした教育内容	介護老人保健施設、通所リハビリテーションでの実務経験を基に、地域ケアシステムや介護保険といった制度、在宅高齢者に多い症例、介護予防について教授する。					
備考	後期の地域理学療法演習では実際の現場（将来の就職先）の理学療法に触れていきます。前期のこの科目では、その現場である施設や在宅サービスの情報が含まれます。働く事を意識して挑んでください。					

授業科目名		担当教員				
地域理学療法学演習		堀 信宏				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 後学期	1単位(30時間)	講義・演習	PCP502		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		堀信宏(理学療法士)				
授業概要						
<p>虚弱高齢者や障害者が在宅生活を送る中で生じる様々な問題について、小グループディスカッション・発表を行う。特にParkinson病や多発性硬化症など、疾患特有の生活問題についてより深く検討する。実際の障害者の動画を視聴し、将来在宅現場で「どの様な立ち位置で専門職として取り組むべきか」イメージしてもらいたい。</p>						
学修の到達目標						
<p>①在宅生活で生じる問題、理学療法について検討を行い、思考過程の修得や視点を得る。 ②将来、地域理学療法の現場に出るイメージづくりに努める。</p>						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	在宅生活の問題：高齢者の心情と接し方	①	堀	講義演習	資料を読んでおきましょう(30分)	様々な高齢者の心情について整理しましょう(30分)
2	在宅生活の問題：家族問題	① ②	堀	講義演習	資料を読んでおきましょう(30分)	高齢者の虐待のニュースを検索してみましょう(30分)
3	在宅生活の問題：転倒と認知症	①	堀	講義演習	資料を読んでおきましょう(30分)	転倒の要因、対策、評価を整理しましょう(30分)
4	症例検討：Parkinson病の在宅生活：Discussion	②	堀	講義演習	資料を読んでおきましょう(30分)	在宅理学療法について整理してみましょう(30分)
5	症例検討：多発性硬化症：Discussion	① ②	堀	講義演習	資料を読んでおきましょう(30分)	在宅理学療法について整理してみましょう(30分)
6	症例検討：筋萎縮性側索硬化症：Discussion	②	堀	講義演習	配布資料を読んでおきましょう(30分)	在宅理学療法について整理してみましょう(30分)
7	症例検討：筋萎縮性側索硬化症②：Discussion	②	堀	講義演習	配布資料を読んでおきましょう(30分)	在宅理学療法について整理してみましょう(30分)
8	症例検討：脊髄小脳変性症の在宅生活：Discussion	②	堀	講義演習	配布資料を読んでおきましょう(30分)	在宅理学療法について整理してみましょう(30分)
9	症例検討：脊髄小脳変性症の在宅生活②：Discussion	②	堀	講義演習	配布資料を読んでおきましょう(30分)	在宅理学療法について整理してみましょう(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	症例検討：リウマチの在宅生活 : Discussion	① ②	堀	講義 演習	配布資料を読んでお ぎましよう (30分)	在宅理学療法につい て整理してみましょ う (30分)
11	症例検討：リウマチの在宅生活②: Discussion	① ②	堀	講義 演習	配布資料を読んでお ぎましよう (30分)	在宅理学療法につい て整理してみましょ う (30分)
12	症例検討：筋ジストロフィーの施設生活 : Discussion	① ②	堀	講義 演習	配布資料を読んでお ぎましよう (30分)	在宅理学療法につい て整理してみましょ う (30分)
13	症例検討：筋ジストロフィーの施設生活 ②: Discussion	②	堀	講義 演習	配布資料を読んでお ぎましよう (30分)	在宅理学療法につい て整理してみましょ う (30分)
14	症例検討：訪問リハ/通所リハの在宅生活 : Discussion	②	堀	講義 演習	配布資料を読んでお ぎましよう (30分)	在宅理学療法につい て整理してみましょ う (30分)
15	症例検討：感染症対策	②	堀	講義	配布資料を読んでお ぎましよう (30分)	標準予防策を整理し ましよう (30分)
16	期末試験 (筆記)					
評価基準・評価方法						
筆記試験100% (Discussionシートなどの提出物, Discussion参加度を評定に加味します)						
使用教科書						
病気がみえるvol.7 脳・神経 第2版 / 医療情報科学研究所--メディックメディア, 978-4-89632-686-4 標準理学療法学 地域理学療法学第5版 (医学書院) / 監修: 牧田光代, 金谷さとみ, 原田和宏--医学書院, 978-4- 260-05007-4 講義4-9, 13-14は病気がみえる脳を使用します。講義13-14は標準地域理学療法学第5版を使用します。講義全般に小テ ストと課題作成を行います。試験対策としてしっかり取り組みましょう。						
参考図書						
高齢者理学療法学テキスト (南江堂) 終末期リハビリテーション (荘道社) 運動療法学各論高齢者の機能障害に対する運動療法 (文光堂) 高齢者リハビリテーション実践マニュアル (メディカルビュー)						
課題 (試験やレポート) に 対するフィードバック方法	解答を提示します。授業内で実施する小テスト/Discussionの内容が期末試験問題に反映されま す。積極的な参加を求めます。					
実務経験をいかした 教育内容	介護老人保健施設, 通所リハビリテーションでの実務経験を基に, 在宅生活で生じる問題, 実際 の在宅リハ業務内容, 症例検討を教授する。ディスカッションを通じて思考力が身に付けられる ように展開する。					
備考	積極的な参加を期待する。知識の修得だけでなく, 将来, 治療対象となる可能性の高い在宅の障 害者や高齢者に対し, どの様な視点を持ち, どの様な立ち位置で向かうべきなのか感じてもらい たい。					

授業科目名		担当教員				
生活環境論		植木 努				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 後学期	1単位(30時間)	講義・演習	PCP503		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		植木努(理学療法士)				
授業概要						
理学療法士の役割は障害を治療するだけではありません。障害者の自立・社会参加を促すためには、そうした人々を取り巻く生活環境を整える必要があります。そのため、障害や疾病を有する人の健やかな生活を支援するために生活と生活要因の関連性を理解し、理学療法士として必要な知識・技術を身につけることを目指す。実際の住宅環境における問題と改善案について多面的に思考する能力を身につける。						
学修の到達目標						
①生活環境と日常生活動作(ADL)、生活の質(QOL)との関連性を理解する。 ②生活環境評価の手順や評価のポイントを理解する。 ③住宅改修における理学療法士の関わり方や考え方を理解し、臨床において適切な改善計画を立案できるようになる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	生活環境学の概念	①	植木	講義	生活環境学の概念を読んでおくこと。(30分)	配布資料を用いて講義内容を復習しておくこと。(30分)
2	生活環境と障害人的環境と社会的環境	①	植木	講義	生活環境と障害人的環境と社会的環境を読んでおくこと。(30分)	配布資料を用いて講義内容を復習しておくこと。(30分)
3	生活環境と法的諸制度	①	植木	講義	生活環境と法的諸制度を読んでおくこと。(30分)	配布資料を用いて講義内容を復習しておくこと。(30分)
4	生活環境の評価と改善計画	①	植木	講義	生活環境の評価と改善計画を読んでおくこと。(30分)	配布資料を用いて講義内容を復習しておくこと。(30分)
5	生活環境改善計画の実際 [手すり・廊下]	②	植木	講義	生活環境改善計画の実際 [手すり・廊下] を読んでおくこと。(30分)	配布資料と教科書を用いて講義内容を復習しておくこと。(30分)
6	生活環境改善計画の実際 [玄関・段差]	②	植木	講義	生活環境改善計画の実際 [玄関・段差] を読んでおくこと。(30分)	配布資料と教科書を用いて講義内容を復習しておくこと。(30分)
7	生活環境改善計画の実際 [階段]	②	植木	講義	生活環境改善計画の実際 [階段] を読んでおくこと。(30分)	配布資料と教科書を用いて講義内容を復習しておくこと。(30分)
8	生活環境改善計画の実際 [トイレ] [風呂]	②	植木	講義	生活環境改善計画の実際 [トイレ] [風呂] を読んでおくこと。(30分)	配布資料と教科書を用いて講義内容を復習しておくこと。(30分)
9	生活環境を支える福祉機器・リハビリテーション関連用具	②	植木	講義	生活環境を支える福祉機器・リハビリテーション関連用具を読んでおくこと。(30分)	配布資料と教科書を用いて講義内容を復習しておくこと。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	生活環境における実際（1）住宅環境調査	②	植木	演習	現在暮らしている住宅環境において必要な計測を行ってくること。（30分）	計測結果及び調査写真の準備を行う（30分）
11	生活環境における実際（2）住宅環境調査	③	植木	演習	現在暮らしている住宅環境において必要な計測を行ってくること。（30分）	計測結果及び調査写真の準備を行う（30分）
12	生活環境における実際（1）改善計画（グループワーク）	③	植木	演習	調査した住宅環境の問題点について考えてくること。（30分）	発表内容について各自で復習しておくこと。（30分）
13	生活環境における実際（2）改善計画（グループワーク）	③	植木	演習	調査した住宅環境の問題点について考えてくること。（30分）	発表内容について各自で復習しておくこと。（30分）
14	住宅環境調査計画および改善計画プレゼンテーション（1）	③	植木	演習	発表内容について各自で復習しておくこと。（30分）	他のグループの発表を聞いて学んだことをまとめておくこと。（30分）
15	住宅環境調査計画および改善計画プレゼンテーション（2）	②	植木	演習	発表内容について各自で復習しておくこと。（30分）	他のグループの発表を聞いて学んだことをまとめておくこと。（30分）
	定期試験（筆記）					
評価基準・評価方法						
グループワーク参加度（10%）、プレゼンテーション内容（10%）、レポート（5%）、筆記試験（75%）						
使用教科書						
標準理学療法学専門分野 日常生活活動学・生活環境学第7版 / 鶴見 隆正、--隆島研吾、大森 圭貢--医学書院，2025年，978-4-260-06188-9						
参考図書						
授業中にプリントを配布します						
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	プレゼンテーションにおいては発表後にフィードバックを行う。					
実務経験をいかした教育内容	医療機関での職務経験をもとに、生活環境評価および生活環境改善計画に必要な知識・実践力が身に付けられるように授業を展開していく。					
備考	その他質問は随時受け付ける					

授業科目名		担当教員				
臨床実習Ⅰ（基礎）		長谷部武久・他（代表教員 長谷部武久）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	1年 後学期	1単位(45時間)	実習	PCT201		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		長谷部武久 曾田直樹 堀信宏 河合克尚 辻圭一 田島嘉人 大場かおり 石田裕保 藤橋雄一郎 植木努 亀山咲子 澤村彰吾 (全て理学療法士)				
授業概要						
臨床の理学療法に触れる初めての学外臨床実習で、1年次科目の補完授業として理学療法士の役割、責任、医療人としてのマナーのほか、理学療法士の職能について障害者との関わりを中心に考えるなど、これから学ぶ専門的学習に向けての準備とする。						
学修の到達目標						
実習を通じて自らの適性について考える機会とするほか、自らの経験を整理し理学療法士に対する興味や職業意識を培う。詳細は「臨床実習要項」を参照。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
	実習前オリエンテーション（学内）：実習の目的、手順、心得、マナー、感染症予防、個人情報などの指導を行う。					
	後学期：学外施設にて5日間行う。理学療法業務を見学し自らの適性や施設における理学療法の位置づけについて考える。医療従事者として望ましいコミュニケーション、立ち居振る舞いについて考え実践する。担当症例への問診や視診を通じて障害を持つことについての考えを深める。					
	実習報告会：見学症例の歩行の模倣と文章化し、プレゼンテーションを行う。そして学生間で意見交換を実施する。					

評価基準・評価方法	
実習評定（課題内容を含む）60% 実習報告会 40%	
使用教科書	
参考図書	
臨床実習要項（配布） 1年次に使用した教科書全般	
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	課題についてはコメントを入れて返却する。
実務経験をいかした教育内容	臨床現場にて理学療法の評価や治療、患者とのコミュニケーションを見学、一部を体験するとともに、臨床実習指導者や実務家教員の医療機関等での臨床経験をもとに指導・教授する。
備考	学外施設にて実習を行う。身嗜み・言葉使い・規則などが学内とは異なることを十分に意識すること。なお、実習着を着用すること。

授業科目名		担当教員				
通所／訪問リハ実習		長谷部武久・他 (代表教員 長谷部武久)				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 前学期	1単位(45時間)	実習	PCT402		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		長谷部武久 曾田直樹 堀信宏 河合克尚 辻圭一 田島嘉人 大場かおり 石田裕保 藤橋雄一郎 植木努 亀山咲子 澤村彰吾 (全て理学療法士)				
授業概要						
地域包括ケアシステムの導入に伴い、各市町村を中心に様々な準備、システムの構築が行われている。理学療法士として、療養者の在宅支援・地域で生活する方々を支援するための知識・技能について考える。また、地域の中で生活する方々の多様な価値観および健康の課題を認め、理学療法士としての各施設での役割を理解することを目的とする。地域で働く理学療法士に求められる基本的な知識・技能・態度を身につける。特に、多職種との連携を行う上で必要なコミュニケーション術の基本を身につける。						
学修の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> 適切な接遇やコミュニケーション技法を理解する。 療養者の障害像を理解する。 在宅支援・地域での理学療法士の役割を理解する。 						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
	実習前オリエンテーション (学内)					
	実習の目的、手順、心得、マナー、感染症予防、個人情報保護についての指導を行う。					
	臨床実習 (学外)					
	45時間(1週間)の学外実習(通所リハビリテーションまたは訪問リハビリテーション)を実施する。指導は教員と連携を取りながら、実習施設の実習指導者が行う。見学を通じて、在宅で生活する療養者およびその家族の生活を理解する。スケジュール等は、施設のルールに従うこと。					

評価基準・評価方法	
実習評定（課題内容を含む）80% 実習報告会 20%	
使用教科書	
参考図書	
臨床実習要項（配布）	
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	実習指導者にデイリーノートを毎日提出する。速やかに添削して返却する。
実務経験をいかした教育内容	臨床現場にて理学療法の評価や治療、患者とのコミュニケーションを見学、一部を体験するとともに、臨床実習指導者や実務家教員の医療機関等での臨床経験をもとに指導・教授する。
備考	学外施設にて実習を行う。身嗜み・言葉使い・規則などが学内とは異なることを十分に意識すること。なお、実習着を着用すること。

授業科目名		担当教員				
臨床実習Ⅱ（評価）		長谷部武久・他（代表教員 長谷部武久）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	2年 後学期	5単位(225時間)	実習	PCT503		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3)理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		長谷部武久(代表教員) 曾田直樹 堀信宏 河合克尚 辻圭一 田島嘉人(実習調整者) 大場かおり(実習調整者) 石田裕保 藤橋雄一郎 植木努 亀山咲子 澤村彰吾 (全て理学療法士)				
授業概要						
臨床実習指導者の指導・監督の下、対象者に対して理学療法評価を実施する。また、適切な記録、指導者への報告・連絡・相談といった理学療法士として必要な資質（態度）を症例の評価を通じて学んでいく。						
学修の到達目標						
①臨床実習指導者の監督の下、情報収集、検査・測定が実施できる。 ②デイリーノートへの記録、実習指導者への報告・連絡・相談ができる。						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
	・実習前オリエンテーション（学内）					
	実習の目的、手順、心得、マナー、感染症予防、個人情報などの指導を行う。					
	・実習前実技試験（学内）					
	臨床実習前臨床能力評価（Pre Clinical Clerkship OSCE）の実施とその準備を行う。					
	・臨床実習（学外）					
	180時間（4週間）の学外実習を実施する。指導は教員と連携を取りながら、実習施設の実習指導者が行う。担当症例に関する情報収集、実習指導者の指導・監督下での検査・測定の実施、基本動作の介助などを体験する。					
	・学内実習					
	実習で得た理学療法に関する基本的知識、および検査・測定技術や基本動作介助の習得状況を確認するため、実習報告会と臨床実習後臨床能力評価（Post Clinical Clerkship OSCE）を実施する。					

評価基準・評価方法	
実習評定（課題内容を含む）50% OSCE（実習前後）30% 実習報告会 20%	
使用教科書	
参考図書	
臨床実習要項（配布） 授業で使用した教科書全般	
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	実習指導者に提出するデイリーノートは速やかに添削して返却する。OSCEの結果は速やかに開示する。
実務経験をいかした教育内容	臨床現場にて理学療法の評価や治療、患者とのコミュニケーションを見学、一部を体験するとともに、臨床実習指導者や実務家教員の医療機関等での臨床経験をもとに指導・教授する。
備考	学外施設にて実習を行う。身嗜み・言葉使い・規則などが学内とは異なることを十分に意識すること。なお実習着を必ず着用すること。

授業科目名		担当教員				
臨床実習Ⅲ（総合前期）		長谷部武久・他（代表教員 長谷部武久）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	3年 前学期	8単位(360時間)	実習	PCT704		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		長谷部武久(代表教員) 曾田直樹 堀信宏 河合克尚 辻圭一 田島嘉人(実習調整者) 大場かおり(実習調整者) 石田裕保 藤橋雄一郎 植木努 亀山咲子 澤村彰吾 (全て理学療法士)				
授業概要						
これまでに学んだ基本的な評価方法を用い、理学療法計画立案、様々な医療現場での活動参加を実践する。また、必要に応じた理学療法計画の変更、他部門からの情報収集、記録・報告、医療従事者としての適切な人間関係の構築等、より臨床的な思考過程や実践的な内容を臨床実習指導者の下で学ぶ。						
学修の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・対象者や施設、病院スタッフとの良好な人間関係を構築することができる ・理学療法評価、治療の流れを実践することができる ・施設の管理や運営について考えることができる 						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
	・実習前オリエンテーション（学内）					
	実習の目的、手順、心得、マナー、感染症予防、個人情報保護について確認する					
	・実習前実技試験（学内）					
	臨床実習前臨床能力評価（Pre Clinical Clerkship OSCE）の実施とその準備を行う。					
	・臨床実習（学外）					
	315時間（7週間）の学外実習を実施する。指導は教員と連携を取りながら、実習施設の実習指導者が行う。担当症例に関する情報収集、実習指導者の指導・監督下での検査・測定・治療の実施、基本動作の介助を行う。					
	・学内実習					
	実習で得た理学療法に関する基本的知識、および理学療法技術や基本動作介助の習得状況を確認するため、実習報告会と臨床実習後臨床能力評価（Post Clinical Clerkship OSCE）を実施する。					

評価基準・評価方法	
実習評定（課題内容を含む）50% OSCE（実習前後）30% 実習報告会 20%	
使用教科書	
参考図書	
臨床実習要項（配布） 授業で使用して教科書全般	
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	実習指導者に提出するデイリーノートは速やかに添削して返却する。OSCEの結果は速やかに開示する。
実務経験をいかした教育内容	臨床現場にて理学療法の評価や治療、患者とのコミュニケーションを見学、一部を体験するとともに、臨床実習指導者や実務家教員の医療機関等での臨床経験をもとに指導・教授する。
備考	学外施設にて実習を行う。身嗜み・言葉使い・規則などが学内とは異なることを十分に意識すること。なお実習着を必ず着用すること。

授業科目名		担当教員				
臨床実習Ⅳ（総合後期）		長谷部武久・他（代表教員 長谷部武久）				
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ナンバリング		
必修	3年 後学期	8単位(360時間)	実習	PCT805		
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員				
全学ディプロマポリシー(2)(3) 理学ディプロマポリシー(2)(3)(4)の達成に寄与している。		長谷部武久(代表教員) 曾田直樹 堀信宏 河合克尚 辻圭一 田島嘉人(実習調整者) 大場かおり(実習調整者) 石田裕保 藤橋雄一郎 植木努 亀山咲子 澤村彰吾 (全て理学療法士)				
授業概要						
施設・病院等で担当症例のゴール設定までの理学療法評価を行い、臨床実習指導者の下、理学療法計画を作成し、実施する。また様々な臨床現場での活動に参加する。これまで学んだ知識、技術、臨床的な思考過程を更に発展させる機会とする。						
学修の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・対象者や施設、病院スタッフとの良好な人間関係を構築することができる ・理学療法評価、治療の流れを実践することができる ・施設の管理や運営について考えることができる 						
回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
	・実習前オリエンテーション（学内）					
	実習の目的、手順、心得、マナー、感染症予防、個人情報保護について確認する。					
	・臨床実習（学外）					
	315時間（7週間）の学外実習を実施する。指導は教員と連携を取りながら、実習施設の実習指導者が行う。担当症例に関する情報収集、実習指導者の指導・監督下での検査・測定・治療の実施、基本動作の介助を行う。					
	・学内実習					
	実習で得た理学療法に関する基本的知識、および理学療法技術や基本動作介助の習得状況を確認するため、実習報告会と臨床実習後臨床能力評価（Post Clinical Clerkship OSCE）を実施する。					

評価基準・評価方法	
実習評定（課題内容を含む）50% OSCE（実習後）30% 実習報告会 20%	
使用教科書	
参考図書	
臨床実習要項（配布） 授業で使用して教科書全般	
課題（試験やレポート）に対するフィードバック方法	実習指導者に提出するデイリーノートは速やかに添削して返却する。OSCEの結果は速やかに開示する。
実務経験をいかした教育内容	臨床現場にて理学療法の評価や治療、患者とのコミュニケーションを見学、一部を体験するとともに、臨床実習指導者や実務家教員の医療機関等での臨床経験をもとに指導・教授する。
備考	学外施設にて実習を行う。身嗜み・言葉使い・規則などが学内とは異なることを十分に意識すること。なお実習着を必ず着用すること。

リハビリテーション学科理学療法専攻 授業担当者索引

…あ 行…

東 華岳	理学療法専攻特任教授
安藤 彰浩	非常勤講師
石田 裕保	理学療法専攻准教授
伊原 亮司	非常勤講師
植木 努	理学療法専攻准教授
大塚 智裕	非常勤講師
大野 陽哉	非常勤講師
大場 かおり	理学療法専攻准教授
大森 周太郎	非常勤講師
大藪 千穂	非常勤講師

…か 行…

加藤 清人	作業療法専攻教授
亀山 咲子	理学療法専攻助教
河合 克尚	理学療法専攻教授
苅谷 賢二	非常勤講師
川瀬 広大	非常勤講師
岸田 敏彦	非常勤講師
岸本 泰樹	非常勤講師
木村 暁夫	非常勤講師
久保 和弘	非常勤講師
河野 公昭	非常勤講師
後藤 誠一	非常勤講師
古松山 建吾	作業療法専攻准教授

…さ 行…

櫻井 健司	非常勤講師
佐竹 裕孝	非常勤講師
澤村 彰吾	非常勤講師
篠田 信之	非常勤講師
下郷 雅也	非常勤講師
下畑 享良	非常勤講師
ジャマリ・マジヤン	非常勤講師
曾田 直樹	理学療法専攻教授

…た 行…

高田 信幸	非常勤講師
竹内 章郎	非常勤講師
田口 正芳	非常勤講師
竹腰 顕	非常勤講師
田島 嘉人	理学療法専攻教授
多田 晃司	非常勤講師
伊達 文香	非常勤講師
谷口 泰弘	非常勤講師
辻 圭一	理学療法専攻教授
出口 睦雄	看護学科講師

…な 行…

中村 浩輔	非常勤講師
中村 琢	非常勤講師
西本 裕	非常勤講師
野田 圭佑	非常勤講師

…は 行…

長谷部 武久	理学療法専攻教授
早川 佳穂	非常勤講師
林 将大	非常勤講師
林 宗典	看護学科講師
平田 光太郎	非常勤講師
平野 智久	理事長
福岡 大輔	非常勤講師
藤崎 和彦	非常勤講師
藤橋 雄一郎	理学療法専攻准教授
武内 康雄	学長
古田 弥生	看護学科准教授
堀 信宏	理学療法専攻教授
堀 優太	非常勤講師
堀田 亮	非常勤講師

…ま 行…

益川 浩一	非常勤講師
益川 優子	非常勤講師
松井 永子	非常勤講師
松田 充弘	非常勤講師
三品 弘司	看護学科教授
宮地 幸雄	非常勤講師
ミホト・セイト・モハト	非常勤講師
三輪 陽子	看護学科講師
武藤 吉徳	非常勤講師
森 泰子	非常勤講師

…や 行…

山田 宏尚	非常勤講師
山田 恵	非常勤講師
山原 直紀	非常勤講師
山本 眞由美	非常勤講師
吉倉 延亮	非常勤講師